

一般社団法人 茨城県建築士会  
創立70周年記念誌

The  
70th

ANNIVERSARY

私たちの軌跡、私たちの使命

RECORD

# 一般社団法人茨城県建築士会 創立70周年記念誌

私たちの軌跡 私たちの使命

The  
**70**<sup>th</sup>  
ANNIVERSARY



## 目次

[巻頭グラビア]	「この10年の歩みを未来へとつなぐ」	1
[ごあいさつ]	会員相互の堅固な団結力を確立し、 多様な地域貢献活動が続け、 建築士としての社会的使命を 果たしてまいります。 一般社団法人茨城県建築士会 会長 柴 和伸	12
[祝辞]	創立70周年を祝して 茨城県知事 大井川 和彦	14
	風土の豊かさを共有共助する 公益社団法人日本建築士会連合会 会長 近角 真一	15
[報告]	創立70周年記念式典開催される	16
	各委員会活動から振り返る 茨城県建築士会の「この10年」	21
	総務・企画委員会	22
	研修委員会	24
	会員委員会	26
	情報・広報委員会	28
[特集]	まちづくり委員会	30
	青年委員会	32
	女性委員会	34
	CPD委員会	36
	賛助会	37
	本部事務局	38
	各支部活動から振り返る 茨城県建築士会の「この10年」	40
	県北ブロック	41
	北茨城支部・久慈支部・高萩支部・日立支部・ひたちなか支部	
	県央ブロック	46
[特集]	鹿嶋支部・県央支部・県庁支部・JR水戸支部・行方支部 鉾田支部	
	県西ブロック	52
	古河さしま支部・桜川支部・下妻支部・常総支部・筑西支部 坂東支部・結城支部	
	県南ブロック	59
	石岡支部・稲敷支部・北相馬支部・筑波支部・土浦支部 竜ヶ崎支部	
	茨城県建築士会70年のおもな歩み	65
[沿革]	沿革 [昭和26年(1951年)度～平成23年(2011年)度]	66
	沿革 [平成24年(2012年)度～令和3年(2021年)度]	74
	編集後記	80
	創立70周年記念事業協賛企業	81



# 2011年→2021年 この10年の歩みを 未来へとつなぐ。

**困難な時期を乗り越えて。**

コロナ禍による活動制限が続き、思うような取り組みができない期間が長く続きました。この記念誌も2年越しでやっと完成までこぎつけることができました。これまでとは異なる状況下でさまざまな模索が求められたコロナ禍での3年間——その経験も含め、この10年間のできごとすべてが、会の新たな未来を築く糧になると信じます。次の10年への確かな足がかりとなることを願い、ここにあらためて茨城県建築士会のこの10年の歩みを、さまざまな角度からまとめてお伝えします。

写真は70周年式典記念親睦会に参加したご来賓および正会員・賛助会員の皆さん



## 2011年3月 → 2012年4月

大災害からの復興支援 1

### 六角堂復興プロジェクト



今から百年以上前の明治38年(1905年)。国際的に活躍した美術行政家・思想家である岡倉天心が、茨城県北茨城市五浦海岸の、海に突き出した岩の上に建てた建造物。国の登録有形文化財となっていた「六角堂」が、2011年3月11日の東日本大震災による津波で、土台部分を残し完全に流失してしまいました。

六角堂を所有・管理する茨城大学では、ただちに「天心・六角堂復興プロジェクト」を立ち上げ、流失時の改修を重ねた姿ではなく、創建当時の「天心の六角堂」の復元を目指し、茨城県建築士



上) 創建時の姿に復興を遂げた六角堂  
下) 天心・六角堂復興プロジェクトによる会議・調査風景

上・中) 縁台製作風景 下) 縁台を届けた気仙沼市立小泉中学校の前で

2011年5月 → 7月

## 大災害からの復興支援 2

### 縁台製作

会に協力を求めます。残された資料が非常に少ないなか、茨城県建築士会の再建支援委員会メンバーたちは、検証を重ねて創建当時の六角堂の姿を明らかにしていき、それを現代に蘇らせる術を議論し、製法や工法を一つひとつ決定していきました。

こうして約1年後の2012年4月、「天心の六角堂」が見事に五浦海岸に蘇りました。惜しみなく注がれた関係者の英知と情熱により、異例のスピードで完遂されたこのプロジェクトは、2012年度のグッドデザイン賞を受賞しています。

女性委員会では、2011年6月、大子に拠点を置く「木の文化塾」と協働して縁台をつくり、被災地に届けるボランティア活動を実施しました。当日は子どもたちを含む31名の参加者が大子に集まり、合計56台の縁台を製作。「木の文化塾」などが製作した分と合わせて、合計256台の縁台が完成しました。7月には、その縁台をトラックに載せ、福島県新地町役場、宮城県登米市津山大徳寺、宮城県気仙沼市立小泉中学校などへと届け、被災地に束の間の休息の場を創りだすお手伝いをしました。



開会式の前に全員で記念撮影

2012年10月

## 半世紀に一度の地元開催 | 全国大会いばらき大会

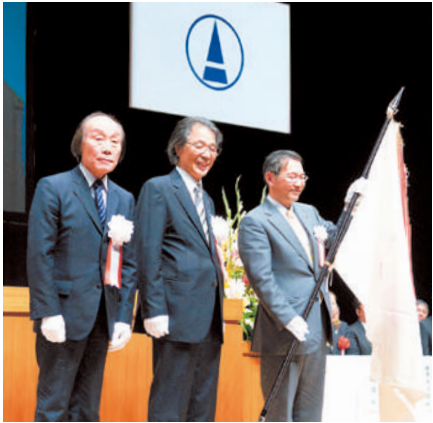
2012年10月18日～20日にかけて、『常陸国いばらきで語ろう「60年の歩み」と「未来への創造」』をテーマに掲げた全国大会「いばらき大会」が、茨城県立県民文化センター大ホールをメイン会場にして盛大に行われました。

オープニングアトラクションとして県立大洗高校マーチングバンド「BLUE-HAWKS」が小気味のいいパフォーマンスを披露した後、開会宣言。柴会長からは、「昨年3月に発生した東日本大震災により本大会の開催も危ぶまれたが、関係者皆さんの協力により開催することができた」と感謝

の言葉が述べられました。

記念講演は、世界を舞台に活躍する日立市出身の建築家、妹島和世氏を講師に招き、「環境と建築」と題して、代表作である金沢21世紀美術館、スイスのROLEXラーニングセンター、JR日立駅の自由通路及び駅舎のデザイン監修などについて、構想の過程やデザインの変遷がスライドを交えながら語られました。

一方、もうひとつの会場となった水戸芸術館のATM劇場では、水戸光圀公の子孫、第15代当主徳川斉正氏による講演会が開催され、水戸光



上左) 開会式典会場に詰めかける全国の建築士会会員 上右・中) 開会式の様子 中右) 記念講演を行う妹島和世氏  
下左) 水戸芸術館のATM劇場で開催された第15代当主徳川斉正氏による記念講演 下右) 「屋台村 in アートタワー」風景

園公の青年期、壮年期における逸話など貴重な話が披露されました。

その少し前、水戸芸術館の会議室では、五浦六角堂復興を記念した講演会が「茨城会セッション」として行われ、映画「天心」の松村克弥監督と、岡倉天心の思想に詳しい茨城大学の小泉晋弥教授による2部構成の講演が行われました。そのほか、各会のメンバーによる7つの交流セッションが県民文化センター小ホールで開催され、全国から参加したメンバーによる熱いディスカッションが展開されました。

各プログラム終了後は、大交流会会場である水戸プラザホテルに約700名の参加者がシャトルバスで移動し、華やかな立食パーティーへ。もう一つの会場、水戸芸術館の広場では、ホテルのボールルームの宴会とは雰囲気異なる「屋台村 in アートタワー」を開催。芸術館の塔と芝生の広場が醸し出す幻想的な雰囲気の中で、地元高校生たちによるパフォーマンスや物産店、屋台村などが楽しめる屋外の交流会にも多くの参加者が足を運び、「いばらき大会」は大盛況のうちに幕を閉じました。



年間60時間というハードな現場  
実習および講義を経て、修了書  
が手渡される

2012年7月 → 2015年3月

## 地域文化遺産の活用促進 | ヘリテージマネージャー研修

「茨城地域文化財専門技術者育成研修」——通称「ヘリテージマネージャー研修」は、2012年7月に始まりました。東日本大震災で被害を受けた地域の歴史的建造物やまち並みを修復し、地域の財産として次世代に引き継いでいく人材の育成を目的にスタートしたこの研修は、1年間で全10回・計60時間の現場実習および講義からなるカリキュラム。講師として、文化庁文化財調査室スタッフや大学教授、文化財修復家、左官一級技能士などを招き、実際に保存か解体かを検討中の建物で調査実習を行ったり、文化財の保

存改修工事の過程を検証したりといった実践的な内容を含むものでした。容易とはいえませんが、高い志をもって参加する会員が多く、3期で97名のヘリテージマネージャーを送り出しています。当初はまちづくり委員会の事業として開始され、その後「ヘリマネいばらき協議会」を組織して運営。継続的なステップアップセミナーを実施しながら、県教育庁文化課や各自治体の要請に応え、地域の歴史的建造物の調査、保全・活用の提案などに取り組んでいます。





2014年6月 → 2019年6月

## 伝統技術の継承 | いばらき木造塾

「本当に住みよい家とは何か」——間取りや工法の基本から理解し、その知見を世の中に広めていくことが、住宅設計に携わる者の使命である——そういった観点から、とくに木造の住宅設計に精通した建築士を育成する目的で開講されたのが、「いばらき木造塾」です。

講座では、建築家吉田桂二氏に師事し「木の建築学校」などの講師としても活躍中の松本昌義氏を迎え、木造住宅設計の基本となる考え方や技術を学びました。

一方の実習では、本会会員であり木造塾のメン

バーでもある菊池均氏に指導を仰ぎ、職人による高い技術をつぶさに見ながら、受講者各自も木造軸組工法の基本となる作業を体験して学びを深めました。「いばらき木造塾」は、5年間で延べ41回開催され、158名の修了生を送り出しています。

また、東日本大震災により被災した県指定史跡西山荘の「平成の大修理」においても、施設の管理者である公益財団法人徳川ミュージアム様より依頼を受け、木造塾メンバーが工事着手から完成までの数回、工程に合わせた現場立ち会いを実施しました。



段ボールを使った大きな建造物づくりに子ども大人も夢中で取り組む

## 2006年8月 → 2014年8月

### 次世代啓発・学びの創造 | 段ボールハウス

青年委員会では子どもたちに楽しみながら建築を身近に感じてもらうためのプロジェクトを継続しています。中でも青年部設立30周年記念事業として始まった「段ボールハウスを作ろう!」は人気で、毎回多くの子ともと保護者の皆さんが集まり、会場は熱気に包まれます。

プロジェクトの初めには、まず子どもたちに完成予想図(設計図)を描いてもらいます。大人にはない自由で奇想天外な子どもたちの発想力には毎回驚かされるばかり。その後、段ボールに線を引き、カッター、定規、ガムテープを使って「家」

を組み立てていきます。壁の立ちあげまではスムーズにいくものの、屋根の設置には苦勞することも多く、約3時間を費やしようやく完成する段ボールハウス。想像を超える子どもたちの創造性と、完成物を前にした輝く笑顔には、いつも心を動かされます。

工作の楽しさだけでなく、災害時を想定した疑似避難所体験を伝えることにもつながるこのプロジェクト。「自分の家」をつくりあげたこの体験が、子どもたちの未来にさまざまな形で生きることを願い、今後も継続していきます。



上・左下) 応急危険度判定の模擬訓練および講義風景  
下) 災害時の住宅相談も会員の重要な役割となっている

## 2011年以降

### 多発する災害への対策 | 災害支援体制の強化

2011年の東日本大震災以降も、2015年の常総水害、2019年の台風19号による水戸市近隣の水害など、かつてない頻度で大規模な災害が起こるなか、被災した建築物の被害状況を速やかに調査・判定し情報提供を行う「応急危険度判定士」の活動は、地域にとっていっそう欠かせないものとなっています。

制度の発足当時から運用を支える建築士会としての責務も重要度を増し、会員に向けて5年ごとの資格更新の案内や模擬訓練への参加などを熱心に呼びかけてきました。

同様に、昭和56年(1981年)より前に建築された木造住宅の耐震性能をチェックする「木造住宅耐震診断士」の役割も地域の中で存在感を増しています。倒壊の可能性を診断するだけでなく、大災害が来ても倒壊しないよう建物の持ち主に最低限必要な補強を提案したり補助金制度の紹介をしたりするなど、柔軟かつ多様な視点で実現可能な提案を行うことも、建築士が地域の建物や住環境の安全を保つために果たすべき、重要な役割のひとつになってきています。



明るく、楽しく、真面目に。リモート開催で新たな形を全国に向け提示

2021年6月

## コロナ禍での団結が結実 | 関ブロ青年協議会茨城大会

予想だにしなかった新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の世界的流行。3年以上が経過した現在も、その影響が大きく日常にのしかかっています。茨城県建築士会の活動も長期に渡り大幅な制限を余儀なくされ、イベントなどの中止が相次ぐこととなりました。

2020年に開催が予定されていた「関東ブロック青年協議会茨城大会」も、1年延期となりました。開催に向け一丸となり全力を傾けてきた青年委員会メンバーは、延期に肩を落としながらも、皆で前を向きなおし、翌年の開催に向けて新

たな企画、独自のアイデアを思案し、煮詰めていきました。

2021年6月19日、初のオンラインでの開催となった同大会は、細やかな事前準備とさまざまな趣向を凝らした運営が功を奏し、全国から約500名もの参加者を集める大規模なオンラインイベントとなり、大成功を収める結果に。

大会開催までに得たさまざまな体験や新たな知見が、今後のウィズコロナ、アフターコロナの時代において、必ずや茨城県建築士会を推進する大きな力となっていきます。

次の10年へとつなごう。  
茨城県建築士会の  
固い結束と、  
揺るがぬ矜持を——。

われらの建築は

人類の幸福のため 最良の芸術たるべし

われわれ建築士は

社会の発展のため 最新の指導者たるべし

わが建築士会は

会員の向上のため 最善の団結たるべし

——建築士会綱領より



# 会員相互の堅固な団結力を確立し、 多様な地域貢献活動を続け、 建築士としての社会的使命を 果たしてまいります。

一般社団法人茨城県建築士会 会長

## 柴 和伸



このたび、一般社団法人茨城県建築士会が創立70周年記念誌を編集し発刊することができますことを心より感謝いたします。

去る2月10日、水戸プラザホテルにおきまして、会員各位のご出席を頂き、また多数のご来賓の方々のご臨席を賜り、創立70周年記念式典を執り行いました。

この記念式典においては、元横綱 稀勢の里、二所ノ関親方様に依頼し、「土俵人生に一片の悔いなし」についてご講演を頂いたところ、一般の方も参加され、会場一杯に盛り上がった講演会となりました。謹んで、関係者各位にお礼を申し上げます。

本会は、建築基準法・建築士法制定の翌年、昭和26年8月26日、県内の久慈支部、北相馬支部、土浦支部、西茨城支部、多賀支部の5支部で、会員約600名、初代会長 田中 達二郎会長のもと、全国6番目の建築士会として設立されました。

当時の役員の方々や会員の皆さんが、戦後の社会復興に測り知れない貢献を成し遂げたことにより、現在のわが県、ひいてはわが国の建築行政の原点がつけられたことを思うと、あらため

て尊敬と感謝の気持ちでいっぱいです。

その後、昭和38年から本会では県内の各支部の協力により「違反建築をなくそう運動」を実施して参りました。そして、その活動が認められ、昭和40年にはこの「違反建築をなくそう運動」の活動実績が認められ、その当時の建設大臣褒章をいただきました。その後、全国的な建築士会の運動として全国大会で採択され、ひいては今の建築パトロール運動につながっております。

また、忘れもしない東日本大震災の時には、本会は県との「災害時における対策業務の応援協力に関する協定」に基づき、震災後すぐに応急危険度判定活動を開始、28市町村において延べ約380名を動員、約16,000棟の判定活動を実施いたしました。

また、その後、19市町村からの要請により、住宅相談会の相談員として延べ約650名の会員を派遣、3,000件以上の相談に対応するとともに、うち13市町村においては、現地調査業務の要請も受け、約900棟に及ぶ現地調査を実施、さらに被災住宅の罹災証明についても10市町村から要請を受け、被害認定アドバイ

ザーとして地元建築士に協力頂きました。

本会の会員は、非常時において自ら被災しながらも、地域住民のため、建築の専門知識・技術を活かし、率先して地域貢献活動を行ってまいりました。われわれ建築士は、かねてから広く社会の認知を得るため、幅広い基礎的素養、高い専門能力、健全な職業倫理を兼ね備えた建築士像を目指してまいりました。

これまで70年間にわたり行ってきた多様な地域貢献活動は、会員各位の意識の高揚となりました。また、風水害や震災での支援活動などを行ってきたことなども、今までの各種活動を通して培った団結力などが総合されて大きな力になったものと確信しております。

本会は、今後とも社会の要請に応え、安心・安全、快適な生活環境の構築と維持をめざし、できる限りの社会的使命を果たしていきたいと考えております。

なお、今後は100周年に向けて、会員相互の堅固な団結力を確立し、益々の発展と会員各位のご健康を祈念するとともに、記念誌の編纂にあられた方々に深く謝意を表し、発刊のあいさつといたします。

# 創立70周年を祝して

茨城県知事

## 大井川 和彦



この度、一般社団法人茨城県建築士会が創立70周年を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

貴会は、昭和26年の創立以来、建築士の資質の向上や建築文化の振興に多大な貢献をしてこられました。今日に至るまでの、柴会長をはじめ歴代の役員並びに会員の皆様方のたゆまぬご努力に対し、深く敬意を表する次第でございます。

さて、建築業界を取り巻く環境も大きく変化しております。近年では、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行、さらにはロシアによるウクライナ侵略や世界的な物価高騰、歴史的な円安などの誰も想定しえなかった出来事が相次いで発生し、私たちは、過去の延長線上に未来は存在しない、まさに先の見えない「非連続の時代」<sup>ただなか</sup>の只中にあります。

この激動の時代にあっては、常に挑戦する気概を持ち、新しいことに果敢に挑戦し、未来を切り拓いていくことが極めて重要でありますことから、県といたしましては、「挑戦」「スピード感」「選択と集中」を基本姿勢として、困難な課題も先送りすることなく取り組んでおります。

なかでも、頻発化・激甚化する災害から県民

の命と暮らしを守ることは、喫緊の課題でありますことから、橋梁や県有建築物などの耐震化をはじめ、強靱な緊急輸送道路ネットワークの整備、流域治水の取組など、ハード・ソフト両面から、実効性の高い防災・減災対策の推進に取り組んでおります。

また、民間建築物の耐震化につきましても、国の補助金等を活用した支援を行ってきたところであり、今後も引き続き、建築物の所有者等に対して丁寧働きかけてまいります。

さらに、本県の公共施設等につきましては、高度経済成長期に整備された多くの施設が、今後一斉に更新時期を迎えてまいりますことから、県有施設の長寿命化計画を策定し、将来を見据えた中長期的な視点に立って、計画的な修繕・更新等を進めております。

こうした施策の推進には、建築士会の皆様方の専門的な技術や経験が不可欠でありますので、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、茨城県建築士会が創立70周年を契機にますます発展されますとともに、会員各位のご健勝、ご活躍を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



# 風土の豊かさを共有共助する

公益社団法人日本建築士会連合会 会長

近角 眞一



茨城県建築士会が創立70周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。私共、連合会も皆様と同じ戦後の新しい建築法制度の団体であり、同じ年齢を重ねて参りました。全国200余りの都市が戦争末期の空襲で、中心市街地の多くを焼失した訳ですが、その本格復旧・復興に取り組んできた建築士の団体であり、そのまま高度経済成長期の住宅・建築物造りを受け継いできました。

茨城士会では市街地の90%が壊滅した水戸市の復興の成功が代表的ですが、所在の軍施設・軍需工場が悉く破壊された他の市町でも、類焼市街の回復に加えて工業、農業、研究学園施設、ベッタウン等の活路を見出し、実に多様で豊かな地域性が展開されています。

急激な人口減少の時代に突入して、この豊かさの維持が難しくなる心配がある中、世界からはエネルギー浪費型の豊かさのスリム化を迫られています。建築士会としては幕藩・維新时期及び近代化遺産を発見・活用するまちづくり、気候風土適応型住宅の検討、災害時住宅相談などに力を入れ、風土の豊かさを共有共助する地域づくりを目指されることを望みます。

# 創立70周年記念式典開催される

令和5年2月10日(金) 14:00～ 水戸プラザホテル

2年越しで開催にこぎつけた  
創立70周年記念式典。  
230名の参加者を迎え、  
心地よい緊張感と高揚感の中、  
華やかに開催されました。



一般社団法人  
創立70周年

## ご来賓 (敬称略・順不動)

茨城県知事 大井川 和彦

衆議院議員 自由民主党 (本会顧問) 田所 嘉徳

水戸市長 (本会顧問) 高橋 靖

茨城県議会議員 (本会顧問) 白田 信夫

茨城県議会議員 (本会顧問) 伊沢 勝徳

(公社) 日本建築士会連合会会長 近角 眞一

茨城県土木部都市局長 林 利家

茨城県土木部都市局建築指導課長 山田 陽一

茨城県土木部営繕課長 木村 忠夫

茨城県土木部都市局住宅課長 大森 智

(一社) 茨城県建築士事務所協会会長 舟幡 健

(一社) 日本建築学会関東支部 茨城支所長 長塚 威

(公社) 日本建築家協会関東甲信越支部 茨城地域会会長 大山 早嗣

(一社) 茨城県設備設計事務所協会会長 菊地 繁

(一財) 茨城県建築センター理事長 小沼 紀男

## 功労者知事表彰

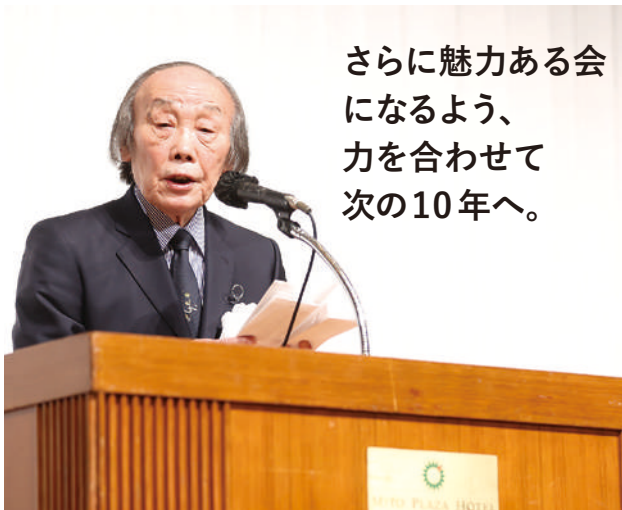
県央支部 関根 慎一

日立支部 菊池 積

鉾田支部 久米 恒雄

筑西支部 柴崎 清





さらに魅力ある会  
になるよう、  
力を合わせて  
次の10年へ。



上段左から) 茨城県知事 大井川 和彦氏、衆議院議員 田所 嘉徳氏、水戸市長 高橋 靖氏、茨城県議会議員 白田 信夫氏、茨城県議会議員 伊沢 勝徳氏、日本建築士会連合会会長 近角 眞一氏 下段左から) 式辞を述べる柴会長、開会の辞を述べる武村副会長、閉会の辞を述べる高槻副会長。会員功労者に感謝状を贈る大井川県知事。会員功労表彰を受けた皆さん。

2023年2月10日(金)。水戸プラザホテルにおいて茨城県建築士会創立70周年記念式典が開催された。コロナ禍の影響は残りマスク着用などいくつかの規制のもとでの開催となったものの、当初の予定から約2年遅れての開催実現を祝い、あいにくの空模様にもかかわらず、来賓・会員合わせて230名が会場に足を運んだ。

式典は、武村実副会長による開会の言葉で幕を開け、次に柴和伸会長が式辞を述べた。70周年の節目を迎えることができたことは、歴代の会長をはじめ、役員、会員の方々みなさんの努力によるものと感

謝し、今後も80周年、90周年、そして100周年へ向けてさらに魅力のある会づくりに努力していくなど抱負を語った。その後、会の発展のために、多大な功績のあった功労者の表彰式が行われ、筑西支部 柴崎清氏、日立支部 菊池積氏、県央支部 関根慎一氏、鉾田支部 久米恒雄氏の4名を代表して、柴崎清氏に大井川和彦茨城県知事から直接感謝状と記念品が贈呈された。

来賓祝辞では、大井川和彦茨城県知事、田所嘉徳衆議院議員、高橋靖水戸市長、顧問の白田信夫県議会議員、同じく顧問の伊沢勝徳県議会議員、そして、近角眞一

日本建築士会連合会会長よりそれぞれ祝辞を頂戴し、祝電も披露された。

続いて、「10年のあゆみ」としてまとめられた映像を大型スクリーンで視聴。2011年の震災以降の復旧・復興を軸としたこの10年における建築士会の活動を振り返った。映像にライブでナレーション(女性委員会小貫弘巳委員長と和田知子委員が担当)を加えた臨場感のある発表は、会の軌跡と使命を皆で再確認できる良い機会となった。

式典は、高槻一雄副会長による閉会の言葉で幕を閉じた。

映像により  
会の軌跡と使命を  
皆で確認する機会に。



# 元横綱稀勢の里・二所ノ関寛親方 記念講演

水戸プラザホテル 式典会場 | 15:05～16:30

我が土俵人生に一片の悔いなし。  
つねにピンチをチャンスに変え、  
到達した、和の成功法則の境地。



記念式典の後、休憩を挟み、牛久市出身の元横綱稀勢の里である、二所ノ関寛(ゆたか)親方を講師に招き、記念講演が行われた。「土俵人生に一片の悔いなし」と題された講演では、自身の生い立ちに始まり、相撲の道へ進む経緯や、自身の取り組みの映像と共にターニングポイントとなった相撲とその背景などが披露され、上を目指す中で身に着けた相撲哲学について熱く語って頂いた。つねにピンチをチャンスに変え続けた相撲人生と、自分自身の心との向き合い方などについてのお話は、違う職種、違う立場の私たちにとっても、今後の活動や人生などにおいてヒントと

なるような貴重で有意義な内容であった。

講演の終わりには質疑応答の時間が設けられ、親方になって後進を育成する際のコミュニケーション術や、コロナ禍における指導の在り方などについて回答していただいた。さらに、講演の締めくくりには、今後10年以内に二所ノ関部屋から大関、横綱を輩出し、建築士会80周年記念式典の講演に自身に続き講師として呼んでもらえるようにしたいとの抱負も語られた。最後に会を代表して小川憲一総務委員長から親方へのお礼の言葉が送られ、柳下文江氏より花束の贈呈があり記念講演は盛況のうちに終了した。



身振りを交え、ユーモアも挟みながら、明るくよく通る声で自身の相撲人生を丁寧に語ってくれた二所ノ関親方



左) 講演に先立ち、総務副委員長横須賀氏が親方の経歴を紹介。 中) 講演後、親方にお礼の言葉を述べる総務委員長小川氏。 右) 会員の柳下氏より花束が贈呈された。

# 記念親睦会

水戸プラザホテル ボールルーム | 16:45～17:30



ノンアルコールの祝宴なれど、  
会員同士の笑顔の輪が広がる  
かけがえのないひと時に。

講演会の後は、会場を1階に移して記念親睦会となった。川又晴彦副会長による開宴の言葉に続き、柴和伸会長による挨拶があり、茨城県建築士事務所協会会長舟幡健氏の乾杯発声により、和やかな歓談の時間を共有した。コロナ感染拡大防止対策のためアルコール飲料の提供は自粛されたが、会員の笑顔が絶えない楽しいひと時を過ごした。中締めは、賛助会の大竹伸一代表幹事より三本締めが行われた。そして、結びに益子一彦実行委員長の挨拶で、会員への感謝の言葉が述べられ、無事に閉宴となった。

次の10年は茨城県建築士会にとってどのような年になっていくのか——国内外には複雑な問題が山積する時代ではあるが、次の10年も建築士、そして、建築文化が人々の希望に資する未来であってほしい。そんな期待を胸に抱きながら、今は一つひとつ真摯に目の前の課

題解決に取り組んでいきたいという思いも新たにしたい一日となった。

会員の皆さまとまた10年後により時間を過ごせることを願って創立70周年記念式典の報告とします。

上) 挨拶に立つ柴会長。  
右) 茨城県建築士事務所協会会長舟幡氏による乾杯の発声で祝宴がスタート。



左) 賛助会代表幹事の大竹伸一氏による三本締め。 右上) 開宴の言葉を述べる副会長の川又晴彦氏。  
右下) 実行委員長の益子一彦氏の挨拶で、記念式典のすべての行事が幕を閉じた。

# 各委員会活動から振り返る 茨城県建築士会の 「この10年」

茨城県建築士会 組織機構図



未曾有の大災害・東日本大震災からの復興に始まり、最後は新型コロナという世界中をパニックに陥れたパンデミックで終わるとい、過去に経験のない厳しい試練の時代となったこの10年。茨城県建築士会はどのような形でこの難局と向き合い、会の事業を推進していったのか、委員会ごとの活動から振り返ります。

# 総務・企画委員会

本会の運営、財政に関することや総会・理事会の開催、定款・諸規定の改廃に関することなど、会の中核を支える委員会。全国大会開催においても中心的な役割を果たした。

報告 | 委員長 小川 憲一 (平成30年度～)



総務・企画委員会の役割は、端的にいうと本会の運営や財政管理を行い、各委員会を含めた全体の予算執行や決算状況の確認をしています。また、総会や理事会の開催、会員業務等に有効な新規事業の開拓、本会の啓蒙活動の実施や記念事業開催、全国大会への参加促進などがあり、定款や諸規定に関わることや、エコプロジェクトの企画など多岐に渡っています。

## 財務管理

委員会として最も重要な役割であると思いますが、ほぼ四半期ごとに仮決算の報告を受け、収支については健全であるか、進捗率などを把握し確認や調整をしています。財政の健全化は会の安定した運営には欠かせないものであり、事務局や各委員会活動に支障をきたすものであってはなりません。次年度予算案についても過去の実績などから調整するなどしています。

## 通常総会

今までヒロサワシティホール(茨城県県民文化センター)で開

催されており、総会後の懇親会では会員や賛助会の懇親を深めてきました。

令和2年・3年は、場所を変え、水戸プラザホテルでの開催となりました。しかし、全世界に広まった新型コロナウイルス感染症という未曾有の事態により、総会は感染拡大防止の観点から人数制限の上で粛々と執り行われ、懇親会のない通常総会となりました。

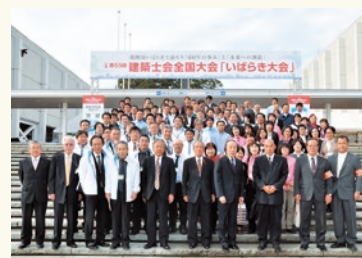
## 建築エコロジー合同プロジェクト (苗木の配布事業)

「建設フェスタ」へ参加し、一般社会への周知及び啓蒙活動の一環として、苗木の無料配布を行っています。なお、この事業は茨城県建築センター、茨城県建築士事務所協会との合同事業です。また、苗木の無料配布については各支部で行われる催しで一般家庭に配布されており、毎年2,500本配布されています。

その「建設フェスタ」もこの2年間は新型コロナウイルス感染症対策のため開催されておらず残念な思いでいます。

## 全国大会への参加、 そして「いばらき大会」の開催

この10年間総務に在籍し、特に思い出深いのは平成24年に行われた全国大会「いばらき大会」の開催です。約3年間の準備期間中、総務委員会のみならず他の委員会の皆さんと共同し、それぞれの役割分担の中で大会の成功を目指しました。詰めの作業をしている時には、毎日と言っていいほど士会事務局に通っていたことを思い出します。茨城県県民文化センター(現ヒロサワシティホール)に全国から約3,000名をお招きし、開催が無事成功裏に終わったことは良い経験となりました。



全国大会「いばらき大会」

## 創立70周年記念式典と 幻の賀詞交歓会

令和3年度の通常総会時に



3年の準備期間を経て開催した  
 全国大会「いばらき大会」を、  
 成功裏に終わらせられたことが  
 何より記憶に残る10年。  
 コロナ禍を乗り越え、次の10年へ。



## 2012→2022

### 総務・企画委員会 | この10年のおもな事業

併催として記念式典を行う予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から総会自体を縮小したこともあり、式典は一旦延期されました。いつ頃開催可能か委員会でも思案しましたが、思い切って年を跨ぎ賀詞交歓会との併催という案で動いていました。その間、茨城県でも緊急事態宣言などが出ましたが、宣言解除後の10月以降は比較的感染も落ち着きを見せていました。やっとできると思っていたところ、新たなオミクロン株への危機感が高まり（実際その後BA.2やBA.5など株を変えて感染が拡大しました）、誠に残念でしたが飲食を伴う賀詞交歓会、そして併催であった創立70周年記念式典は感染リスクが高いために取り止めとなりました。

令和5年2月10日、記念式典は、マスク・消毒・ワクチン2回摂取の確認をさせて頂いた上でようやく開催することができました。また、記念講演として元横綱「稀勢の里」二所ノ関親方にお越し頂き、とても興味深いお話を聴くことができました。

平成24年 (2012年)	1月20日 5月15日 7月24日 10月19日	第10回新春賀詞交歓会 平成24年度通常総会 第7回大納涼会 第55回建築士会全国大会「いばらき大会」
平成25年 (2013年)	1月18日 5月24日 7月26日	第11回新春賀詞交歓会 平成25年度通常総会 第8回大納涼会
平成26年 (2014年)	1月17日 6月6日 7月25日	第12回新春賀詞交歓会 平成26年度通常総会 第9回大納涼会
平成27年 (2015年)	1月16日 5月29日 7月24日	第13回新春賀詞交歓会 平成27年度通常総会 第10回大納涼会
平成28年 (2016年)	1月15日 5月27日 7月29日	第14回新春賀詞交歓会 平成28年度通常総会 第11回大納涼会
平成29年 (2017年)	1月13日 5月26日 7月28日	第15回新春賀詞交歓会 平成29年度通常総会 第12回大納涼会
平成30年 (2018年)	1月19日 5月25日 7月27日	第16回新春賀詞交歓会 平成30年度通常総会 第13回大納涼会
平成31年 令和元年 (2019年)	1月18日 5月24日 7月26日	第17回新春賀詞交歓会 令和元年度通常総会 第14回大納涼会
令和2年 (2020年)	1月17日 5月29日 7月17日	第18回新春賀詞交歓会 令和2年度通常総会 大納涼会中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）
令和3年 (2021年)	1月15日 5月28日 7月16日	賀詞交歓会中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため） 令和3年度通常総会 大納涼会中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

# 研修委員会

一級・二級および木造建築士試験の実施受託業務、そして、指定講習会、建築基準法改正に伴う研修会・講習会の開催を受け持つ。  
つねに、会員へのより効率的でわかりやすい情報提供をめざす。

報告 | 委員長 長谷川 隆浩 (令和4年度～)



茨城県建築士会創立70周年に当たり、過去10年間の研修委員会の活動を述べたいと思います。

われわれ研修委員会の活動として二つの柱があげられます。ひとつは講習会の企画及び運営、もうひとつは一級・二級・木造建築士試験の受付・試験運営です。

講習会については、建築基準法や県条例の改正にあわせて開催するとともに、平成21年度から始まった建築士定期講習の運営を1年に2回ないし3回行っています。

また建築士試験については、7月の学科試験と9月・10月の製図試験の運営に加えて、以前は春期に行っていた受験者対象の受付業務が、令和2年度の法改正により試験合格者のみ対象の冬期の受付へと変わっています。

## 講習会・建築士試験の思い出

通常の講習会では数十人、定期講習に至っては200人規模の講習会を過去10年に渡り難なく運営してきました。これ

もひとえに委員会メンバーの高いスキルと講習に参加される方のご協力の賜物であり、この場をお借りして改めて御礼を申し上げます。個人的なことではありますが、集合時間に間に合うよう、朝の水戸市内渋滞をかいくぐる業を獲得できたことはこれからも役に立つであろうと思っています。

またこの10年では新たな取り組みとして施工管理者(現場監督)を対象とした「工事管理者セミナー」を数年来に渡り開催しました。これは会員及び会員企業の方の業務内容が設計のみではなく、施工管理に携わっている方が多いことから企画されたもので、普段は講習会にあまり縁のない方にも参加いただき一定の成果を収めることができました。

建築士試験については毎年“受験生第一”を信条に運営を行ってきました。中でも思い出深いのが、令和元年の一級建築士製図試験です。折からの台風19号の影響により、試験前日の土曜日になって中止が決定し12月へと延期されました。

当初の予定日だった10月13日朝には、誤って試験会場に来てしまう受験生への対応として会場入口で待機しましたが、仁王立ちで陣頭指揮をとっていた柴会長の姿が今でも脳裏に焼き付いています。

## コロナ禍での講習会とは～

「これからの10年もこれまで同様の活動を…」と書きたいところですが、2020年に発生した新型コロナウイルス感染拡大により、人が集まる場としての講習会の在り方が問われています。これまでの2年間、会場の消毒や受験者の検温、収容人数の抑制等様々な方策を行ってきましたが、最低でもこれから数年間は同様の対策をとらざるを得ないことが予想されます。これまでと変わりのない会員へのサービスとコロナ対策という相反する要素を委員会内で議論しながら、また建築士会内での収入を司る委員会として、過去10年間と同じ会員サービス、時代の変化に応じた講習会・試験運営、新しいかたちの講習会を模索していきたいと思っています。

「工事管理者セミナー」開催が  
一定の成果を上げた10年。  
今後は、時代の変化に応じた  
新しいサービス、講習会の形を  
模索し、提案していく。



## 2012→2022

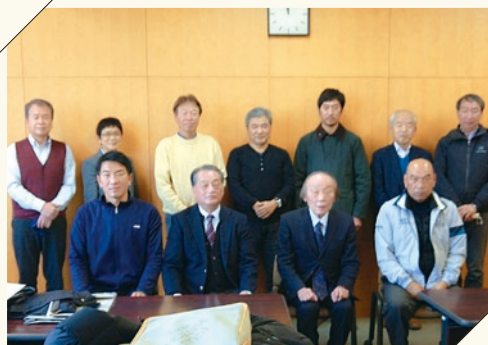
### 研修委員会 | この10年のおもな講習会等の事業

平成23年(2011年)	震災建築物の被災度区分判定講習会	1回
	建築確認手続き運用改善等講習会	1回
平成24年(2012年)～25年	木造建築構造技術者育成講座	4回～10回/年
～25年	木造住宅の耐震診断と補強方法の講習会	1回/年
～26年	すべての建築士のための総合研修会	2回/年
～現在	定期講習	2回～3回/年
～現在	知事指定「建築士会技術講習会」	1回～2回/年
	木造住宅耐震改修工法講習会	2回/年
	宅地開発関係及び地盤についての講習会	1回
	建築士の業務「告示第15号」解説講習会	1回
	確認申請手続きマニュアル解説講習会	1回
	Wee2012一般診断法による診断プログラム解説講習会	1回
平成25年(2013年)～30年	住宅省エネ講習会	1回～4回/年
	「現代エコハウスの課題」講習会	1回
平成26年(2014年)～30年	工事管理者セミナー	3回～4回/年
	天井落下防止対策講習会(DVD講習会)v1回	
	紛争事例講習会(建築士の法的責任と義務)	1回
	小規模建築物を対象とした「地盤・基礎」及び宅地資料集の解説	1回
	改正茨城県建築基準関係資料集の解説	1回
平成27年(2015年)～30年	インスペクター養成講習会	1回～2回/年
	建築設計業務におけるBIM講習会	1回
	改正建築基準法講習会	1回
	改正建築士法解説講習会	1回
	市街化調整区域における小規模宅地開発・建築許可解説講習会	1回
～現在	監理技術者	回/年
	住宅エネルギー設計者講習	2回
平成28年(2016年)	宅地開発関係資料集 and 擁壁解説講習会	1回
平成29年(2017年)	杭基礎の正しい設計・施工の解説	1回
	実務者のための設計・監理契約者講習会(DVD講習会)	1回
～現在	既存住宅状況調査	2回～5回/年
平成30年(2018年)	総合図作成ガイドライン講習会	1回
	建築生産入門講習会	1回
平成31年(2019年)	改正業務法集基準説明会	2回
	次世代住宅ポイント制度とリフォーム工事講習会(DVD講習会)	1回
	「改正民法が建築士の業務に与える影響及び働き方改革」講習会	1回
その他、建築士の試験は毎年、年4回、一級、二級、木造の学科及び製図を担当		

# 会員委員会

会員証、会員名簿の作成を担当し、会員の福利厚生に関する催しや見学会等を多数実施。より多彩で充実した活動を企画・提供することで、会員同士の交流と会員の増強を推し進める。

報告 | 前委員長 根本 勝義 (平成26年度～)



創立70周年にあたり、この10年の活動を報告します。

10年前、平成24年から渡辺彰夫委員長のもとで副委員長を2年間務め、平成26年より今年度まで4期8年に渡って、委員長の役を務めてきました。

当委員会は、会員サービス及び会員増強を目的とする委員会です。10年の活動の中からおもな活動を抜粋して報告します。

## 1. チャリティゴルフ大会

毎年110名程度の参加者があります。個人賞・各支部による団体賞があり、参加者から募ったチャリティー金と合わせて20万円相当の金品を色々な団体に寄贈しています。主な寄贈先は、筑西市の児童養護施設育成園へ10万円、美術展で会場を借用している県立図書館へブックカート4台(10万円相当)、水戸市小林町の児童養護施設内原和敬寮、みどり園、日照養徳院その他へ20万円等となっています。

## 2. ボウリング大会

女性会員や、賛助会員、さら

に家族ぐるみで参加しやすい事業です。

個人賞及び支部及び企業の団体賞があり、もれなく商品を用意しています。

## 3. 日帰り見学会

東京近辺と近隣地方へ、毎年交互に日帰りの見学会を開催しています。企画内容によっては定員80名でも収まらずキャンセル待ちの年もありました。企業の協賛により、格安で参加できることが魅力の人気企画です。

## 4. 会員美術展

会員の皆様より、絵画、書、写真、工芸など約30作品を出品していただく展覧会です。

県立図書館1階ギャラリーをおもな展示会場としていますが、規約により2年に一度の使用となるため、それ以外の開催会場選定に苦労しました。会場によっては来場者が増減するため、出品される方のためにも、よりよい会場選びに腐心しました。

平成24年度より令和元年度まで順調に事業を開催してきま

したが、新型コロナウイルスの影響により、令和元年度の美術展から令和3年度の日帰り見学会まで、すべてを中止せざるを得ない状況となりました。

令和4年に入ってから、コロナ禍の拡大状況を注視しながら、3月の美術展を開催しました。

会場選定にあたり、県立図書館事務局に打診をしたところ、本来は令和4年4月から使用開始のところ、特別に1階ギャラリーを借用することができました。以前にブックカートを寄贈したお礼に、とのことで、来年度の開催予約も無事にすることができました。



会員美術展展示風景

最後に、この10年間の委員会事業へのご支援、ご協力に対するお礼と、3月に開催する美術展のご協力をお願いを申しあげ、活動報告とします。

『日帰り見学会』シリーズには、  
 キャンセル待ちが出るほどの  
 人気企画も登場。  
 コロナ禍の状況を注視しつつ、  
 会員交流の場の創出を続ける。



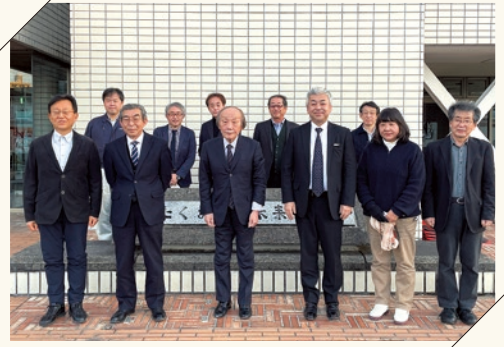
## 2012→2022

### 会員委員会 | この10年のおもな事業

平成24年 (2012年)	6月19日	第22回チャリティーゴルフ大会 (103名参加)	11月3日	第25回日帰り見学会・東京スカイツリー、浅草方面 (85名)	
	8月25日	第5回ボウリング大会 (73名)	平成29年 (2017年)	2月6日	第20回美術展 (6日間) 茨城県立総合福祉会館 (出展作品数102点)
	11月3日	第21回日帰り見学会・鎌倉方面 (73名)		6月22日	第27回チャリティーゴルフ大会 (106名参加)
平成25年 (2013年)	3月28日	第16回美術展 (5日間) 茨城空港1Fロビー (出展作品数40点)		8月26日	第10回ボウリング大会 (47名)
	6月18日	第23回チャリティーゴルフ大会 (106名参加)		11月3日	第26回日帰り見学会・柴又帝釈天、上野方面 (74名)
	8月24日	第6回ボウリング大会 (62名)	平成30年 (2018年)	3月15日	第21回美術展 (6日間) 茨城県立図書館 (出品作品30点)
	11月3日	第22回日帰り見学会・福島会津方面 (52名)		6月21日	第28回チャリティーゴルフ大会 (119名参加)
平成26年 (2014年)	3月25日	第17回美術展 (6日間) 茨城県立図書館 (出展作品数30点)		8月25日	第11回ボウリング大会 (57名)
	6月24日	第24回チャリティーゴルフ大会 (107名参加)		11月3日	第27回日帰り見学会・迎賓館赤坂離宮、深大寺方面 (89名)
	8月23日	第7回ボウリング大会 (59名)	令和1年 (2019年)	3月6日	第22回美術展 (6日間) 水戸市役所1F特設会場 (出展作品数57点)
	11月3日	第23回日帰り見学会・東京：国立議事堂等・銀座 (101名)		6月19日	第29回チャリティーゴルフ大会 (109名参加)
平成27年 (2015年)	2月21日	第18回美術展 (6日間) 水戸市立見和公民館 (出展作品数27点)		8月24日	第12回ボウリング大会 (58名)
	6月25日	第25回チャリティーゴルフ大会 (123名参加)		11月3日	第28回日帰り見学会・NHK放送博物館、お台場方面 (51名)
	8月22日	第8回ボウリング大会 (60名)		8月26日	第10回ボウリング大会 (47名)
	11月3日	第24回日帰り見学会・群馬県：富岡製糸工場、軽井沢方面 (90名)	令和2年 (2020年)	美術展・チャリティーゴルフ大会・ボウリング大会ともコロナ禍のため中止	
平成28年 (2016年)	3月16日	第19回美術展 (6日間) 茨城県立図書館 (出展作品数27点)	令和3年 (2021年)	美術展・チャリティーゴルフ大会・ボウリング大会ともコロナ禍のため中止	
	6月24日	第26回チャリティーゴルフ大会 (115名参加)	令和4年 (2022年)	3月16日	第23回美術展 (6日間) 茨城県立図書館 (出展作品数34点)
	8月27日	第9回ボウリング大会 (65名)			

# 情報・広報委員会

年3回発行される会報誌の企画・編集作業およびウェブサイトの企画・運営を担当。  
会や支部に関する情報を収集し、2つのメディアを通じて会員に向け広く発信する。  
また、応急危険度判定に関わる事業も担当する。



報告 | 委員長 大山 早嗣 (平成30年度～)

## 会報誌の企画・編集

委員会としての主な活動の一つは、年3回(2月新年号、6月総会号、10月秋季号)発行する「けんちく茨城」の企画・編集作業です。会報誌の内容は、公共建築を主にした「建築作品紹介」、話題性のある特集、「支部活動報告」、「委員会活動報告」、シリーズとなった「ようこそフレッシュマン」、「先輩会員を訪ねて」のインタビューなどです。

「3.11 東日本大震災」を特集した60周年記念号に始まり、その1年後には第55回建築士会全国大会の開催に合わせた記念誌の発刊、平成29年には誌面デザインの改訂が行われるなど大きな動きのあった10年でした。その間に「けんちく茨城」も100号を数え、歴代の委員長から様々な思い出を伺う機会となりました。

## ウェブサイトの企画・運営

委員会として行っているもう一つの活動が、会の情報源でもあるウェブサイトの企画・運営です。情報更新は毎日行い、会員の皆さんにアクセスしてい

ただけるよう、事務局の助川さんが毎日メールマガジンを送信しています。会のホームページも令和3年9月に20周年を迎え累計で104万人のアクセスをいただきました。

最近ではSNS (Facebook等)の活用も進み、会員に関係する身近な情報をグループページで配信しています。講習会や委員会の開催情報などがタイムリーに配信されることで各種事業への参加促進につながっています。



茨城県建築士会ウェブサイト

## 応急危険度判定関連業務

そのほかの活動としては、毎年秋に実施される応急危険度判定連絡訓練、判定模擬訓練、応急危険度判定講習会の実施、木造耐震診断士講習会への協力などがあります。

応急危険度判定活動におい

ては、東日本大震災の際にも自ら被災している状況にも関わらず、県内全域から多くの判定士に活動への協力をいただきました。そしてこの10年の間にも日本各地で大きな地震、風水害が発生しています。

茨城県の民間判定士に対する応急危険度判定士の要請連絡、派遣実施までには至っていませんが常に備えている状況が続いています。応急危険度判定連絡訓練における連絡網は各支部の協力いただきながら常に更新しています。



応急危険度判定士講習会受付風景

今後も会員の皆さんの役に立つ新しい情報を様々なかたちで発信できるよう企画・運営していきたいと思ひます。

引き続きご協力をいただけますようお願いいたします。

各メディアの特性を生かした効果的な情報発信を積極的に心がけた10年。応急危険度判定要請への3度の対応も強く記憶に残る。



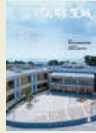
## 2012→2022

### この10年間の会報誌

### おもな内容、表紙を飾った建築作品



No.76号  
平成23年8月  
・創立60周年記念号



No.84号  
平成26年2月  
・大洗町立大洗小学校



No.92号  
平成28年10月  
・茨城県立土浦第三高校特別教室棟



No.100号  
令和元年6月  
・笠間歴史交流館 井筒屋



No.77号  
平成23年11月  
・つくば市葛城地区公園管理棟



No.85号  
平成26年7月  
・筑西市立協和中学校



No.93号  
平成29年2月  
・鹿島神宮 祈禱殿・社務所



No.101号  
令和元年10月  
・地域交流センター いわま「あたご」



No.78号  
平成24年2月  
・G1タワー



No.86号  
平成26年10月  
・弘道館



No.94号  
平成29年6月  
・みらい平コミュニティセンター



No.102号  
令和2年2月  
・笠松運動公園陸上競技場(メインスタンド屋根)



No.79号  
平成24年6月  
・つくば市子育て総合支援センター



No.87号  
平成27年2月  
・水戸市立第二中学校



No.95号  
平成29年10月  
・野草舎「森の家」保育園



No.103号  
令和2年6月  
・牛久運動公園 武道館



No.80号  
平成24年12月  
・ひたちなか市立那珂湊第二小学校



No.88号  
平成27年6月  
・常陸太田市立峰山中学校



No.96号  
平成30年2月  
・北茨城市立図書館



No.104号  
令和2年10月  
・下妻市立下妻中学校



No.81号  
平成25年2月  
・日立市立大久保中学校



No.89号  
平成27年10月  
・行方市立玉造小学校



No.97号  
平成30年6月  
・友部地区地域交流センターTOMOA



No.105号  
令和3年2月  
・秀峰筑波義務教育学校



No.82号  
平成25年6月  
・古河市地域交流センター「はなももプラザ」



No.90号  
平成28年2月  
・茨城県立水海道第一高校



No.98号  
平成30年10月  
・土浦協同病院附属看護専門学校



No.106号  
令和3年6月  
・あづま幼稚園



No.83号  
平成25年10月  
・大野ふれあいセンター



No.91号  
平成28年6月  
・日立市立水木小学校



No.99号  
平成31年2月  
・水戸市役所新庁舎



No.107号  
令和3年10月  
・日立市立はなやま認定こども園

# まちづくり委員会

地域社会に貢献するまちづくり事業を推進。

さまざまな場所、そして、さまざまな人々と積極的に交流を図りながら、「良好な景観づくり」を実現するための多様なアプローチを模索し、成果品を生み出している。

報告 | 委員長 岩永 至功 (平成30年度～)

委員 梶 ひろみ 前副委員長 永井 昭夫



「まちづくり委員会」は平成14年度に企画委員会から独立して以来、現在に至っています。当委員会は茨城県の建物だけでなくまち並みなどを視察、研究し、その良さを会員の皆様に伝えていくこと、そしてこれからのまちづくりに何か役に立てることをめざして活動を続けています。

## 「体感ルート・ガイドマップ」

平成19年度から始めた、茨城県に残る“むかしの家”を再評価し、その魅力を伝える「体感ルート・ガイドマップ」は、この10年の間に第4弾「水戸街道・筑波編」、第5弾「陸前浜街道・常磐編」、第6弾「利根川・鬼怒川・小貝川 水系編」を発売することができました。まちづくりの原点として、一人でも多くの方に街歩きの楽しさを体感していただき、また、歴史的建造物の魅力を再評価いただけることを念頭に置いて、編集活動を行ってきました。まだ県内全域を網羅していませんので、今後、どのように継続していくか含めて検討課題としたいと考えています。(永井)

## 「ヘリテージマネージャー」

東日本大震災翌年の平成24年より、歴史的建造物やまち並みを守り次世代に引き継いでいく人材の育成を目的に「いばらき地域文化財専門技術者育成研修」をスタートしました。

タイムリーな題材と講師陣で茨城独自のカリキュラムを構成し、毎年定員を超える受講生の皆さんに全10回計60時間の現場実習を含む講義と課題で多くのエネルギーを注いで頂きました。3年3期を終え、97名のいばらき地域文化財専門技術者(ヘリテージマネージャー)が誕生しました。その翌年にはまちづくり委員会から離れ「ヘリマネいばらき協議会」を発足し、継続的なステップアップセミナーを実施しながら、地域ごとに歴史的建造物調査業務等の活動を行っています。(梶)

## 「水害に備えたまちづくり・家づくり」

常総市からの依頼での市内に残る古建築を利用したまちづくりの提案の企画を始めた直後に「常総水害」が起き、急遽水害に備えたまちづくりや家づくり

の提案に切り替えたこともありました。水害対策のヒントをまとめたパンフレット、水位を示すシールのデザインなどを作成しました。これからのまちづくりには防災、環境保全の要素がより大きくなっていくものと実感しました。さらに、コロナのパンデミックによりまちづくりの手法も考え直す必要があるのかもしれない。(岩永)

## 「地域のポテンシャルを活かしたまちづくり」

県内地域のポテンシャルを探りまちづくりのヒントとする試みを行いました。一つは従来型の「社会環境である歴史的資源を活かしたまちづくり」として古民家、古建築が多く残る結城市を対象とし、まち歩き、ワークショップを行いました。もう一つは社会環境に対し、「自然環境を活かしたまちづくり」として鹿島灘の海、ラムサール条約に登録された汽水湖の涸沼、人工的に淡水化された北浦、市街地近くに残る湿地のふくれ田と多様な環境を持つ鉾田市を対象に視察を行いました。(岩永)



歴史的資源の活用に加え、  
建築士の視点から  
災害の被害なども考慮し、  
地域の自然環境を活かす  
まちづくりを探り続けた10年。



2012→2022

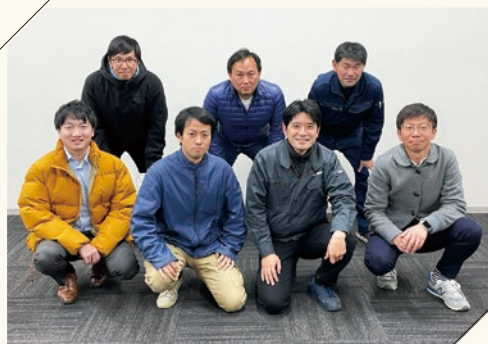
まちづくり委員会 | この10年のおもな事業

平成24年 (2012年)	6月 8日	国交省:補助事業「歴史的風致維持向上等推進調査」(全5回)	10月22日	全国大会「大分大会」セッション「全国ヘリテージマネージャー大会」
	7月 11日	いばらき地域文化財専門技術者育成研修2012(全10回)	10月	26日・27日 長野県・新潟県まちづくり交流会
	10月 19日	全国ヘリテージマネージャー設立総会	平成29年 (2017年)	2月 3日 全国まちづくり会議、交流会、委員長会議
	10月 23日	重要文化財「耐震予備診断」説明会		8月 20日 H・I・C(ヘリマネいばらき協議会)総会 and 勉強会
平成25年 (2013年)	2月 18日	国交省:補助事業「歴史的風致維持向上等推進調査」発表会	10月	近代和風建築調査報告書100冊増刷
	2月 28日	国交省:補助事業「歴史的風致維持向上等推進調査」報告書・DVD 100枚納品	9月 16日	体感ルート・ガイドマップ 第6弾の視察
	7月 6日	いばらき地域文化財専門技術者育成研修2013(全10回)	12月 8日	全国大会「京都大会」セッション「全国ヘリテージマネージャー大会」
	9月 13日	文化財ドクター派遣要請	平成30年 (2018年)	2月16日・17日 全国まちづくり会議、交流会、委員長会議
	10月 19日	全国大会「しまね大会」セッション「全国ヘリテージマネージャー大会」		5月 20日 まちづくり委員会推奨 第6弾「常陸の国(茨城)体感ツアー」: 県南・県西編(仮)
	10月 29日	まちづくり委員会推奨 第4弾「常陸の国(茨城)体感ツアー」		8月 18日 H・I・C(ヘリマネいばらき協議会)総会 and 勉強会
平成26年 (2014年)	3月 31日	体感ルート・ガイドマップ 第4弾「水戸街道・筑波編」発刊	9月 12日	自治体連携事業候補地視察: 結城市
	6月 28日	いばらき地域文化財専門技術者育成研修2014(全10回)	10月 26日	全国大会「さいたま大会」セッション「全国ヘリテージマネージャー大会」
	10月 19日	全国大会「ふくしま大会」セッション「全国ヘリテージマネージャー大会」	11月16日・17日	関プロまちづくり交流会 in 桐生市・みどり市
平成27年 (2015年)	2月 21日	セミナー「まちなかしつかりデザイン」	令和1年 (2019年)	5月 19日 鉦田市内の視察・散策
	3月 18日	まちづくり委員会推奨 第5弾「常陸の国(茨城)体感ツアー」: 県北編 下見		6月 2日 まちづくりワークショップ『人と歴史と町を結ぶワークショップ』: 結城市公民館
	6月 7日	まちづくり委員会推奨 第5弾「常陸の国(茨城)体感ツアー」県北編		9月 20日 全国大会「函館大会」セッション「全国ヘリテージマネージャー総会」
	8月 9日	H・I・C(ヘリマネいばらき協議会)設立総会+勉強会・交流会	10月 25日	～26日 関プロまちづくり交流会 in 佐渡
	9月 4日	災害に備えた『まち』利活用事業 第1回打合せ and 視察	11月 13日	鉦田支部長と委員会との懇談会
	9月 5日	近代和風建築総合調査説明会	令和2年 (2020年)	1月 31日 ～2月1日 全国まちづくり会議、交流会、委員長会議
	10月 30日	全国大会「かなざわ大会」セッション	令和3年 (2021年)	2月 5日 「全国まちづくり委員長会議、交流会」コロナ禍により宮城県女川温泉中止の為、会誌「建築士」7月号の誌上形式とした
平成28年 (2016年)	3月 5日	近代和風建築総合調査報告会		3月 28日 「全国ヘリテージマネージャー総会」コロナ禍により全国大会広島大会が中止の為、Web形式の動画配信形式とした
	3月 31日	体感ルート・ガイドマップ 第5弾「陸前浜街道・常磐編」発刊	11月 19日	「全国ヘリテージマネージャー総会」コロナ禍により全国大会広島大会が中止の為、東京:浜松町で基本Web形式とした
	8月 20日	H・I・C(ヘリマネいばらき協議会)総会・勉強会・交流会	令和4年 (2022年)	2月18日・19日「全国まちづくり委員長会議、交流会」東京
	9月	近代和風建築重要案件調査29棟50件受託		
	9月 24日	提案報告会『水害に備えたまちづくり・家づくり』		

# 青年委員会

満40歳未満の会員で構成され、会員相互の技術の向上と親睦を図り、社会とのつながりを深めて、会の発展に寄与する活動に取り組む。10年に一度主管する関東ブロック大会が、活動のひとつのハイライトとなる。

報告 | 前委員長 早川 敏史 (平成30年度～)



青年委員会では、関東甲信越ブロック(以下関ブロ)青年協議会の大会への参加とソフトボール大会開催、建築士免許交付式・免許証明書交付式を中心に活動してきました。

関ブロ青年協議会の大会では毎年、茨城県を代表して1名が活動を発表しています。ソフトボール大会は44回の開催を迎え、毎年開催が欠かせない事業となっています。建築士免許交付式・免許証明書交付式では新たな建築士となる方々をお祝いしました。

## メンバー自身が楽しめるPR活動を

近年の活動では、とくに会員の拡大に力を入れています。以前は建築士免許交付式を開催し、その中で、建築士会のPR、グループディスカッション、パネルディスカッションと行っていました。が、会員の減少が続く中、青年委員会で多くの話し合いを重ね、より会の外に向けた積極的な活動を、委員会メンバーが楽しみながら行うことが必要ではないか——建築って面白いし楽しい、建築士会に入りたい、

と思ってもらえる仕掛けが必要ではないか、という結論に辿り着き、動き始めました。

## 新たな企画で出会いの場を創出

まずは、「みなとメディアミュージアム」という、アートイベントに参加しました。建築廃材利用し、インスタレーション作品を協力して制作し、委員会メンバーの仲間意識が高まりました。また、建築の魅力を発信することができました。

また、「パスタブリッジコンテスト」も主催しました。これは、パスタとグルーガンで橋を作り耐久性を計測するイベントで、大学生、専門学校生たちに参加してもらい、競技形式で建築の構造的な考え方を積極的に学んでもらいました。

若手建築業種交流会では、建築士、建築関係業者で交流をはかり、新たな出会いの場を創出しました。さらに、街なかで家具ペイントの体験型イベントを企画し、地域の方にも活動をPRしていきました。

これらの活動によって、徐々に、委員会で活躍したいという

方が増え始め、手応えを感じているところです。

## 関ブロ茨城大会開催への強い思い

2020年の関ブロ青年協議会茨城大会では、櫻井実行委員長のもと、今だかつてないテーマ、企画を検討し、一部地域の方の参加型で行う計画をしていましたが、コロナ禍の影響で中止かという状況になりました。

結果的に延期となりましたが、開催に向け全力を傾けてきた委員会メンバーとしては、一時は皆心が折れそうになりました。が、これまでの経験によって、そのような状況下でも新たな企画を考え直し、なんとか成功させたいとの強い思いを持ち直し、皆で準備を進めていきました。

2021年に開催された同大会は、オンラインでの大会となりましたが、参加者は500名を数え、開催県の責任を果たすことができ、メンバー一同新しい体験を共有することができました。

これからも、青年委員会では、積極的に新しい企画に挑戦し、茨城県の青年建築士として活躍を続けていきます。

建築って面白い、楽しいと  
 思ってもらうための  
 仕掛けづくり、  
 皆が一丸となり、  
 全力で取り組み続けた10年。



## 2012→2022

### 青年部会委員会 | この10年のおもな事業

平成24年 6月15日・16日 関ブロ青年協議会新潟大会  
 (2012年) 9月 2日 ソフトボール大会(土浦市霞ヶ関運  
 動公園グランド/優勝: 県西連合)

平成25年 2月20日 二級建築士免許交付式(茨城県開  
 発公社ビル)  
 6月28日・29日 関ブロ青年協議会千葉大会  
 9月 1日 ソフトボール大会(水戸市元石川グ  
 ランド/優勝: 県庁支部)

平成26年 2月20日 二級建築士免許交付式(茨城県庁)  
 (2014年) 6月19日・20日 関ブロ青年協議会東京大会  
 9月 6日 ソフトボール大会(優勝: 県央支部P)

平成27年 2月18日 二級建築士免許交付式(茨城県庁)  
 (2015年) 6月19日・20日 関ブロ青年協議会群馬大会  
 9月 5日 ソフトボール大会(水戸市東野運動  
 場/優勝: 県央支部L)

平成28年 2月26日 建築士免許証明書交付式開催  
 (2016年) (茨城県庁)  
 6月17日 関ブロ青年協議会山梨大会  
 発表: パスタブリッジコンテスト  
 9月 3日 ソフトボール大会(水戸市東野運動  
 場/優勝: 県央支部L)  
 10月30日 グリーンフェスタ2016参加(宮  
 の郷工業団地)

平成29年 2月27日 建築士免許証明書交付式開催  
 (2017年) 茨城県庁  
 6月23・24日 関ブロ青年協議会かながわ箱  
 根大会/発表: パスタブリッジ  
 コンテスト

平成30年 2月27日 建築士免許証明書交付式開催  
 (2018年) ((財)茨城県建設技術管理センター)

平成30年 2月27日 U-45建築界異業種交流会開催  
 (2018年) (水戸市泉町仲通り商店街)  
 6月15日・16日 関ブロ青年協議会栃木大会  
 発表: 土浦市景観まちづく  
 り団体の活動  
 8月18日 一級製図課題施設見学会開催  
 9月 1日 ソフトボール大会(水戸市東野運動  
 場/優勝: JR水戸支部)  
 9月30日 パスタブリッジコンテスト開催  
 (日立市役所)  
 10月28日 グリーンフェスタ2018参加(霞が  
 関公園体育館)

平成31年 4月19日 ワークショップ開催/建築とマチ  
 ノイズミと塗料と塗装(水戸市泉町  
 マチノイズミ)

令和元年 6月21日・22日 関ブロ青年協議会埼玉大会  
 (2019年) 発表: マチノイズミプロジェ  
 クト  
 8月11日～31日 イベント参加(MMM2019  
 (みなとメディアミュージアム))  
 9月 7日 ソフトボール大会(水戸市東野運動  
 場/優勝: 県央支部P)

令和2年 6月20日・21日 関ブロ青年協議会茨城大会  
 (2020年) (令和3年度に順延)  
 9月19日 ソフトボール大会(水戸市東野運動  
 場/優勝: 県庁支部)

令和3年 6月19日 関ブロ青年協議会茨城大会開催  
 (2021年) /発表: 県庁職員が県央支部に  
 入ってみた  
 9月25日 ソフトボール大会(3月に順延)

# 女性委員会

女性建築士で構成され、会員相互の交流と親睦を深めるとともに、知識、技術の向上と社会的地位の確立、会の発展に寄与する活動を行う。女性ならではの柔軟な発想を生かした企画も数多い。

報告 | 委員長 小貫 弘巳 (令和2年度～)

前委員 浜中 本子、平沼 清美



## 「活動の輪が広がることを願う！」

女性委員会は、『わくわくセミナー』『ラブアークセミナー』の2つを中心に、セミナーや見学会、ワークショップなどの開催、その他『全国女性建築士連絡協議会』への参加や青年委員会との合同企画など、多くの活動をおこなってきました。

年に1～2回、女性会員にむけて、各支部活動報告などを掲載した広報誌「アイラルネットワーク」を発行しています。また、平成29年度から今年度においては、日本建築士会連合会女性委員会主催の『魅力ある和の空間ガイドブック (web版) 茨城版』の制作も進めています。

令和2年からコロナ渦により活動も自粛せざるを得ない状況となり、そのような中で私たち建築士ができることは何か、いろいろなことを考えさせられることとなりました。勉強会や会議やセミナーをオンラインに切り替えるなど、慣れない中での活動となりました。

今年度は『女性委員会創立30周年』を迎えます。これからも女性委員会では、様々な活動を通して会員同士のコミュニケーション

を図り、情報交換など多くの人とつながることで、技術の向上・仕事の幅も広がっていくと考えます。さらなる女性建築士の活躍を応援していきたいと思えます。

## 女性部会から「青年女性委員会」へ

茨城県建築士会女性委員会が「青年女性委員会」となって10年。2つの部会が一緒になるということは活動の輪が広がること。そんな希望を持って私たちは活動してきました。「建築の日」には、ともに水戸駅前の清掃活動や苗木配布を行い、一級建築士製図課題施設見学会や建築士免許の受付、証明書交付式は毎年恒例の事業となりました。ワークショップも合同企画は規模が大きく盛大になり、さらに今年度は、関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会茨城大会を開催することができました。リモート開催という企画運営は初めての経験で、新しい時代の波に乗り遅れぬよう、青年委員会の良きライバル・良き友となり、運営側の一員として戦い抜いたような、そんな大会でした。苦労はしますが合同企画を通して活動の輪が広がるのも事実です。これからの進展に期待

していききたいところです。(浜中)

## 第26回全国女性建築士連絡協議会で被災地報告

平成28年7月に奈良県で開催された「第26回全国女性建築士連絡協議会」では、被災地の現状報告として茨城県も発表の場をいただきました。平成27年9月、常総市の約1/3の面積に相当する約40平方kmが浸水。浸水範囲の建築物数は約20,000戸となり大きな被害となりました。私たち女性委員会では現地調査や完成した堤防の視察等もしながらこれらを取り纏め『平成27年9月関東・東北豪雨 現況報告～川とともに暮らす～』を発表しました。あらためて、防災のあり方について学ぶ良い機会となりました。

平成29年9月には、女性委員会初めての試みとして2泊3日の視察研修旅行「建築女子の神戸・ぶらぶら建築探訪」を企画しました。茨城空港を利用した神戸・大阪の建築探訪の旅。同じ仕事を生業とするからこそ共に楽しめるオリジナル企画で、女性建築士の絆も深まり充実した研修となりました。(平沼)

会員相互の交流と  
勉強会を兼ねた、  
多彩でクリエイティブな  
企画の実現に  
積極的に取り組んだ10年。



## 2012→2022

### 女性委員会 | この10年のおもな事業

#### セミナー

- 平成24年(2012年) 高齢者の転倒予防
- 平成25年(2013年) 住宅の防音について/住宅と省エネ法について
- 平成26年(2014年) 好感度アップセミナー
- 平成27年(2015年) スケッチ教室
- 平成28年(2016年) 建築写真の撮り方
- 平成29年(2017年) 調整区域に家を建てる/地盤について
- 平成30年(2018年) 空き家店舗活用と実践/パワーポイントセミナー
- 令和1年(2019年) オーダーキッチンの製作について/ペットと暮らす住まい
- 令和2年(2020年) オフィス環境の整理と収納
- 令和3年(2021年) zoomのあれこれ~初心者から主催者側まで~  
ウィルス対策と換気の今を学ぶ  
防災食・備蓄について~いざという  
時家庭内にあるもので~

#### 体験学習

- 平成24年(2012年) 寄せ植え体験
- 平成26年(2014年) AED講習
- 平成27年(2015年) 七ツ洞公園散策
- 平成28年(2016年) クリスマスアレンジメント作り
- 平成29年(2017年) 水府提灯作り体験

#### 見学会

- 平成24年(2012年) 国代耐火工業所ショールーム見学会/古民家再生見学会
- 平成25年(2013年) プレカット工場見学会/日立駅とプラネタリウム見学会
- 平成26年(2014年) 結城紬ミュージアムつむぎの館「見学会&織り体験」

- 平成27年(2015年) YKKショールーム見学会/スウェーデン大使館見学会
- 平成28年(2016年) エコフロンティアかさま見学会
- 平成29年(2017年) インテリアショールーム見学会
- 平成30年(2018年) リクシル体験型ショールーム見学会/セルフビルドの家「楽日荘」見学会
- 令和1年(2019年) 和紙の家見学会/つくば里山モデルハウス見学会  
旧白洲邸「武相荘」見学会
- 令和2年(2020年) オーダーキッチン工場見学会

#### その他

- 平成24年(2012年) 女性部会20周年記念式典  
青年女性委員会として新たなスタート  
建築の日一斉活動&親睦会(平成24年7/6日)
- 平成28年(2016年) 第26回全国女性建築士連絡協議会(奈良平成28年7/22~23日)  
「平成27年9月関東・東北豪雨」の現状報告
- 平成29年(2017年) 青年女性委員会合同企画  
HUG体験ワークショップ/参加者36名(平成29年12/2日)  
建築女子の「神戸ぶらぶら建築探訪」
- 平成30年(2018年) 第28回全国女性建築士連絡協議会(高知平成30年7/28~29日)  
WEB版 魅力ある和の空間ガイドブック制作(3物件調査報告)
- 令和1年(2019年) WEB版 魅力ある和の空間ガイドブック制作(2物件調査報告)
- 令和2~3年(2020~2021年) WEB版 魅力ある和の空間ガイドブック制作(3物件調査報告)

# CPD 委員会

会員の知識や技術に関する自己研鑽と啓発、  
さらに倫理観向上のために設置されたCPD制度。  
ICカード化の導入により、行政発注のコンペや  
プロポーザルなどにおいても実績データの活用が広がる。

報告 | 委員長 小川 憲一 (平成30年度～)



今更ながらですがCPDとはContinuing Professional Developmentの略で、「継続能力開発制度」「継続教育」などと略され、言葉の通りさまざまな専門職のために継続的に技術の向上を図るプログラムを推進する制度のことをいいます。建築士会では平成14年から会員の知識や技術に関する自己の研鑽と啓発、さらに倫理観向上のためCPD制度が設けられています。

茨城県建築士会では現在246名がCPD登録をしています。本来、性善説に立つて言えば、そういった制度がなくても建築士の社会的責務の重さを考えると、自己研鑽は当たり前のことと皆さん理解をされていると思います。しかし各々の自己研鑽の度合はそれぞれ違うものであり、過去には大きな社会問題となった構造設計書の偽造や、建築確認申請など公文書等の偽造などが起こり道徳観念においても問われたところでした。よって平成21年施行

の改正建築士法第22条の4の規定により、全ての建築士に対する研修を行うことが建築士会に義務付けられたことを受け、全ての会員が参加できることに加え、会員だけではなくオープン化により非会員の方たちにも広く門戸を開いて実施されています。

CPD履歴の登録は、研修プログラム参加時にICカード等による研修会場等での出席記録等によって登録を行う仕組みになっています。具体的には研修会場でCPDカードをかざすか、氏名と士会CPD個人番号とを記入するだけで登録されますので、特にめんどうなことはありません。そして、その情報はCPD単位として建築士会が専用サーバーに登録することによりCPD参加者の履修履歴が蓄積され、さらにネット上で自身の単位取得状況が確認できるなど利便性が向上しています。

またCPD参加者の履修履歴の蓄積は、参加者の求めに応じて建築士会が証明書を発行する仕組みで、現在、茨城県などの行政機関で経営事項審査の客観的事項として評価されており、建築工事等の入札や入札参加資格審査等において活用されています。活用される機関は今後も増える予想されるため、CPD評価の加点は業務メリットに繋がっていくものと思われる。

このCPD制度で研鑽を積んだ建築士は、技術・技能・倫理の面で信用できるといった社会的評価が得られる。ということがこの制度の目的であるといえます。



# 賛助会

賛助会員が本会の事業の遂行に協力し、かつ賛助会員相互の業務の拡大発展と親睦を図ることを目的に運営される。

報告 | 代表幹事 大竹 伸一 (平成16年度～)



賛助会は今日現在(令和3年12月20日)137社が会員となっています。

柴会長が茨城県建築士会の会長に就任された20年前には、10社程でした。柴会長より「建築士会の賛助会会員を100社にしたいので協力してほしい」と要請を受けて、賛助会代表幹事を仰せ付かりました。以来順調に会員数を伸ばし今日に至ります。

その原動力となっているのは、まず第一に柴会長の熱い、強い、類いまれなリーダーシップです。そこに正会員、賛助会員、事務局スタッフ等多くの皆様方のご尽力があり、この10年間も賛助会を無事に運営ことができました。

賛助会員にとりまして茨城県建築士会の魅力は、その会員構成にあります。

行政(国、県、市町村)に携わる建築士会会員の中には、部長職、課長、係長、さらに将来ある若い建築士がいます。

建築設計を営む設計事務所

においては、所長をはじめ役員の方、そしてやはり若い建築士の方々がいます。

建設業を営む建設会社では、私達賛助会員が提供する商品、サービス、新技術等を直接取引きいただくケースも多くあります。

そこにも、経営者から役員の方々、そして大勢の建築士が在籍しており、現場において長い工期の間、お付き合いをさせていただくこととなります。

このことは私達賛助会員の業務拡大発展にとり、とても重要な要素となっております。

私達の主な活動は会員増強をはじめ、チャリティーゴルフ、ソフトボール大会、ボーリング大会、建設フェスタ等への参加、各種講習会場での無料PRなどさまざまな建築士会活動に対する協力を行っています。

毎年恒例となった賀詞交歓会、8月の大納涼会、秋の建設フェスタが新型コロナ拡大の為に昨年開催されませんでした事は誠に残念であります。一日も早いコロナ禍の終息が望まれるところであります。

建設フェスタは「建設業の魅力を楽しく理解してもらおう事」を目的に実施されております。柴会長をお願いをして、主催者に了解を頂き建築士会用ブースとして私達賛助会員が出展出来る事になりました。参加費も建築士会にご負担を頂いている次第です。東京電力様が毎年大きな独自のブースを設けて、子供達に大人気でありました。残念ながら10年前の東日本大震災に依る福島原発事故により本会を退会されました。一日も早い復旧復興がされまして本会に復会され建設フェスタはじめ本会活動にご活躍されます日を楽しみにしておるところです。

賛助会は茨城県建築士会の賛助会員として士会事業の遂行に協力し、かつ賛助会員の業務の拡大発展と親睦を図ることを目的としています。

私達は初期の目的を達成する為に今後も会員増強を更に強化し、近い将来賛助会員200社を目指し茨城県建築士会の社会貢献活動達成の一翼を担う所存です。今後共どうぞ宜しくお願い申し上げます。

# 本部事務局

本会の運営に関わるすべての事務業務を行う。  
時に本会のエンジンルームとして、時にデータセンターとして、  
そして常に縁の下の力持ちとして、会の活動を支える。

報告 | 局長 助川 義浩 (令和4年度～)



「危な～いっ!!!」そう叫んだ受講生の方のお陰で、講師の美和先生の危機は回避できた——それは、10年前に起きた東日本大震災で被災した瞬間の出来事。土浦市の国民宿舎「水郷」の会議室で約120名の受講生と研修委員会(天委員長)の皆様と一緒にのときのことでした。

それから数ヶ月間、被災者の住宅相談等の支援に、柴会長とともに無休で奔走しました。

その後も毎年自然災害や事件等様々な問題は起きたものの、会員の皆様への情報共有メルマガやSNSは、何とか10年間、続けることができました。

## 2011年

### 3.11 東日本大震災

#### 1年間に延べ96市町村へ、延べ約3,260名の建築士会員が支援に向かう

生田目専務が3月末で退任する予定だったが、1ヶ月残ってくださって大変助かった年度の始めでした。4月から加藤新局長、生田目専務とともに被災支援、建築士試験の受付～試験の実施、60周年記念式典(池崎実行委員長)および記念講演会(東京スカイツリー建設の話)を実施。その後は情報・広報委員会(浅野委員長)で記念誌の編集・発刊と、1年間まさに奔走しました。この年は、会長より会員増強表彰を頂きました。

## 2011年

### 5.6 つくば市北条の竜巻被害

#### 筑波支部の皆様による被災者支援

罹災調査も数市町村まで減少しましたが、1年たってもまだ、調査している市町村がある状況でした。

この年、第55回 全国大会「いばらき大会」を初めて茨城県建築士会が主管として実施しました。この大会で日本建築士会連合会より永年勤続表彰を頂きました(会員増強表彰6年目は辞退しました)。まちづくり委員会(梶委員長)では、いばらき地域文化財専門技術者育成研修を県・教育庁共催のもと実施。国交省の補助事業に採択され、その後10回講座の準備・本番・結果報告等と、毎晩のように忙しい年でした。

女性部の20周年記念事業では、初代赤木部長～第7代石黒部長までのご苦労を色々知ることができました。

事務局内では、若井氏が家庭の事情で退社、秋野氏が入社し、違う意味での活気が出てきました。

## 2013年

### 台風26号が伊豆大島で記録的大雨により集落を飲み込む。夏は猛暑で41.0度を記録

木構造技術者養成講座、木造住宅の耐震診断と補強方法の講習会、住宅省エネ講習会と、木材関連施設の見学会などが目白押し。年間約1,500名の参加がありました。

第37回ソフトボール県大会では県央支部との激戦を制した県庁支

部が初優勝し、盛り上がりました。

この年、公益法人改革で一般社団法人となる。また、会員から惜しまれながら鴨志田氏が寿退社。

## 2014年

### 御嶽山の噴火、豪雨による広島市の土砂災害、豪雪・大雪により孤立する集落が相次ぐ

いばらき木造塾(年10回講座)が始まりました。

日本建築士会連合会の講習会支援タスクフォース委員を拝命。会員管理・専攻建築士タスクフォース委員も拝命。まさに超多忙に。

夏には、青年委員会(飯島委員長)の「4つの夏物語り」が実施されました。

この年、会員から惜しまれて大澤氏が寿退社。その後を引き継いで長山氏が入社。

## 2015年

### 関東東北豪雨(鬼怒川氾濫)常総支部等の会員が多数被災したにもかかわらず被災住民のための住宅相談業務に協力を頂く

全国誌『建築士』から原稿依頼有り、全国の職員で初寄稿。

総務・企画委員会(小室委員長)では、賀詞交歓会の参加者が初めて350名以上となり、盛大な懇親会となりました。

この年、会員から惜しまれて秋野氏寿退社。その後を引き継いで岡山氏が入社。



## 2016年

### 熊本地震

#### 熊本城崩落、大分県中部地震

研修委員会(小葉委員長)では、様々な講習(インスペクター養成、省エネ設計者、杭基礎の設計施工、設計・監理契約等々)を実施。

会員委員会(根本委員長)では、毎年恒例の日帰り見学会で東京スカイツリーを計画したところ、バス2台が満席となる参加がありました。

ひたちなか支部(川又支部長)にお願いをして、ひたちなか地区探訪に参加しました。県北の会員の皆様ととても楽しいひとときを過ごすことができました。

事務局では、この年、岡山氏が家庭の事情により退社。その後を引き継いで坪氏が入社。

## 2017年

### 九州北部豪雨災害

#### 福岡県・大分県で甚大な被害

宅建業法の改正もあって、既存住宅の状況調査技術者の養成が急務となり、講習(新規と移行の)を開始。延べ約300名の技術者養成が実現するも、その後の仕事に直結する事例はさほど多くありませんでした。

## 2018年

### 猛暑41.1°Cの記録更新

#### 北海道胆振東部地震

#### 大阪北部地震も

事務局次長を拝命。これからも益々精進する決意を新たに。日本建築士会連合会より会員増強支援タスクフォース委員を拝命。

禁煙とダイエット(毎日1万歩)を始めました。現在も継続中。

## 2019年

### 沖縄の首里城が火事により焼失

#### 台風19号による被害

#### 川の氾濫(逆流)が凄く、私の実家も床下浸水直前に

この台風のため一級の製図試

験は急遽中止・延期となり、試験当日は会長や他の皆様とともに、当日試験会場に足を運んだ人たちの対応を行いました。

建築士法の改正があり受験資格が緩和され、試験合格後の実務経験も可となり、翌年からの受験者数の増加と若い建築士の誕生への期待が膨らみました。

## 2020年

### 新型コロナウイルス感染症が世界パンデミックとなる。日本も緊急事態宣言を4/7~5/6まで発出

加藤局長退任後、局長代理を拝命し一層の責任の重さを痛感。その後、コロナ禍でも事務局3人でこの難局を乗り切りました。

コロナで「志村けん」さんが他界し、初めて身の危険を感じました。建築士の試験は、コロナ禍においても3密対策を徹底し、一級と二級、学科と製図とそれぞれ計4回実施。

建築士の定期講習や、建設業の監理技術者講習、既存住宅状況調査技術者の更新講習も法定の更新講習のため実施。

## 2021年

### 熱海の大規模土石流、数回の緊急事態宣言が発出、コロナ蔓延防止対策特別措置法成立

多角化する会の行事、多発する災害への支援に皆で対応を続けた10年。週一度以上のメルマガ送信も欠かすことなく、継続中!

東京オリンピック・パラリンピックの開催、大谷メジャー二刀流、松山英樹のメジャー初制覇、魅力度ランキング最下位復活の年。

そんな中でも関ブロ青年協「茨城大会」(櫻井実行委員長)がリモートによる初の大会を実施。期待の大型新人・黒澤君が入社し、目下懸命に私の仕事を覚えてもらっています。10年後は君がこの原稿を書くんだぞ!!!

10年間を顧みますと、毎年様々な出来事がありましたが、何とか会員の皆様に最低限週一回の情報共有メルマガをお送りすることができました。

今後も建築士会が100周年を迎えられるよう、まだまだ昇進して、あと数年、茨城県建築士会発展の一翼を担えれば幸いです。

## 回覧

はい。分かりました。頑張ります。あつ、申し遅れました私は、令和3年4月1月から入社した黒澤航太と申します。那阿湊出身の19才です。魚は嫌いです。(笑)

コロナ禍での入社ということで、事業等が中止になり会員の皆様と接する機会が少ない中、委員会や事務局の皆様にご指導いただきながらひとつひとつ業務内容を覚えている真最中です。

今までの学生時代には、講習会や資格試験を受ける立場だったのですが、入社後は、試験や講習会の事前準備であったり、当日の会場設営などの運営する立場となり、これまでとは違った苦労がありました。

コロナ禍により試験会場などでは感染対策として、フェイスシールドを着用したのですが、汗っかきの自分にとって夏の講習会は汗が止まらず、まさに地獄の時間(汗)でしたが、何とか工夫して乗り切ることが出来ました。

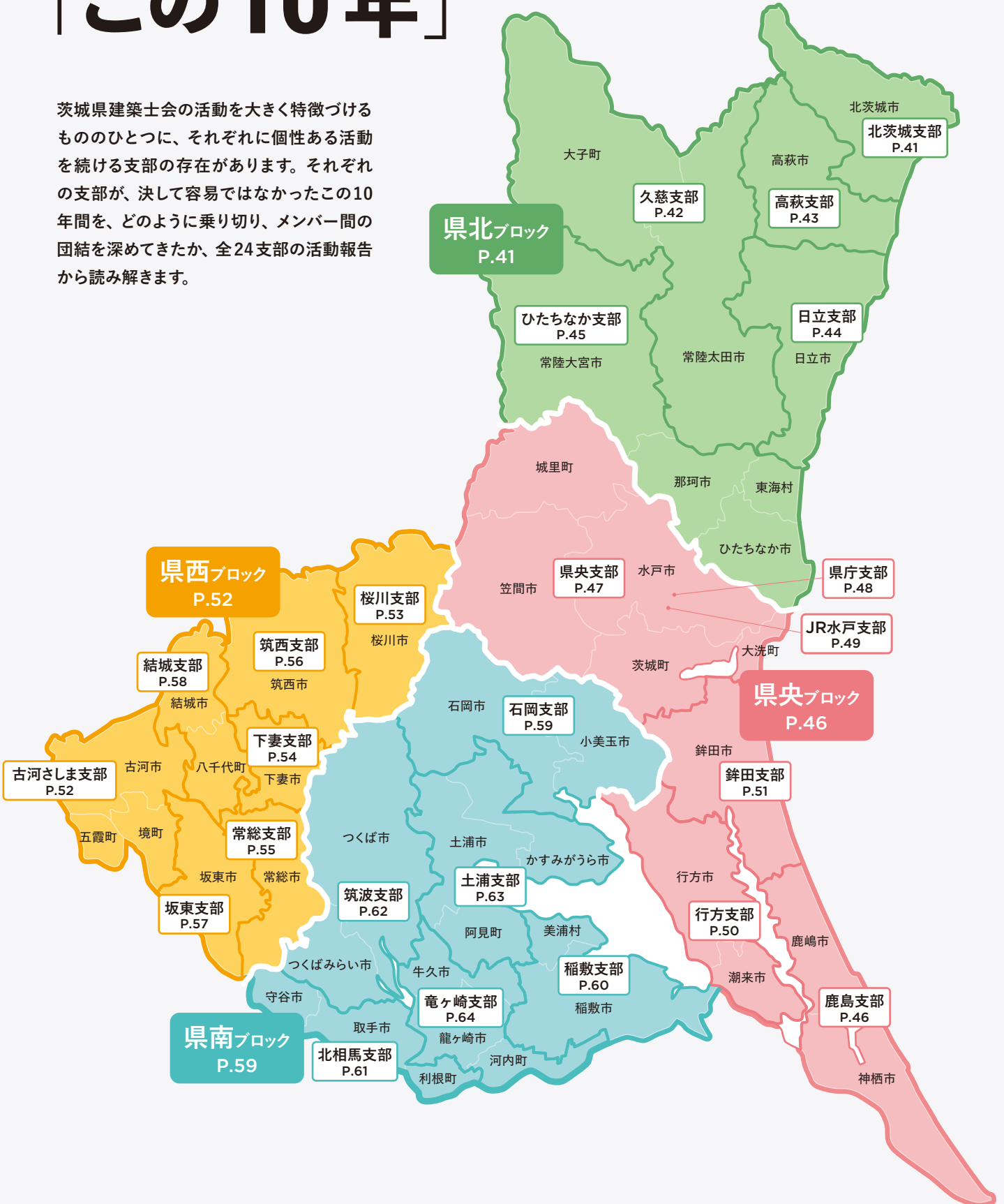
まだまだ分からないことだらけでご迷惑をおかけすることもあると思いますが、士会発展のために精一杯頑張りますので、これからもどうぞよろしくお願い致します。

各支部活動から振り返る

# 茨城県建築士会の

# 「この10年」

茨城県建築士会の活動を大きく特徴づけるもののひとつに、それぞれに個性ある活動を続ける支部の存在があります。それぞれの支部が、決して容易ではなかったこの10年間で、どのように乗り越え、メンバー間の団結を深めてきたか、全24支部の活動報告から読み解きます。



# 県北ブロック

## 北茨城支部

### 「この10年間のあしあと」

支部長 篠原 武司

去る2011年3月11日。奇しくも建築士会創立60周年の年に誰もが想像もしていなかった東日本大震災に見舞われてから既に10年の歳月が経過し、建築士会創立70周年となりました。

当支部のこの10年間の足跡を振り返って見ると、2011年10月には県北ブロック協議会の事業として被災後約半年の宮城県石巻市方面への被災状況視察会に参加。とてつもない大自然の力の大きさと被害の惨状を目の当たりにし、何とも言いようのない恐怖感に近いものを感じたことが昨日のように蘇ってきます。

被害の大部分は津波に因るものであるとの感を強くすると同時に、北茨城市内でも大津漁港に於いて

6m40cmの津波であったと聞き及んでいたため、地震に対する先人達の伝統の技の一端である、木造軸組工法の素晴らしさを実感させられた出来事でもありました。

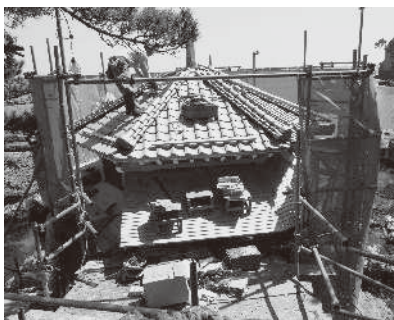
現在はコロナ禍のため中断していますが、毎年11月初めに実施している北茨城市主催の「雨情の里みなとまつり」に、本部事業でもある「苗木の無料配布」を実施してきており、多くの方々から好評を得ています。

また、2012年4月には、県北ブロック協議会主催により、東日本大震災の津波に因り流失した市内大津町五浦の六角堂再建現場見学会に参加、2014年10月の全国大会ふくしま大会、2019年9月のコロナ禍直前の士会全国大会北海道大会等が思い出に残っています。

昭和34年度には45名を数えた支部会員数も、減少の一途をたどり現在に至っていますが、伝統技術の継承の場でもある諸先輩方との交流をさらに深め、その技の数々を次の世代の方々に伝えていくことが、何よりも重要なことではないかと思っています。



2014年10月、全国大会「ふくしま大会」に参加



2012年4月、五浦六角堂再建現場見学会



2013年11月、苗木配布風景



2019年9月、全国大会「北海道大会」に参加

## 久慈支部

### 久慈支部も 創立70周年を迎えます!!

支部相談役・前支部長 市川 三和子

古い写真を探しながら、これまでの記憶を辿ってみました。どれもこれも思い出深い写真ばかりで、たくさんの時間を費やして選びました。

● 2011年の東日本大震災、「縁台をつくって被災地へ送る」というボランティア活動で、福島県新地町役場と宮城県登米市津山大徳寺に、縁台を約50脚ずつ届けることができました。

● 地域貢献活動としては、「子育てにやさしいまち・常陸太田」を広く伝えるため常陸太田市と子育て支援団体との協働で平成26年より開催されている「子育て(ここいく)メッセ」に参加。ストローハウスや段ボールハウスを子供たちと一緒に作りました。また、「常陸秋そばフェスタ」にも参加し、たくさんの方々に苗木を配布しました。

● 全国大会への参加は、毎年とても楽しみにしていたことのひとつでありました。

皆様の協力無くしてはできない事業ばかりです。楽しい仲間とワイワイいろいろなことに挑戦できる素晴らしさ!! これからも会員増強に力を入れて、末永く久慈支部に貢献したいと考えています。



東日本大震災の被災地へ贈る縁台を積み込んだトラックの前で記念撮影



縁台の仕上げは大子の近藤建具屋さん。本格的!



完成した縁台が並ぶ図。壮観。



「子育て(ここいく)メッセ」に参加



子育てメッセで花の種、野菜の種をプレゼント



全国大会「大分大会」にて

## 高萩支部

### たくさんのお会いに感謝 これからも支部のために

相談役 棚谷 哲夫

私が入会したのは、たしか昭和52年だと思います。すると、44年にわたり建築士会にお世話になっていることになります。あらためて思い返しますと、いい時代に入会したと思います。入会を勧めてくれた方は今は亡く、生前に大声で現場を仕切っていた姿を思い出しました。当時は景気も良くみんな明るかった。

高萩支部も、当時は80名ほどの会員がいて、支部活動も盛んだったと記憶しています。通常総会には大勢の会員が出席し、活発な意見が交わされ、閉会後は幹部の皆様方に連れられて夜の街へと繰り出したものです。

また、一泊二日の親睦旅行も毎年実施し、お互いの絆を深めました。支部対抗のソフトボール大会には高萩から2チームを出しましたが、青年部の皆さんが進んで参加を申し出て、補欠が出るほどでした。

40歳を過ぎた頃より、理事として支部の運営、本部（茨城県建築士会）の事業にも関わるようになり、県北ブロック協議会（那珂支部、久慈支部、日立支部、多賀支部[当時]）で初めて全国大会（青森）に参加をしました。那珂支部、北茨城支部の皆さんと一台のバスに乗り、楽しい時間を過ごした大会参加だったことが思い出されます。それを機に他の支部の方々との交流が深まり、その後は気軽に話を交わせるようになったことが、私にとって大変な財産

となっています。それ以来、全国大会への参加を毎年楽しみにしています。

60回京都大会では連合会会長表彰を頂き、ありがとうございました。広島大会にもぜひ参加をと思っていましたが、コロナ騒ぎでかなわず、残念です。再び全国大会が開催され、参加ができるようになった日には、ぜひまた参加をしたいと思っています。

令和元年度をもって支部長の役から退きました。会長はじめ各支部の皆様、ご指導ご鞭撻をありがとうございました。

私が支部長を拝命したころは、会員数が30名を割ろうとしていました。新しい会員の掘り起こしはもちろん、退会者を無くそうと、役員の方々の協力を頂き、なんとか会員数を維持することができました。前々支部長（鈴木修二氏）の時代に、会員親睦・研修を兼ねて日帰りの旅行を支部事業として始めました。建築士会をもっと知ってもらおうと、当初より会員のご家族や工務店関係者等にも会費をいただいて参加していただきました。岩崎邸、三溪園、渋沢栄一ゆかりの地など、旧所名跡を訪ねて好評を得ました。会員増強には至らず残念でしたが、参加していただいた皆様には大変好評であったのが救いです。

現在はコロナ禍により各事業を行うことができず、新役員の皆様のご苦勞は大変であると思います。私は、この1月で後期高齢者になりましたが、これからも建築士会に在籍させていただき、微力ながら支部のために役に立てればと願っています。これからもたくさんの方々との出会いを楽しみにしています。



第60回建築士会全国大会京都大会で連合会会長表彰

## 日立支部

積極的に学び続けた10年。今後は、外部との協力体制の構築も目指す。

支部長 梅原 郁夫

日立支部では、支部員の皆さんの資質向上に結びつくような講習会、見学会の開催、他団体との交流等を主な活動目的として事業を計画、実施してきました。

11年前には、未曾有の東日本大震災に遭遇し、建築士に求められる建物の安全性の確保や補強方法等について学ぶため、耐震補強(木造)の勉強会や応急危険度判定の模擬訓練を実施してきました。

老朽化と震災により建て替えが決まった日立市新庁舎の作業現場を、他団体(日立商工会議所・日立市建設業協会)および県北の各支部会員と共に見学しました。防災拠点として安全性を考慮した免震工法や、人にやさしく利用しやすいユニバーサルデザイン等の説明を聞きながら、他団体の参加者とも意見交換を行うことができ、参加したメンバーの知識の向上に役立ったことと思います。

世界規模で環境問題が叫ばれる中、脱炭素時代へ向け、建築に要求される省エネ法の勉強会を開催したり、コンクリートや鉄骨に代わり、木材を大量に使用する大断面木造建築物の設計施工への対応を可能にするため、木造建築の基本となる伝統建築工法で建築中の山形県

天童市にある『常安寺』五重塔を見学しました。

また、木材に関する知識を深めるため、株式会社茨城木材相互市場から講師を招き、木についての勉強会を企画したり、木材に関する部材を製作している「いわき材加工センター」の見学会も行い、これからの木造建築についての見識を深めました。

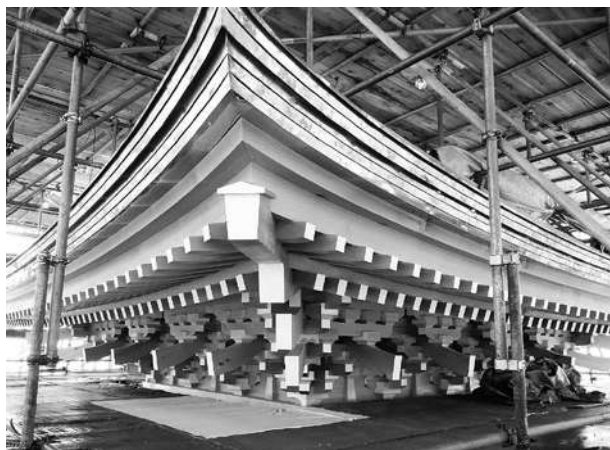
さらに、吉野石膏株式会社が開発した石膏ボードを使用した木造耐火建築物についても勉強会を行いました。

一方、行政との共同事業としては、人口減少に伴い増加する空き家に対し、茨城県でいち早く「空き家対策協議会」とタイアップし、空き家対策の一つとして、日立市役所と茨城大学工学部都市システム工学科による学生用シェアハウスへのリフォームに全面的に協力しました。さらに、日立市の建築指導課、生活安全課の要請を受け、木造住宅耐震診断や危険ブロック塀対策の相談会への協力も行いました。

今後も、支部として、会員の皆様の知りたい・観たい建築物の見学会を企画するなど、建築士の資質の向上につながるような活動を実施していきたいと考えています。

近年、地震を含め自然災害が増加傾向にある中、建築士を初めとする技術者や技能者、作業者などの減少が問題となっています。

今まで以上に、建築士会メンバーとしての自覚を持ち、会員相互のみならず各種関係業種と協力できる体制を構築することが、これからの当支部の課題であると思います。



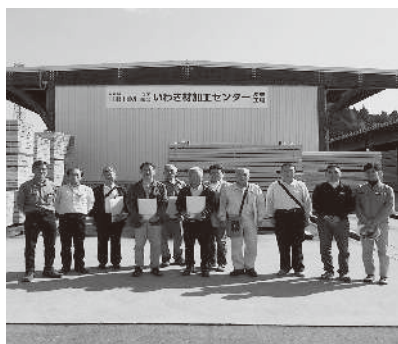
常安寺の五重塔見学会



常安寺の五重塔見学会にて記念撮影



日立市新庁舎作業現場見学会



「いわき材加工センター」見学会



茨城大学学生用シェアハウスリフォーム工事現場

# ひたちなか支部

## ひたちなか支部10年の記録

支部長 川又 晴彦

想えば10年前の60周年記念誌は東日本大震災の記事であふれていた。

あれから10年、長かったのか、短かったのか。私が支部長に就任してからも10年になる。長々と文章を書いても読んでもらえそうにないので、ひたちなか支部の支部長として見学会等の事業を中心に記録として残すこととする。

平成25年3月23日 大宮地区探訪 \*東北ブロック協議会協賛(以下同)  
やきやしんたく 鷺子神社



平成25年3月23日 東海地区探訪\*  
J-PARK



平成27年11月29日 日帰り見学会(長瀬・川越)  
長瀬



平成28年2月27日 ひたちなか地区探訪\*  
那珂湊反射炉跡



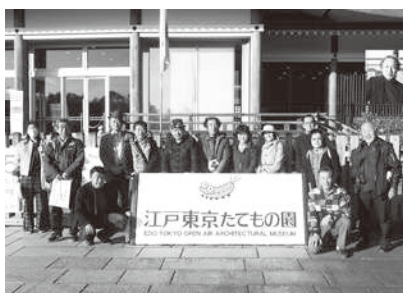
ひたちなか海浜鉄道



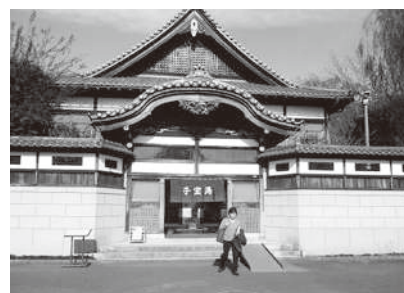
平成29年2月25日 いわき地区探訪\*  
たつご味噌造醸



平成30年12月1日 日帰り見学会(江戸東京たてもの園)  
江戸東京たてもの園



江戸東京たてもの園



### 茨城県建築士会ひたちなか支部役員

年度	顧問	相談役	支部長	副支部長	地区代表				青年委員長
					ひたちなか	東海	那珂	常陸大宮	
平成24・25年度	藤倉勝一	板垣勝男	川又晴彦	杉浦良幸 清水正行	澤畑一成	佐藤章一朗	古田土操	増子光男	片岡俊之
平成26・27年度		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	立花秀幸
平成28・29年度		板垣勝男 大内賢一	↓	↓	↓	↓	片岡満	鈴木仁	近藤康範
平成30・31年度 (令和元年度)		大内賢一	↓	↓	↓	↓	↓	↓	小坂部和人
令和2年度		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	大川佳史
令和3年度		↓	↓	杉浦良幸 澤畑一成	↓	↓	↓	↓	↓

\*表中逝去会員、板垣 勝男様、清水 正行様、藤倉 勝一様

# 県央ブロック

## 鹿島支部

人生を彩るのは、すべて縁。  
会が取り持ってくれた出会いに感謝。

支部長 内芝 良吉

鹿島支部の10年間の活動記録を2021年から順にさかのぼってみます。

### ・2021年4月「支部総会」開催

鹿島セントラルホテルの大宴会場を貸し切りで開催／コロナ対策：空間を開けてテーブルには一人ずつ／お弁当方式でお土産にホテル特製のヨーグルトを！

### ・2020年4月「支部総会」は書面決議

### ・2020年1月17日の県「賀詞交歓会」に鹿島支部より5名参加 大井川知事に「鹿島支部」をPR

・2019年4月27日「支部総会」神栖市「砂場」で開催  
「けんちく茨城」99号に「先輩会員を訪ねて」他3ヶ所に掲載／鹿島支部活動紹介・(株)鹿島テクノスの広告掲載／賀詞交歓会に支部から高橋・細田・中園・椋山が参加

### ・2018年4月21日「支部総会」神栖市セントラルホテルで開催。石田市長来賓

細田支部長より交代し内芝が支部長に(10年ぶり2回目)就任しその後継続／椋山・猿田・岡田事務局体制(会計 寺田)

### ・2018年10月26日全国大会さいたま大会へ支部行事で参加

### ・2017年4月22日「支部総会」神栖市波崎「雅」で総会。細田支部長就任

「建築作品紹介」で鹿島神宮(祈禱殿・社務所)が掲載される。

### ・2016年 細田支部長(波崎)、銚田・行方・鹿島3支部合同研修会

### ・2015年 大和田支部長(神栖) 鹿島支部研修会・懇親会

### ・2014年 同上

### ・2013年 笹本支部長(鹿嶋) 鹿島支部研修会・懇親会

### ・2012年 同上

高橋文男氏は「まちづくり委員会」で県内各地の古民家調査協力、次は鹿行地方か？

### 「内芝のつぶやき」

良し悪しは別として、人生を彩るのはすべて縁である。縁あってこそ人の世は楽しくもあり、悲しくもあり、また切ない。

建築士会に入っていなければなしえなかった、と思うような事案、体験、そして人との出会いが…。

茨城県建築士会70年。

カシマに来てから50年。

建築士会加入してから40年。

ここ10年いろいろありましたが、住友金属工業(株)が新日鐵住金にそして、日本製鉄(株)に。

2020年には鹿島製鉄所もその名を「東日本製鉄所鹿島地区」とするなど、劇的な変化をしました。

住金鹿島に入社、厚生課で寮、社宅、分譲地、住宅融資を担当。その後建設本部で土建設計担当に、製鉄所の工場、本館、独身寮、那須保養所…。

関係会社に出向しその後離籍するも製鉄所構内で建築設計事務所の管理建築士として今に。



左) 全国大会「さいたま大会」に皆で参加。右上) 鹿島のパワースポット、鹿島神宮。



右下) 新しい鹿島の風物詩、神栖海岸に並び立つ風力発電



## 県央支部

### 県央支部企画委員会の活動から 支部の10年を振り返って

支部理事・企画委員会前委員長 山田 一博

県央支部のこの10年を、私が所属する企画委員会での活動を中心に振り返ってみます。

建築士会県央支部企画委員会は、名前から連想すると積極的に何かを企画していくイメージがありますが、同支部の事業委員会の会員向けに行う活動に対して、我々の企画委員会は、主に対社会に向けての活動(宣伝PR含む)を行っており、どちらかといえばこちらから進んで事業展開する活動というより、要望や要請があって、それらにに応じていくというスタンスで取り組んで参りました。

ここ10年の主な事業としては、大きく2つあります。  
①都市景観ウォッチング～街歩きをして街を見つめ直してみようと題して一般の方を募集し、参加者と一緒に毎年1回、秋ごろに街歩きを行ってきました。毎回好評で、定員ですぐいっぱいになってしまいます。歩いた後は、企画委員会側で昼食と会場を手配しておき、昼食後に参加の皆さんの声を聞く場を設けて、反省を踏まえながら次の活動につなげています。

もう一つは、毎年定期的に5月の連休に2日間の依頼がある②「木工教室／水戸市植物公園」です。事前に作りやすいように木材を少し刻み加工し、また、のこぎり・釘を準備し、サンプル(本棚や椅子など)を提示しながら自由に「木」に触れて、製作してもらっています。子どもたちには人気のイベントのようで、開始早々に材料が無くなってしまふこともあります。無の状態から一つの作品が

出来上がって持ち帰ることができる喜びは、格別のです。子供たちの笑顔に準備の苦勞も吹き飛ぶ恒例のイベントとなっています。

最近では、もう一つ、水戸市森林公園の11月開催の「青空市」のイベントでも「木」を使った何か事業を行って欲しいという要請があります。こちらでは、2018年と2019年に実施しており、2019年には新たな試みとして「ビー玉迷路」を企画し、「木」を使いながら子どもたちの豊かな感性で自由な発想で作ってもらいました。最近では、コロナ禍のこともあって今まで通りの形式での開催が難しくなっています。同時に事業内容もマンネリ化を感じることもあり、何か新しいスタイルで活動や事業が出来ないか模索しはじめています。「建築士会」という名前の団体なので、もう少し設計や建築に係る企画の発案はないか、或いは発信(PR活動として)の手法に工夫をこらした何か良い企画はないかなど最近の会議の中で話題に上がっているところです。その手始めの一つとして、会員向けの事業ではありましたが、令和4年2月18日に同支部会員の中の2人を講師として招き、企画委員会発案で、「リモート会議(講座)の主催者になる」という企画を行いました。今までの企画委員会には無かった事業が、今後の活動の新しい方向性や新規事業のヒントにつながればと考えた企画となりました。また、当企画委員会は、参加してくれる委員の皆さんの協力がある成り立っていますので、引き続き皆さんの意見を聞きながら、今後また継続していく委員会となるようにと思っています。そのためには、先ず自分たちが楽しむことを忘れずに参加していただくと考えているところです。会員も随時募集中ですので、一緒に活動したい方、興味のある方は、ぜひお声掛け頂ければと思います。



左) 都市景観ウォッチング/集合写真(水戸・備前堀) 右上) 都市景観ウォッチングの様子(水戸・備前堀) 左下) 水戸市植物公園で開催した木工教室の様子



# 県庁支部

## 災害・危機に強い茨城県づくり

支部事務局 箕輪 正博

前回の60周年記念誌が発刊された10年前の平成23年。この年は東日本大震災が発生したということもあり、改めて記念誌に目を通してみると、誌面には震災関連の特集が多く掲載されていました。超巨大地震とそれが引き起こした大津波により未曾有の大災害となったことは言うまでもありませんが、まるで現実とは思えないような非常事態の中であって、日本中で全国民が一丸となって復興を目指していた力強い雰囲気は今でもはっきりと思い出します。特に、被災後の建築士会の応急活動に触れたことで、それをより身近に感じました。

県では、地震災害発生時の応急危険度判定活動の実施に関して、建築士会との「災害時における対策業務の応援協力に関する協定」を締結しています。この協定に基づき、28市町村において会員延べ382名の動員をいただいたことで、県内15,863棟の被災建築物の判定活動を実施することができました。そのおかげもあり、余

震が続く状況下での二次被害が最小限に抑えられたものと実感しております。その後も復興に向けた様々な活動を力強く推進していただいた建築士会の会員の皆様には、地震発生から10年が経過した現在でも、そのご尽力に対し感謝の念が絶えません。

災害への備えが喫緊の課題である近年の日本において、建築士会の存在は非常に心強い限りです。県庁支部としまして、県と建築士会のパイプ役として、その絆をより強固なものとし、災害・危機に強い茨城県づくりをさらに推進できるよう、今後も尽力してまいります。

それではここで、この10年の県庁支部での明るい話題をいくつかご紹介させていただきます。まずはソフトボール大会から。建築士会のソフトボール大会は、昭和52年に初開催されて以降、令和2年大会で第44回を数える長い伝統があります。県庁支部は、平成25年の第37回大会で初優勝を飾り、令和2年の第44回大会では2回目の優勝を果たしました。令和3年は新型コロナウイルスの影響もあり残念ながら延期となってしまいましたが、令和4年以降もぜひ参加させていただき、他支部の皆様との親睦を深められれば幸いです。

また、直近の話題として、令和3年に開催された第63回建築士会全国大会「広島大会」において、県庁支部会員である滑川浩一様が連合会会長表彰を受けられました。この場をお借りしまして、心からお祝い申し上げます。

最後となりますが、70年という節目の年にあって、現在は世界中が新型コロナウイルスの感染拡大により新たな困難を乗り越えなければならない局面を迎えており、未だ予断を許さない状況が続いています。そのような中でも、夢と希望が持てるような活動を実行できるよう、会員の皆様と共に前進していきたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



応急危険度判定活動を伝える60周年記念誌の巻頭ページ



東日本大震災時における応急危険度判定活動の様子



令和2年第44回ソフトボール大会で見事に優勝！

# JR水戸支部

## それぞれの地域の魅力を伝える 特色ある駅づくりで、地域をPR

支部長 戸邊 学

昨年の6月に平成14年以来21年ぶり3回目のデスティネーションキャンペーン(以下DC)が茨城県で開催されることが決定しました。DCはJRグループ6社と県や市町村、地元観光事業者等が一体となって開催地域の魅力を伝える一大イベントです。今回は、茨城県としては、はじめての秋の開催ということもあり、アウトドアや食をテーマに観光客を誘致してまいります。コロナ禍にあって、観光業界は2年以上も休眠状態がつづいていました。しかし、ひさしぶりに緊急事態宣言や蔓延防止措置のない状況でのDC開催となり、出控えでストレスのたまった多くの観光客を誘致することは、すそ野が広い観光業界を元気づけ、地域全体が元気を取り戻す絶好の機会になると考えています。

旅行の魅力は、もちろん様々な観光名所や自然、宿、地域の特産物や山海の幸、そして地元の方々との温かいふれあいですが、実は我々JR水戸支部も微力ながらこのイベントを盛り上げようとがんばっています。それは、観光拠点となる駅を快適にご利用いただくという取り組みです。具体的には、水郡線では奥久慈の玄関口である常陸大子駅や袋田駅の内外装をリニューアルします。また、閑散駅のホーム待合所等も電車が来るまでの時間を快適に過ごせるように美化をします。水戸線沿線にお

いても、認知度は低けれども魅力ある観光素材があり、そういったものをPRするための特色ある駅づくりをしています。例えば、結城市は、歴史的に価値のある見世蔵のような伝統的建造物を多く有した街であり、結城駅に降りた瞬間に歴史を感じられるようなデザインに装飾します。岩瀬駅は、つくば霞ヶ浦りんりんロードの終点になっていて、サイクリング目的でご利用されるお客様がご利用しやすいように、サイクリング駅として駅をリバースします。笠間駅は、笠間神稲荷神社の最寄り駅であり、笠間稲荷を想起させるデザインを検討しています。こういった取り組みは、地元の思いとちぐはぐにならないように、地元自治体にも前広に情報提供しながら、共通のコンセプトで進めています。

普段老朽化した建築設備の更新を主な業務にしているJR水戸支部会員達にとっては、自らテーマを考え、それを具現化できる貴重な機会となっています。日常業務に加えて、こういったイベント業務を行うことになるため忙しくもありますが、とても生き生きと取り組んでいる姿が印象的で、建築士の成長には、こういった創造する仕事＝栄養が欠かせないものだと改めて感じているところです。

DCは、県外からの観光客だけをターゲットにしているわけではありません。茨城県民の皆さまにもあらためて県内の魅力を知っていただく機会でもあります。この秋は、地元茨城県の知られざる魅力を発見し、それをまた多くの方々に発信していただくことで、茨城県を元気づけてまいります。そして、我々JR水戸支部の取り組んだ駅の変化にも気づいていただけると幸甚です。



左) プレゼンテーション風景 右上) デスティネーションキャンペーンのロゴ 右下) デスティネーションキャンペーンに向けた各駅美化の改修計画

## 行方支部

### 建築士会での活動を省みて

橋本 照雄

私は、昭和58年に入会し、行方支部のメンバーとして活動を始めました。以後青年部長となり、本部役員や他支部との交流を深めてきました。また、本部の組織委員会（現在の会員委員会）の委員となり、後に副委員長として主に会報誌を担当し、その後発足した会報委員会（現在の情報・広報委員会）で2期に渡り委員長を務め、「けんちく茨城」の礎を築きました。当時の委員の皆様には大変お世話になりました。

以降の活動で印象に残っているのは、新潟の震災です。地震発生後まもなく、本部より当日の夜半に出発する早

急の相談員としての出動要請がありました。現地での被害の状況は想像を絶するものでした。

それを上回るすさまじい被害を目にしたのは、東日本大震災後の潮来市の日の出町においてでした。液状化による現地の被害の惨状は、今でも強く記憶に残っています。その潮来市からは応急危険度判定の、行方市においては建物の調査等の要請を受けました。当時支部長であったことから、被災した会員との連絡調整に大変苦労しましたが、会員の理解と協力により、行政の期待に応えることができました。個人の仕事の面においても、地盤調査の重要性を教えられた経験でした。

私にとって40年近くになる建築士会での活動において得たものは、青年部長、県理事・支部長（4期）を通して構築することができた、会員各位との人脈です。仕事をする上でも大きな前進をはかることができ、感謝をしています。



平成28年7月30日支部施設見学会。F邸の前で記念撮影



平成29年10月29日支部研修視察「国立新美術館」



令和元年10月26日支部研修視察「皇居」



帆引き船 行方市

## 銚田支部

### 茨城県建築士会創立70周年にあたり

銚田支部長 桐原 栄

銚田支部事務局 久米 恒雄

銚田支部の設立は、昭和61年に鹿島支部銚田分会より新設支部になり現在35年周年であります。茨城会は70周年を経ようとしているとのことで銚田支部の倍の年を経ていること、諸先輩の活躍に改めて敬意を表します。

記念誌発刊にあたり、銚田支部の事業や出来事について過去10年間の活動記事や事業報告並びに今後の抱負を投稿することは、誠に有難く、恐悦至極に存じます。

過去10年を振り返ってみますと、東日本大震災の翌年になります銚田支部は、銚田市から住宅相談、応急危険度判定、生活支援のため、罹災証明の被災判定業務を継続していました。

銚田中心市街地は、軟弱地盤のため被災を受けた建物が多く建築で重要なのは、地盤調査、基礎下補強工事にあることであると目の当たりにして身に染みて感じました。

ちょうどそのころ支部合併の話を進めていたこともあり、大震災に遭遇し合併の話処ではない、支部合併は出来なくてよかったと強く思った次第です。結果論ですが、合併が成立していた場合、仮称『鹿行支部』の初代支部

長にあっては、鹿嶋市、神栖市、潮来市、行方市から罹災証明判定の仕事を一気に背負い大変な思いをすることになったと思います。その後支部合併の話は立ち消えになったようです。

今般会員減少の波は、茨城県はおろか全国的な問題であり、会員増強の取り組みをして居るところではありますが、会員増強の成功例があればお聞きしたと思っています。

銚田支部も会員減少に頭を痛めているところで、建築士会全体の魅力度アップ、知名度アップ等々知恵出し合い、建築士会に入って本当に良かったと思える組織になる様日々努力していかなければならないと考えているところです。

SDGsなる言葉が近年騒がれています。銚田支部も可能な限り17分野のうち1つでも多くの項目に向かって参加協力したいと思ひ支部事業のなかに組入れたく考え、次年度の議題にあげて、出来ることから、始めるように議題として審議し、建築士の存在意義を高めるため活動を実践して、地球温暖化防止、省エネ法を世に知らしめて建築業務に携わっている者として、微力ながら少しでも世のため人のためになる事が、建築士会知名度アップになるようになれば幸いです。

最後に、新型コロナの第6波がきたようです。建築士会の運営に、本部職員及び茨城県建築士会の各支部の皆様のご努力に敬意を表し、コロナに負けないでいただきたいと願っています。



研修旅行で訪れた東京スカイツリー



# 県西ブロック

## 古河さしま支部

### 茨城県建築士会70周年に寄せて

前支部長 長谷川 正幸

古河さしま支部は、ちょうど10年前の茨城県建築士会創設60周年の年に、古河支部と猿島支部が合併して発足しました。当初は90名を超える会員がいましたが、合併を機に退会する会員や、年齢を理由に退会する会員が少なくなく、現在では合併前の猿島支部の会員数よりも少なくなってしまいました。寂しい限りであり、支部長として申し訳なく思っています。

支部の事業としては、総会・懇親会、建築パトロール（境町・五霞町）、住宅耐震診断・住宅耐震補強訪問相談、古河市商工会議所主催の「よかんべまつり」への出店、新年会などを行ってきました。また、県西協議会の事業にもできるだけ会員が出席するように協力してきました。

2017年度には「地震災害時における避難所等の応急危険度判定に関する協定」を古河市と結びました。幸いにも、これまで協定に基づく活動は行うことなく済んで

います。今後も無いことを願っています。

ここ2年間は、コロナ禍のため、会員が集まって行う事業は会議も含めて何もできていませんが、昨年度は境町の通学路のブロック塀調査を境町の依頼により行いました。この事業は、会員の3分の1の協力を得て3ヶ月ほどで完了させることができました。会員の皆様のご協力に感謝しています。

来年度は役員の改選があり、新体制の下、「withコロナ」もしくは「afterコロナ」で、いろいろな事業を実施できるようになることを願うばかりです。



ブロック塀調査



境町の猿島小学校通学路沿いにあるブロック塀の調査を、境町の依頼により実施

## 桜川支部

### 士会行事への精力的な参加のほか、 地元の行事への協力も積極的に

前支部長 鈴木 孝和

建築士会へ入会して40年が経ちました。私が入会した当時所属したのは、今は無き西茨城支部でした。

平成の大合併により、私の住む旧岩瀬町が桜川市になったとき、旧岩瀬町の西茨城支部会員と共に桜川支部へ編入させていただきました。

当時は、武村実副会長が支部長も兼任されていました。その後平成29年の役員改選にて、支部長の役に就きました。

力不足の支部長ではありますが、支部会員皆さんの協力の下、4年間無事に務めさせていただきました。

桜川支部は会員数は五十数名で、決して大きな支部ではありませんが、建築士会及び県西協議会の行う行事（賀詞交換会、総会、ボーリング大会、ゴルフ大会、日帰り見学会、記念事業等）に精力的に参加する支部です。全国大会

への参加人数も多く、また、地元の桜川市が主催する行事への協力活動も積極的に行っており、4月の「SAKURA フェスティバル」や秋の「まかべ街灯り十三夜祭り」において、「CO<sub>2</sub>削減運動」として苗木の無料配布を実施し、建築士会のPRにつなげています。

県への協力事業である年2回の建築パトロールの実施のほか、茨城県教育庁文化課と茨城県建築士会の連携で開催された、「いばらき地域文化財専門技術者（ヘリテージマネージャー）」養成講座では、2012年の第1回目は6名、2013年の第2回目、2014年の第3回目にそれぞれ2名ずつと、全10名の修了者を出すことができました。

#### 【いばらき地域文化財専門技術者育成研修修了者】

【2012年・6名】大木 誠、鈴木 孝和、武村 実、市村 和也、  
渡辺 清一、二宮 正志

【2013年・2名】藤田 昭一、稲葉 正彦

【2014年・2名】武井 実、塚田 修司 \*敬称略

茨城県建築士会が、今後80年、90年、100年とさらに発展を続けることを、心よりお祈りしています。



2015年支部研修旅行先の白川郷で記念撮影



2015年全国大会「石川大会」に参加



2012年全国大会「いばらき大会」にて

## 下妻支部

### 過去10年の出来事

支部長 軽部 守彦

**1. 福島全国大会への参加** 2014.10.14 福島県郡山市で行われた全国大会へ精鋭5名で参加しました。支部としては久しぶりの市外研修となり、大きな刺激を受けてきました。会場は、東日本大震災時に避難所として使われたビッグパレット福島です。立派な施設ですが当時の避難者を思うと感慨深いものがあります。

**2. 鬼怒川洪水被害報告** 2015.9.11下妻市の西側を流れる鬼怒川が、H27台風18号による大雨によって氾濫し、市内に大きな被害が出ました。常総市では三坂町で堤防が決壊し、テレビ中継したことから注目が集まりましたが、下妻市でも多くの家屋や施設が被災しました。公共宿泊温泉施設のピアスパーク下妻は、建物の地下部分にある、電源や給湯給排水施設が水没し復旧まで半年以上かかりました。市北部の前河原地区や市南部の原地区では多くの民家や商店が水没し、全半壊になりました。しかし、全体として50戸以下の被災建物のため、激甚対策法の適用市町村となりました。その後私は、東日本大震災の経験を買われ、常総市の被災認定の手伝いに行きました。



### 建築士さんと歩くまちなみ探検

監事 江面 松男

平成26年(2014)2月22日(土) 10:00～ 集合:光明寺(下妻小学校脇)「建築士さんと歩くまちなみ探検」ということで、主管支部:下妻支部として「歴史的建造物を生かした回遊型まちづくりを考えるワークショップ」を企画しました。「街の歴史が身近に感じられるまちづくり」が求められている今だからこそ、下妻市のまちなみを歴史的資産として捉え直し、現代のまちづくりに活かそうと考えました。支部全体の事業として皆で取り組み、中心市街地で、百名を超える市民と県内から集まった建築士が交流しながら歴史的建造物などを発見・探索しました。

既存ストックとしての歴史的資産を活かした回遊型まちづくりを提案することにより、観光につながる郷土愛を育てていければと考えました。これによって具体的なイメージがより明確化されて、市民による継続的な「街の歴史が身近に感じられる」まちづくりの第一歩が踏み出せたと感じています。

その後数年に渡り開催された「市民会議」を経て、「ワイワイドーム」や「砂沼湖畔脇のレストラン」の企画が実現し、観光につながる方向性を示せたかなと捉えています。



### 空き家対策セミナーの開催

理事・青年女性部長 須藤 直美

私は建築士会下妻支部の有志とともに、2019年から毎年10月の住生活月間に合わせて、下妻市・筑西市で地域の皆さんに向けて独自の空き家対策セミナーを開催しています。

近年の新築住宅の傾向として、若い世帯は新しい土地に新居を構える形が増えていますが、私は数年前から違和感を抱くようになりました。少子・超高齢化社会に突入した昨今、家は子孫に引き継がれることなく、古い実家だけが残って、空き家が大量に発生すれば、歴史ある市町村が寂れていってしまうことに気づいたからです。

もし、実家が空き家になる可能性があるなら、空き家になる前に住んでいる人や家族が「家の終活」をすれば、空き家にはなりません。空き家にしない・させない・作らない(発生抑制)を合言葉に、家を所有するすべての人に向けて空き家の現状や問題点、空き家を放置した場合のリスクや空き家の管理・利活用(貸す売る壊す)、問題のある空き家の解体促進、空き家の解決を妨げる三大課題の「相続・片付け・仏壇」の対策方法を講演、住教育カードゲームを用いて自分の考えを整理する悩み解決ワークを行っています。

参加した皆さんは、自宅が空き家になるかもしれないと危機感を持っている方、近所に空き家がある方などさまざまです。空き家を自分事として考えるきっかけにもなるようです。

空き家は所有者だけでなく近隣住民・市町村の三者が協力して解決しなければならない地域課題です。中古住宅や中古物件として流通させ、持続可能なまちづくりのために努めることも、建築士の役目なのではないでしょうか。

このセミナーは、国土交通省、茨城県、下妻市、筑西市など開催市町村、もちろん建築士会からも後援をいただき、社会公共性を重視して行っています。セミナー終了後に実施するアンケートには、参加者のさまざまな意見や感想などが綴られ、私の反省や励みとなっています。市外や遠方から参加される方もいらして、うれしい限りです。

令和3年6月には笠間市の依頼を受け、空き家対策講演会の講師として登壇しました。今後も活動の輪を拡げつつ、続けていきたいと思っています。





## 常総支部

### 茨城県建築士会 創立70周年に思う

支部相談役 岡田 一夫

建築士として50年の歳月を経て、よわい70を迎える今、建築士会とほぼ同年齢と思うと感慨深いものがあります。ここ十年を振り返ってみると、6年前の2015年9月の関東・東北豪雨災害の被災を受けた時のことが、まざまざと蘇ってきます。今さらながら、1995年の阪神大震災から東日本大震災、そして多くの台風や水害の多く、ここ十年は風水害等が多く自分自身がその災害に見舞われるとは、つゆも思わずいたこと。被災して人の暖かさや繋がりがとても大切なことを感じました。

私事ですが、年老いた母と鬼怒川決壊地近くの自宅から自衛隊のヘリコプターにて救出され避難した時の、ヘリの音と隊員の頼もしさは、今でも忘れることがありません。

被災した自宅の清掃や後片付けに遠方の知人や見知らぬ方が手を貸していただき、黙々と作業するその姿に感動を覚え、涙しました。常総支部会員の中で住宅等の被害(床上浸水、床下浸水)を受けた方が22名(会員の4割)になり、建築士会を通じてのお見舞金に対し、あらためて御礼申し上げる幸いです。

被災後、いまだ元通りの生活には程遠い中、常総市災害対策本部よりの罹災建物二次調査活動の依頼があり、10月26日から始めました。

支部会員からは、自身が被災した者を含め12名、他支部より応援参加した方5名と、多くの方に調査活動をお願いし、参加いただきました。

被災した方々からは、調査結果に対するお礼や労いも多くいただき感謝される一方、調査結果に対する不満や被災に対する怒りを表され、辛い思いをすることもありました。そんな中でも、被災建物の再建に向けてのアドバイス等を伝えると、「安心しました」との言葉をいただき、この調査をやって本当に良かったと思いました。

短時間での調査には限界がありましたが、より多く建物の状態を正確に把握するよう頑張りました。現場で釘を踏み抜くことやバランスを崩し転倒することもありました。市職員(税務課)と建築士2名の班体制での調査でしたが、現場確認調査は建築士だけです。毎日午前8時45分に集合して、午後4時30分まで調査。帰庁してから報告書のまとめ。今さらながら皆よく頑張ったと思います。「本当にご苦労様でした」との役所の方からの労いが無かったら、続かなかった気がします。

この調査を10月26日から12月7日まで延べ30日(79名)で実施しました。中には建築士1名で調査した件数もありました。

調査が終了してからも、翌2016年3月31日までに「災害における救助活動に伴って生じた住宅等の損壊に係るその損失額の査定」のための調査に、常総市防災危機管理課からの依頼で支部として協力。被災物件調査延べ43件を行い、損失額の査定に協力しました。

以上のことは、非常時ながら支部会員の「建築士」としての献身的な協力があつたればこそと痛感しています。「お疲れ様です！」

建築士として様々な災害時にボランティア活動をしている中で、思い至る言葉は、【禍福は糾える縄の如し】。

いつも肝に銘じています。



2015年9月の巻頭・東北豪雨災害の教訓と取り組みをまとめた常総市のレポートより。左) 決壊翌日の被害の様子を常総市上空から撮影したもの 右) 建築士会常総支部が協力して行った調査の実績も記録されている

## 筑西支部

### 筑西支部10年間を振り返って

副支部長 谷島 正憲

例年の筑西支部では、通常総会、勉強会、講習会、年2回の建築パトロール、会報の発行、全国大会への参加、会員親睦のためのボーリング大会等が主な行事となっています。

今から10年前、2011年（平成23年）3月に発生した東日本大震災は筑西市でも震度6強の揺れとなり、多くの建物に甚大な被害をもたらしました。私たち筑西支部では当時の支部長大和田信雄氏を中心に筑西市と連携をして様々な活動を行いました。

災害に係る住家の被害認定調査（筑西市罹災証明二次調査）では、市職員と共に被災した住宅を訪問し調査報告、撮影、図面の作成を行いました。隣地の石倉から石材が落下し屋根を突き破っている住宅を始め、瓦の落下、壁の剥落や基礎のクラックなど広範囲に被災住宅があり、改めて被害の大きさに驚きました。

筑西市立小・中学校震災災害調査では複数班を編成

し被災状況を調査し、それぞれ報告書、写真、図面を作成しました。こちらも壁、柱のクラックなどが見受けられ、耐震補強の重要性を再認識しました。

住宅無料相談会を開催し、希望者に事前調査と簡易耐震診断を行い、平成23年度では100件を超える相談を行いました。耐震補強や補修について市民の関心の高さを実感するとともに、被災住宅に対する不安を少しでも解消するお手伝いのできたのではないかと思います。その後希望者がなくなるまでの数年間にわたり相談業務活動を継続しました。

市と連携したこれらの活動では、建築士会の存在意義を示すことができたのではないかと思います。

最近の活動としては中山和朗支部長の下、鈴木邦夫企画研修委員長を中心に「未来へ伝えよう！あなたの街。あなたの思い。」を開催。当日は苗木の配布もしました。この企画では未来に残しておきたい思いを写真とともにインターネット上に掲載し、ネット上のマップやHPより、誰でもその思いに触れることができるというものです。今後もこの企画を継続し、多くの写真と思いを掲載していきたいと考えております。



東日本大震災の被害認定調査の記録。隣地の石倉の石材が屋根に落下した家屋



筑西市立小・中学校震災災害調査の記録。屋外プール施設の壁が剥落

未来へ伝えよう！  
あなたの街。  
あなたの思い。

写真と思いを募集します。  
先着50名様ブルーベリーの苗木プレゼント

写真に【思い】や【物語】の文章を添えてお持ち下さい。

日時：2021年10月9日（土）10:00～15:00  
場所：アルテリオ1階集会室 詳細は！  
主催：茨城県建築士会 筑西支部

※状況により、中止、延期、内容変更の場合があります。



支部主催の企画「未来へ伝えよう！あなたの街。あなたの思い」の工法ポスター。未来に伝えたい写真と文章を募集し、ホームページ上で公開。参加者には、ブルーベリーの苗木を配付した。

## 坂東支部

### 建築士会ならではの企画で 地域のイベントに積極的に参加

支部長 増田 和夫

70年もの年月を会として歩んでこれたのは、会員の皆様の御協力とともに事務局の方々の多大なるお骨折りがあったからこそと思います。

我が坂東支部(旧岩井支部)も、創立60余年を迎えており、その間に数多くの事業を営んできました。

毎年5月の第1日曜日には子どもフェスティバルの開催を恒例としており、青年部が中心となって来場した子供たちに板材をつかった工作の手ほどきをし、完成した作品を来場記念に進呈したり、事務局より提供いただいた果実の苗木と草花の種をプレゼントしたりといった活動を行ってきました(残念ながらコロナ禍でのこの2年間は中止となってしまいました)。

11月の第2日曜日には「将門ハーフマラソン」の運営に協力。出場者と関係者の安全を目的に交通整理と駐車場内の誘導を行いました。

開催当日は早朝4時集合など大変なことも多いのですが、支部会員が全員で協力して行ってきました。

その他の各種イベントにおいても、建築士会ならではの提案を持って参加し、イベント参加者の方に喜んでいただくことができました。

勉強会も開催し、市庁舎工事の際には、現場管理者の承諾協力を得て現場見学を実施しました。在来工事の取り扱いが多い会員にとって、大規模な建築現場を見る機会をめぐらさないため、貴重な勉強会となりました。

全国大会への参加としては、第57回 建築士会全国大会「ふくしま大会」へ、坂東支部として参加しました。

コロナ禍が長引き、各種事業が中止されたりと会員にとっても逆境が続きますが、一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と、皆様のご健康、会のさらなる発展をお祈り申し上げます。



毎年5月の恒例行事、子どもフェスティバルの風景。青年部が中心となって、子どもたちに工作をてほどこし、苗木や草花の種のプレゼントも実施。



## 結城支部

### コロナ禍であらためて考える これからの建築士像

副支部長 大島 則之

過去70年の中でも、この2年間は、例を見ない年月だったかと思います。これからも続くと考えるとゾッとします。緊急事態宣言がこれまでに4度発令され、目に見えない、未知のvirusと闘い続けて参りました。最初の緊急事態宣言発令時には、我々日本人が世界から注目を浴びるほどの結束力を発揮していました。

私の自宅は国道50号バイパスにほど近い場所にあります。宣言前の週末深夜は、必ずと言ってよいほど走行する車の音や自動二輪車を違法運転する団体の集会音などが騒々しく聞こえていました。ところが、1回目、2回目の緊急事態宣言中は、そよ風が揺らす草葉の音が聞

こえるほど静まり返り、これぞ日出る国日本（ニッポン）の力だと感動を覚えました。

在宅ワーク、リモートなどで自宅での働く環境を重視する時代が地方にも来ていると感じ、今までの「専用住宅」から「多様性住宅」へ進化していくことを実感しています。建物そのものの在り方を考えなければならないと思います。病院、福祉施設など公共施設については、医師や看護師、患者、施設運営者など、施設を利用するすべての人たちのサポートができるような建築物を、創り上げることを目標として日々精進していきたいと思っています。

まだまだ続くコロナ禍の中で私たち建築士に課せられた使命とは何か？ とコロナウイルスに問われているような気がします。会員の皆様と協力し、温故知新の精神をもって、コロナに負けない建物造りを目指していきたいと思っています。微力ではございますが、70年の歴史あるこの茨城県建築士会を盛り立てていきたいと存じます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



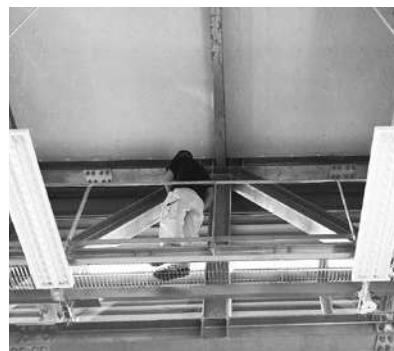
建築士会全国大会「北海道大会」に参加



ワークショップ



街並み見学会



特建定期調査

# 県南ブロック

## 石岡支部

### 支部活動10年間を振り返って

支部長 島田 哲

石岡支部には、総務・事業・会員・歴史遺産調査・建築パトロール・青年部の六つの委員会があります。10年間の活動の中で三つほど事業を紹介させていただきます。

一つ目は、総務委員会の事業です。今年で17回目になる、石岡市内小学校5、6年生を対象とした絵画展です。「住んでみたいまち」「やってみたいお店」と題した絵に夏休みの課題として取り組んでもらい、優秀な作品を表彰し、展示場で公開しています。石岡市教育委員会にも後援をいただいています。毎年、特徴ある素敵な作品が、200点ぐらい応募が集まります。地域の特徴を考え、街や住まいに興味をもってもらい、地域を愛する子供たちが増えることを願っています。

二つ目は、歴史遺産調査委員会です。石岡市には、奈良時代に常陸国の国府が置かれ、国分寺、国分尼寺、国衙の遺跡があります。まちの歴史を大切に、保存活用を考え、まちづくりのために、後世に伝えて行くにはどうしたら良いかを調査研究しています。調査の一環として、歴史や文化を大切にしている街や施設を見学しています。平成23年度は、千葉県市原市の下野国国分尼寺・佐原市武家屋敷。平成24年度は、千葉県大喜多町と長南町の笠森観音。平成25年度は、猪苗代の天鏡閣といわき白水阿弥陀堂(国宝)。平成26年度は、栃木市(重伝建地区)と下野国衙、足利学校と鏝阿寺(国宝)。平成27年度は、富岡製糸場と桐生市(重伝建地区)。平成28年度は、長野県東御市海野宿(重伝建地区)。平成29年度は、桂離宮、修学院離宮、京都御所。平成30年度は、埼玉県行田市、熊谷市聖天堂(国宝)。令和元年度は、

南会津前沢集落(重伝建地区)。令和2、3年度はコロナ禍のため、残念ながら中止になりました。見学に行く時には、自分達だけで行動せず、必ずその町のまち案内人や歴史ボランティアの方々に連絡を取り、いろいろな話をしながら、町を案内してもらっています。歴史や文化を大切にしている街や施設を見学に行くと、どこも郷土愛に溢れています。住んでいる所の歴史や文化を大切にすることは、地域に対して誇りを持ち、愛着心を高めます。まちづくりはハード、ソフト面などいろいろな手段や方法がありますが、一番大切に重要なことは郷土愛です。郷土愛は、短期間では生まれにくい。長い時間をかけて、少しずつ創られていくものだと思います。小さい頃からの教育や地域のいろいろな情報を発信することなど、先進地から学ぶべき処はたくさんあります。支部活動やまちづくりに、見学会は大変参考になっていると思います。

平成29年度には、全国看板建築サミットが石岡市で開催されました。どこの市町村も看板建築を維持していく難しさを感じていたことが、印象に残っています。

三つ目は、事業委員会です。先輩方の努力により、毎年、石岡市と小美玉市の市長さんとの懇談会を開いています。市行政との係わりは、以前は信頼関係が薄く、良くありませんでした。懇談会を進めていくうちに、だんだんと信頼関係が厚くなり、特殊建築物定期調査報告や空家対策、木造耐震など市関係の委託事業などにも係わるようになってきています。また、市の各計画委員会などにも声をかけていただいています。これからも市行政との信頼関係を深めていきたいと思っています。

この10年で会員の減少、高齢化が進み、支部活動が縮小傾向にあります。なかなか、まとまった活動が難しくなってきていますが、同じ方向を向くためにも、ITなどを活用し、情報の共有をより図ることが、重要になってくると思います。



石岡市内小学校5・6年生を対象とした絵画展の表彰式



歴史遺産調査委員会で訪れた長野県東御市海野宿

## 稲敷支部

### 10年をふりかえって、 今後に期待すること

支部長 新田 孝司

稲敷支部では、10年をふりかえって皆様にご紹介できる目立った活動がなかったため、10年経過しても変わらない我が支部の活動を紹介させていただきます。

稲敷支部は、現在26名の会員で構成されています。会員のほとんどは工務店を経営、設計事務所2名、大手鉄鋼メーカー勤務1名で当会の活動に協力をいただいています。支部事務局は江戸崎地区高等職業訓練校内にあり、国保組合様と連携で事務局を置いています。事務局の業務は、長年菊地さんが担当されてきましたが、親御さんの介護の理由で、平成29年から戸館さんに引き継がれ、現在26名の会員のサポートをお願いしています。

事務局のある江戸崎地区高等職業訓練校は、前々支

部長である岡本秀幸校長率いる支部のみなさんが講師となり、将来の職業人として木造技術を継承するために若手育成に尽力を注いでいます。3年制の通学制の過程では、訓練と現場でのOJTで、建築大工として必要な技能・知識を習得できる訓練科（木造建築科）を開講しています。訓練の修了者には技能士補の称号が与えられ、2級技能士試験の学科試験免除等の特典が得られるなど、学歴を問わず、開かれた学校に協力・参加しています。

この訓練校は、単に学校であるだけでなく、地域の会員以外の建築に携わる人たちのコミュニティであるとともに、重要な情報交換の場となっています。楽しくゆっくりと流れる時間（数年前にタイムスリップした稲敷時間？）にまかせて、自分の技（ほとんど自慢話）で若い人達にOJTを実施しています。

毎日が平穏に流れるといわれる稲敷支部ですが、今後もゆっくりとした変わらない時の流れの中で、贅沢な時間を醸し出す自由な雰囲気を持て続ける場を、年代を越えて提供したいと思っています。



稲敷支部事務局が入る江戸崎地区高等職業訓練校外観



国保組合様と連携して事務局を置いている



支部のメンバーが講師となり、建築大工として必要な技能・知識を習得できる訓練科（木造建築科）を開講して、若手育成に尽力を注ぐ

## 北相馬支部

### 会員親睦のサンセットクルーズと「とりで産業まつり」での模擬上棟式

副支部長 土井 金哉

この10年間の支部活動として主なものを2つ報告します。

ひとつ目は、活動会員同士の親睦を深める目的で、平成28年に家族同伴で行った東京湾一周のサンセットクルーズです。日ごろは会員以外との接触が少ない中、家族も含めた同業者との会話はとても有意義でした。また、仕事についてもあらためて共有できるものがありました。

ふたつ目は、「とりで産業まつり」への参加です。第37回から参加し、このときは、建築士会の存在を示すことを考え、苗木の配付、模型・パネル展示、建築無料相談会、アンケートなどを実施しました。

2回目には、もっと建築士会の存在をアピールする方法はないかと検討の結果、今ではあまり行われなくなっ

た新築を祝う「上棟式」を行うことを考えました。

新築した家に住む人たちの健康と安全を祈願すると同時に、一番大切なこと——新築した家が安全安心に住める家となることを、四方（東西南北）の神にお祈りする儀式。建てた家には幸せの鶴が舞い降り、亀が千年万年生きるように堅牢で永く住み続けられるようにとの願いを込め、行われてきた上棟式を、支部会員一同の賛同をもって披露することに決めました。

2階建ての建物を造り、五色の旗・幣束を掲げ、餅600個とお菓子200個を盛大にまいたところ、多くの人に関心を持っていただき、とても喜んでいただくことができました。これからも建築士会の存在・活動を市民の皆様を知っていただくために、努力していきたいと思っています。

これからの抱負としては、月に一度公共施設を借り、地域の方々に向けた「建築なんでも相談会（広報に掲載）」を考えています。

複雑化する建築を取り巻く環境に、柔軟に対応できる北相馬支部にしていきたいと考えています。



「とりで産業まつり」では、模擬上棟式を実施。餅600個とお菓子200個をまいて盛大に実施。



家族同伴で行った東京湾一周のクルーズ



「とりで産業まつり」で会の存在をアピール



大盛況だった模擬上棟式の様子

## 筑波支部

### 筑波支部10年を振り返って、 近年の状況と活動報告

支部長 中泉 文夫

言わずもがな、10年前の未曾有の東日本大震災を経験し、我々建築士は地震国日本への貢献をどのようにしていくかが、改めて問われたように思いました。

そのような中で、筑波支部でも支部会員の協力により、さまざまな事業を展開しました。つくば市やつくばみらい市との協力事業でもある木造耐震啓発活動、空き家対策相談会、建築パトロールの実施を始め、その他勉強会や会員交流イベントなど行ってきました。

また、筑波支部の会組織運営につきましても、これまでは旧地区割に則した役員構成となっていました。組織の若返り化を模索し、5年ほど前に委員会制への移行を実施しました。副支部長を中心にして、各委員会での事業活動が徐々に浸透してきました。一時は120名近くまで減った会員も、いろいろな活動や会員増強活動により、令和2年度には154名まで増やすことができました。近年の県総会では、筑波支部が2年連続10名以上(10名・16名)の会員増強を実現し、表彰を受けることもできました。筑波支部会員各位の活動成果の表われだと思いません。誠にありがとうございます。

近年の筑波支部のいろいろな活動から抜粋してご紹介したいと思います。

「耐震防災委員会」では、例年産業祭、商工祭等に参加し、耐震の啓発活動を行ってきましたが、藤田委員長を中心にして、つくば市民向けに耐震チラシを作成し、無料耐震診断を行いました。また、つくば市役所ロビーにて、耐震啓蒙の展示や相談会なども行いました。

「まちづくり再生委員会」では、松田委員長を中心にして、つくば市の空き家対策相談会の相談員となって協力してきました。また令和2年度からは、つくばみらい市においても開催されるなど、行政への協力を拡大しています。

また、新たに『小田の国 2021 未来会議』エリアマネ

ジメントのワークショップなども進めています。

つくば市の「つくばR8地域活性化プランコンペティション」への挑戦は2年連続で行い、「雷神ロード・つくば市最西端に入口つくる」と「CYCLEing Sakuragawa 一桜川の恵でつながる人とまち」と題して、それぞれ一次審査を通過しました。

沖山委員長率いる「会員交流委員会」では、色川副支部長をガイド役に笠間の地で、2年続けて雑学研修会を行いました。美術館と北大路魯山人の春風萬里荘、笠間の家などを見学しました。

小島委員長率いる「研修委員会」では、コロナ禍で開催が厳しい中、「WOOD SHOCKを知る」研修会を開催しました。製材工場や整然と美しく整備された森で枝打ちを行うなど、貴重な体験でした。

「建築パトロール委員会」は、つくば地区を増田委員長、つくばみらい地区を小菅委員長を中心に行っています。コロナウイルス感染拡大防止に考慮しながら進めています。

「青年委員会」は、茂垣委員長肝入りの「宝篋山トレッキングツアー」を行いました。大自然の中で、あつあつの紅葉鍋をいただきました。参加者全員が満面の笑みでツアーを楽しみました。

「SDGs委員会」では、矢口委員長、沖山素子副委員長を中心につくばR8地域活性化の流れから、栄地区の『市』マルシェを開催しました。筑波支部が主催する一般の方を対象にした初めての一大イベントとなり、予想以上の反響で大成功でした。周辺地区と人々の暮らしや住まい方への気づきを促す、筑波移住コンシェルジュとして、建築士としての新たな役割、あり方の可能性を実感したイベントとなりました。広島全国大会のWEB配信による会議では、顧問の松田副支部長が、筑波支部のSDGs活動について全国に紹介しました。

さらに、長年の夢であった筑波支部ホームページが開設されました。ホームページについてはまだまだ課題は残っていますが、フェイスブックとの併用で、内外への情報発信力が著しく増大しました。コロナ禍の中、これからの筑波支部活動を支える強力なツールとして、今後も多に活用していきたいと考えています。



市マルシェ



研修委員会：整備された森で枝打ちを体験



耐震啓蒙の展示・相談会



# 土浦支部

## 近年の変化と活動

支部長 塚本 美明

約18年前の平成17年当時は、約300名の会員を維持していましたが、現在200名強まで減少している状況です。「会員減少の歯止め・現会員数での支部活動の見直し」などを考慮しながら、組織再編や活動内容の見直しを継続しています。

各委員会・部会の活動を明確にし、活動をしやすいするため、令和4年度から「総務企画委員会」「会員委員会」「まちづくり委員会」「災害対策委員会」「青年部会」「女性部会」の4委員会2部会で運営しています。各委員会の活動内容を抜粋し紹介いたします。

### 総務企画委員会

支部運営の全般に関することを主に、財務に関する事項・規約諸規定に関する事項・新規事業等に関する検討・総会、理事会、執行部会、執行部委員長会の開催等。

### 会員委員会

会員増強、支部会員・賛助会員の交流親睦に関することを主に、研修会・見学会の開催、会員と賛助会との交流、賀詞交換会・納涼会の開催、市町村行事への参加協力等。

### まちづくり委員会

業務等を通じ行政機関及び地域への貢献に関することを主に、景観まちづくり団体の活動・空き家対策の活動・土浦市中心市街地活性化の活動・木造耐震診断の実施・家屋調査等の受託業務・建築パトロールの実施等。

### 災害対策委員会

土浦市との災害協定に基づく活動に関することを主に、土浦市災害協定による応急危険度判定の派遣・住宅相談員の派遣等。又、災害時の対応のために、支部内連絡網の整備をしています。

この十数年間で会員の減少や高齢化が進み、支部活動についても縮小傾向にあります。今後、活動の楽しさを忘れず会員が集える場があり、地域に情報を発信し、地域に密着する土浦支部でありたいと思います。

又、地元高校へ訪問し生徒達と交流を持つことなどで、若手建築士の育成や会員増強への対応になると思い、交流会などを実施予定しています。

現在の建築業界は、複雑・多様化している状況ですが、柔軟に対応できる土浦支部でありたいと思います。

建築士会の70周年を機に、これからの建築士会がどうあるべきかを考えながら、会員皆様と共に活動していきたいと思います。



お揃いのTシャツを着用し、建築士会のPRのために土浦産業祭に参加

左) りんりんポートオープン時に行った丸太切り体験の様子  
右) きららちゃんバスのバス停。一般の方からデザインを募集し、地元中学生と建築士会メンバーで製作



## 竜ヶ崎支部

### 10年を振り返り想う 耐震補強と人材育成

支部長 秋山 穰

10年前といえば、2011年の東日本大震災が大きな節目となりました。建築物の耐震性が重視され、木造住宅耐震診断業務は、平成23年のピーク時には、前年度の2～5倍強ほどの依頼がありました。その後、翌24年には半数となり、ここ数年は2、3件の依頼にとどまっています。

耐震診断の結果としては「評点=0.2～0.6」と“倒壊する可能性が高い”判定が多いのが現状です。しかし「耐震補強」に進む依頼者は10件に1件程です。理由を伺うと、「子供たちは就職先で家を購入して田舎には戻らない」や「もう老夫婦二人だけの年金暮らしだから」という返答です。高齢の所有者にとっては、耐震補強を行いたいが、望めないという意見が多いのです。

茨城県では累計約5,800件の住宅耐震診断が行われていますが、いまだ「精密診断」や「耐震補強工事」を行ってない住宅があることを思うと、建築士として心が痛いです。

今後は、耐震診断より一歩先の補強工事を行える行政の取組み作りに期待をします。

#### 【年中行事について】

竜ヶ崎支部として10年を振り返ると下記のような行事を行ってきました。

- 1月：新年会
- 1月：第1回建築パトロール（龍ヶ崎・牛久・河内町）
- 3月：第3回支部理事会・委員会
- 4月：第1回支部理事会・委員会
- 5月：支部通常総会
- 6月：会員及び家族の親睦会（潮干狩り・ゴルフ等）

- 7月：第2回建築パトロール（龍ヶ崎・牛久・河内町）
- 8月：龍ヶ崎防災フェスタ（苗木の配布）
- 10月：かわちフェスタ（苗木の配布）
- 11月：元気な森林づくり（木工体験）100組
- 12月：第2回支部理事会・委員会
- 10月～12月：木造住宅耐震診断（牛久市・河内町）

ところが東京オリンピックへ向けて日本が大きく飛躍しようとしていた2020年。誰もが経験したことがない未曾有の新型コロナウイルスとの長期の戦いが始まりまし。4年間続いた大好評の茨城県産材を使用した【元気な森林づくり（木工体験）】などのイベント実施について、ギリギリまで決断を下せない日々が続き、苦渋の判断を迫られました。また支部通常総会に関しても3密を避けての「書面による総会」を行わなければならない状態でした。今後も講習会・勉強会は会場参加と合わせてオンライン化が日常化されていくのでしょうか。

#### 【今後の抱負】

少子高齢化の波は我が建築士会竜ヶ崎支部にも押し寄せてきています。

5年後10年後の将来を見据えて若手（人材）の育成が今後の課題です。建築士資格学校の講師をしていますので、建築士試験の合格者の方々には建築士会員となるよう啓蒙を行っていますが、昨今は2級建築士の受験人口も年々減ってきている状況です。建築士に合格した後も、個人では得られない法改正に関する情報や見識などを得られ、会の仲間や先輩を通して業務と品位の向上を図れる会としての魅力を、よりアピールしていきたいと思っています。

そして、子どもたちに将来は建築士を目指したいと思ってもらえるように、建築に関わる「体験・経験」を得られるようなイベントを、今後も積極的に行っていきたいと思っています。



大好評の茨城県産材を使用した【元気な森林づくり（木工体験）】  
龍ヶ崎商業まつり「いがっぺ市」



休日を返上しての材料の下地づくり作業



作成する作品の検討会議

# 茨城県建築士会70年のおもな歩み

- 昭和 26年 8月 茨城県建築士会創立、初代会長に田中達次郎就任
- 昭和 34年 5月 第2代会長に山本勝也就任
- 昭和 35年 2月 社団法人茨城県建築士会法人認可
- 昭和 36年 6月 第3代会長に赤井源一就任
- 昭和 38年 10月 「建築パトロール事業」を本会が自主的に始める。
- 昭和 40年 10月 「建築パトロール事業」の主旨と実績が評価され、同年度、建設大臣褒章を受章  
建築士会連合会が事業として採択。同年、茨城県より本会に運動助成費が交付される(名目を変更しながら現在まで継続)。
- 昭和 41年 5月 第4代会長に中込昇司就任
- 昭和 50年 9月 青年部設立総会開催
- 昭和 51年 5月 第5代会長に西山貞俊就任
- 昭和 59年 4月 一級建築士試験委託業務の受託開始(普及センターより)
- 昭和 61年 4月 二級・木造建築士試験委託業務、建築士のための指定講習会事業を開始
- 平成 元年 5月 第6代会長に三澤俊美就任
- 平成 3年 6月 女性部設立総会開催
- 平成 6年 5月 第7代会長に尾関雪路就任
- 平成 7年 3月 阪神淡路大震災の復興義援金として150万円を日本赤十字社へ寄託  
7月 「応急危険度判定士委託事業」の受託開始(新規・更新講習会開催、認定証カード・  
賞状・認定登録名簿の作成、変更申請、模擬訓練、供試体の作成、電話訓練の実施など)
- 平成 13年 11月 創立50周年記念式典開催(京成ホテル)、CPD登録の募集を開始



初代会長 田中達次郎



第2代会長 山本勝也



第3代会長 赤井源一



第4代会長 中込昇司

- 平成 14年 5月 第8代会長に柴和伸就任
- 平成 17年 6月 「木造住宅耐震診断士養成講習会委託事業」を受託開始(茨城県より)  
10月 「木造住宅耐震診断士派遣事業」を受託開始(各市町村より)
- 平成 20年 5月 「苗木配布事業」開始。定期講習会を受託開始(普及センターより)
- 平成 20年 12月 一級建築士の免許申請業務を受託開始(国交省の指定登録機関となる)
- 平成 21年 7月 二級・木造建築士の免許申請業務を開始(茨城県の指定登録機関となる)
- 平成 23年 5月 創立60周年記念式典開催(水戸プラザホテル)
- 平成 24年 3月 女性部会創立20周年式典 and 記念講演会
- 平成 24年 6月 国交省補助事業「歴史的風致維持向上推進等調査」(全5回)
- 平成 24年 7月 木造建築構造技術者育成講座(全5回・2年間)
- 平成 24年 7月 ヘリテージマネージャー養成講座 県:教育庁文化課と共催(3年間)
- 平成 24年 10月 第55回建築士会全国大会「いばらき大会」(全国から3,000名参加)
- 平成 25年 住宅省エネ設計者講習会(6年間)
- 平成 26年 工事管理者セミナー(5年間)、いばらき木造塾(5年間)
- 平成 27年 知事指定講習「建築士会技術講習会」
- 平成 27年 近代和風建築調査を受託(文化庁より)
- 平成 27年 インспекター養成講習(2年間)、監理技術者講習を受託開始(士会連合会より)
- 平成 29年 6月 既存住宅状況調査技術者養成講習を受託開始(士会連合会より)
- 令和 2年 空き家協定11市町村と締結、空き家相談36市町村へ派遣
- 令和 3年 6月 関東甲信越建築士会ブロック会(関プロ) 青年協議会茨城大会の開催
- 令和 4年 3月 ウクライナ人道支援のための救援金50万円をウクライナ大使館へ寄付



第5代会長 西山貞俊



第6代会長 三澤俊美



第7代会長 尾関雪路



第8代会長 柴和伸

# 沿革 [昭和26年(1951年)度～平成23年(2011年)度]

## 昭和26年(1951年)度(会員数:600名)

- 昭和26年 6月 士会創立発起人会の発足(準備委員:10名)  
8月 茨城県建築士会設立総会(水戸市教育会館)  
初代会長に田中達次郎就任  
12月 「茨城建築士」第1号発行



- 12月 支部設立(久慈支部・北相馬支部・西茨城支部・土浦支部・多賀支部)

## 昭和27年(1952年)度

- 昭和27年 4月 昭和27年度通常総会

## 昭和28年(1953年)度

- 昭和28年 4月 昭和28年度通常総会

## 昭和29年(1954年)度

- 昭和29年 4月 昭和29年度通常総会

## 昭和30年(1955年)度

- 昭和30年 6月 昭和30年度通常総会

## 昭和31年(1956年)度

- 昭和31年 5月 昭和31年度通常総会  
10月 第1回建築士会全国大会「愛知大会」

## 昭和32年(1957年)度

- 昭和32年 5月 昭和32年度通常総会  
8月 第2回建築士会全国大会「北海道大会」

## 昭和33年(1958年)度(会員数:1,020名)

- 昭和33年 6月 昭和33年度通常総会

- 10月 建築士会支部総数19支部に  
11月 第3回建築士会全国大会「香川大会」

## 昭和34年(1959年)度(会員数:1,026名)

- 昭和34年 5月 昭和34年度通常総会(三の丸小学校)  
第2代会長に山本勝也就任  
9月 「建築士会報」創刊号発行  
11月 第4回建築士会全国大会「東京大会」  
昭和35年 1月 社団法人として県より設立許可  
2月 建築士会法人設立登記完了

## 昭和35年(1960年)度(会員数:1,079名)

- 昭和35年 4月 建築士会関東甲信越ブロック会議  
6月 昭和35年度通常総会(三の丸小学校)  
10月 茨城県建築士会創立10周年記念大会(茨城会館)  
11月 第5回建築士会全国大会「大阪大会」

## 昭和36年(1961年)度(会員数:1,206名)

- 昭和36年 6月 昭和36年度通常総会(自治会館)  
第3代会長に赤井源一就任  
9月 木構造の耐風構造講習会  
10月 第6回建築士会全国大会「宮城大会」

## 昭和37年(1962年)度(会員数:1,248名)

- 昭和37年 6月 昭和37年度通常総会(自治会館)  
9月 建築防災、消火設備講習会(建設会館)  
11月 第7回建築士会全国大会「東京大会」  
(10周年記念大会)  
昭和38年 1月 鉄筋コンクリート構造計算基準講習会

## 昭和38年(1963年)度(会員数:1,238名)

- 昭和38年 6月 昭和38年度通常総会(自治会館)  
10月 「違反建築をなくそう運動」を展開  
11月 第8回建築士会全国大会「大分大会」  
昭和39年 1月 建築士会支部総数25支部に

---

## 昭和39年(1964年)度(会員数:1,353名)

昭和39年 6月 昭和39年度通常総会(自治会館)  
11月 第1回日本建築まつり見学会(東京国立屋  
内総合競技場)  
昭和40年 2月 建築士会懸賞設計及び論文募集発表

---

## 昭和40年(1965年)度(会員数:1,364名)

昭和40年 5月 昭和40年度通常総会(自治会館)  
9月 第9回建築士会全国大会「石川大会」  
10月 「違反建築をなくそう運動」で建設大臣賞  
を受賞

---

## 昭和41年(1966年)度(会員数:1,364名)

昭和41年 5月 昭和41年度通常総会(県民文化センター)  
第4代会長に中込昇司就任  
10月 第10回建築士会全国大会「広島大会」

---

## 昭和42年(1967年)度(会員数:1,480名)

昭和42年 5月 昭和42年度通常総会(県民文化センター)  
10月 第11回全国大会「東京大会」(15周年記念  
大会)

---

## 昭和43年(1968年)度(会員数:1,598名)

昭和43年 4月 昭和43年度通常総会(県民文化センター)  
9月 第12回建築士会全国大会「山形大会」

---

## 昭和44年(1969年)度(会員数:1,753名)

昭和44年 5月 万国博覧会実行委員会(自治会館)  
5月 昭和44年度通常総会(県民文化センター)  
10月 第13回建築士会全国大会「愛知大会」

---

## 昭和45年(1970年)度(会員数:1,724名)

昭和45年 5月 万国博覧会見学会(大阪千里ヶ丘)  
6月 昭和45年度通常総会(県民文化センター)  
昭和46年 2月 建築基準法施行令改正説明会

---

---

## 昭和46年(1971年)度(会員数:1,864名)

昭和46年 5月 昭和46年度通常総会(県民文化センター)  
11月 第14回建築士会全国大会「鹿児島大会」  
建築士会支部数26支部に

---

## 昭和47年(1972年)度(会員数:1,976名)

昭和47年 6月 昭和47年度通常総会(県民文化センター)  
10月 親睦ゴルフ大会(水戸ゴルフ場)  
茨城県建築士会創立20周年記念大会(県  
民文化センター)  
11月 第15回建築士会全国大会「東京大会」(20  
周年記念大会)

---

## 昭和48年(1973年)度(会員数:2,070名)

昭和48年 5月 昭和48年度通常総会(県民文化センター)  
8月 事務局を茨城県建設センター(水戸市大町)  
に移転  
10月 創立20周年記念誌発行  
第16回建築士会全国大会「岡山大会」

---

## 昭和49年(1974年)度(会員数:2,265名)

昭和49年 4月 優良建築物の選考  
5月 昭和49年度通常総会(県民文化センター)  
9月 第17回建築士会全国大会「福島大会」

---

## 昭和50年(1975年)度(会員数:2,380名)

昭和50年 4月 青年部会準備会(建設センター)  
5月 昭和50年度通常総会(県民文化センター)  
9月 青年部会設立総会開催  
11月 第18回建築士会全国大会「沖縄大会」

---

## 昭和51年(1976年)度(会員数:2,435名)

昭和51年 5月 昭和51年度通常総会(県民文化センター)  
第5代会長に西山貞俊就任  
11月 第19回建築士会全国大会「静岡大会」テー  
マ:生きる 参加する 道を求めて

---

---

## 昭和52年(1977年)度(会員数:2,779名)

昭和52年 5月 昭和52年度通常総会(県民文化センター)  
6月 青年部会総会(建設センター)  
8月 創立25周年記念事業「住宅展」開催  
11月 第20回建築士会全国大会「東京大会」  
(25周年記念大会)

---

## 昭和53年(1978年)度(会員数:2,887名)

6月 昭和53年度通常総会(県民文化センター)  
11月 第21回建築士会全国大会「京都大会」

---

## 昭和54年(1979年)度(会員数:2,915名)

昭和54年 5月 昭和54年度通常総会(県民文化センター)  
11月 第22回建築士会全国大会「高知大会」  
テーマ:考えよう! 緑と太陽のある街づくり

---

## 昭和55年(1980年)度(会員数:2,908名)

昭和55年 4月 昭和55年度通常総会(県民文化センター)  
6月 青年部会関ブロ総会(ときわ荘)  
9月 第23回建築士会全国大会「札幌大会」  
テーマ:育てよう! 自然と大地をつなぐ夢

---

## 昭和56年(1981年)度(会員数:3,088名)

昭和56年 4月 昭和56年度通常総会(県民文化センター)  
10月 第24回建築士会全国大会「秋田大会」  
テーマ:豊かな自然! 日本海と地域の文化  
12月 創立30周年記念式典(県民文化センター)

---

## 昭和57年(1982年)度(会員数:3,111名)

昭和57年 6月 昭和57年度通常総会(県民文化センター)  
10月 第25回建築士会全国大会「新潟大会」  
テーマ:建築は文化の尺度われわれは文化のパイオニア

---

## 昭和58年(1983年)度(会員数:3,194名)

昭和58年 5月 昭和58年度通常総会(県民文化センター)  
6月 関ブロ青年協議会千葉大会

10月 第26回建築士会全国大会「富山大会」  
テーマ:寄せられる期待と信頼! 新世紀  
翔く富山大会

---

## 昭和59年(1984年)度(会員数:3,241名)

昭和59年 5月 昭和59年度通常総会(県民文化センター)  
4月 一級建築士試験委託業務の受託開始  
10月 第27回建築士会全国大会「熊本大会」  
テーマ:21世紀へ燃やそう拓こう火の国大会

---

## 昭和60年(1985年)度(会員数:3,173名)

昭和60年 5月 昭和60年度通常総会(県民文化センター)  
10月 第28回建築士会全国大会「滋賀大会」  
テーマ:水と緑・いま! びわ湖からなにか  
が始まる

---

## 昭和61年(1986年)度(会員数:3,142名)

昭和61年 5月 昭和61年度通常総会(県民文化センター)  
4月 二級・木造建築士試験委託業務の受託開始  
建築士のための指定講習会事業を開始  
10月 第29回建築士会全国大会「山口大会」  
テーマ:未来へつなごう文化と歴史! 山口大会

---

## 昭和62年(1987年)度(会員数:3,119名)

昭和62年 10月 第30回建築士会全国大会「岩手大会」  
テーマ:21世紀へ生かそう! ふるさとの歴史と心

---

## 昭和63年(1988年)度(会員数:3,088名)

昭和63年 5月 昭和63年度通常総会(県民文化センター)  
10月 第31回建築士会全国大会「神奈川大会」  
(式典のみ中止) テーマ:文明開化の地で  
語ろう ~21世紀のいえづくり、まちづくり、  
ゆめづくり~

---

## 平成元年(1989年)度(会員数:3,132名)

平成元年 5月 平成元年度通常総会(下館総合福祉センター)

- 5月 第6代会長に三澤俊美就任
- 10月 第32回建築士会全国大会「岐阜大会」  
テーマ：未来へつたえよう自然と文化・匠わざ

## 平成2年(1990年)度(会員数：3,208名)

- 平成2年 5月 平成2年度通常総会(県民文化センター)
- 6月 関プロ青年協議会 茨城大会
- 10月 第33回建築士会全国大会「福岡大会」  
テーマ：建築士、その火花を燃えさかる炎に!

## 平成3年(1991年)度(会員数：3,168名)

- 平成3年 5月 平成3年度通常総会(土浦市民会館)
- 6月 女性部会設立総会開催



- 9月 第34回建築士会全国大会「千葉大会」  
テーマ：自然環境と技術の共生
- 10月 創立40周年記念ゴルフ大会(水戸C.C)
- 11月 創立40周年記念式典(中央ビルゴールデンホール)



## 平成4年(1992年)度(会員数：3,156名)

- 平成4年 6月 平成4年度通常総会(建設技術研修センター)
- 10月 第35回建築士会全国大会「兵庫大会」(40周年記念大会) テーマ：92・くにをつくり・まもり・そだてる建築士
- 11月 第2回チャリティゴルフ大会(宍戸国際C.C)  
見学会(場所：神奈川県鎌倉・横浜)

## 平成5年(1993年)度(会員数：3,139名)

- 平成5年 5月 平成5年度通常総会(那珂湊市ホテルニュー白亜紀)
- 7月 第3回チャリティゴルフ大会(宍戸国際C.C)
- 9月 第36回建築士会全国大会「北海道大会」  
テーマ：自然との共生をめざして 北の大地で熱く語ろう

## 平成6年(1994年)度(会員数：3,274名)

- 平成6年 5月 平成6年度通常総会(建設技術研修センター)  
第7代会長に尾関雪路就任
- 7月 第4回チャリティゴルフ大会(笠間市C.C)
- 10月 第37回建築士会全国大会「愛媛大会」  
テーマ：瀬戸内の自然とロマンを語ろう
- 11月 見学会(神奈川県横浜市)
- 平成7年 3月 第1回ドッジボール大会(ひたちなか市湊体育館)

## 平成7年(1995年)度(会員数：3,232名)

- 平成7年 5月 平成7年度通常総会(結城市民文化センター)
- 6月 阪神復興支援「まちづくりコンサート」(水戸市常磐大学)
- 7月 応急危険度判定士委託事業の受託開始  
第5回チャリティゴルフ大会(建築士の日行事、笠間市C.C)
- 9月 第38回建築士会全国大会「青森大会」  
テーマ：活彩あおもり 縄文・祭り・青い森  
第19回青年部ソフトボール大会(ひたちなか市湊運動公園)
- 11月 事業委員会見学会(東京都内)

## 平成8年(1996年)度(会員数：3,228名)

- 平成8年 5月 平成8年度通常総会(建設技術研修センター)
- 7月 第6回チャリティゴルフ大会(建築士の日行事、笠間市C.C)
- 10月 第39回建築士会全国大会「福井大会」  
テーマ：いま、再び日本海時代を ～国際化と地方化への対応～

- 11月 事業委員会見学会 (東京都 葛西臨海水族園・船の科学館ほか)  
 青年部設立20周年記念式典 (水戸市プラザホテル)

## 平成 9 年 (1997年) 度 (会員数 : 3,212 名)

- 平成9年 5月 平成9年度通常総会 (つくば市 ホテルグランド東雲)  
 7月 第7回チャリティゴルフ大会 (建築士の日行事、水戸市ロイヤルフォレストC.C.)  
 9月 第21回青年部ソフトボール大会 (下妻市小貝川球場)  
 10月 第40回建築士会全国大会「長崎大会」  
 テーマ: 建築士・平成の長崎遊学 ～歴史の街から、地方創造の情報発信

## 平成 10 年 (1998年) 度 (会員数 : 3,152 名)

- 平成10年 5月 平成10年度通常総会 (建設技術研修センター)  
 7月 第8回チャリティゴルフ大会 (建築士の日行事、水戸G.C.)  
 9月 第22回青年部ソフトボール大会 (那珂町笠松運動公園)  
 11月 第41回建築士会全国大会「奈良大会」  
 テーマ: 古都奈良で21世紀の夢語ろう ～歴史のまちから未来へのメッセージ～  
 事業委員会見学会 (神奈川県日本民家園等)  
 平成11年 2月 まちづくりワークショップ「神楽跡地利用計画」 (石岡市プラザホテル)

## 平成 11 年 (1999年) 度 (会員数 : 3,087 名)

- 平成11年 5月 平成11年度通常総会 (ワークプラザ勝田)  
 6月 第9回チャリティゴルフ大会 (建築士の日行事、水戸G.C.)  
 9月 第23回青年部ソフトボール大会 (常陸太田市白羽スポーツ広場)  
 10月 第42回建築士会全国大会「長野大会」  
 テーマ: 「日本の屋根・ながの」で語ろう  
 自然と建築との響き  
 11月 事業委員会見学会 (千葉県)  
 平成12年 1月 まちづくりワークショップ「県庁跡地を考えるワークショップ みんなで語ろう魅都みらい」 (茨城県開発公社)

## 平成 12 年 (2000年) 度 (会員数 : 3,017 名)

- 平成12年 5月 平成12年度通常総会 (研修センター)  
 6月 関プロ青年協議会茨城大会



- 第10回チャリティゴルフ大会 (建築士の日行事、富士カントリー笠間クラブ)  
 9月 第24回青年部ソフトボール大会 (土浦市霞ヶ浦運動公園)  
 10月 第43回建築士会全国大会「鳥取大会」  
 テーマ: 鳥取発『21世紀のエコリング』  
 ～人と自然が共生できる社会をめざして～  
 11月 事業委員会見学会 (福島県五色沼および諸橋近代美術館)

## 平成 13 年 (2001年) 度 (会員数 : 2,902 名)

- 平成13年 5月 平成13年度通常総会 (水海道市生涯学習センター)  
 6月 第11回チャリティゴルフ大会 (建築士の日行事、富士カントリー笠間クラブ)  
 9月 第25回青年部ソフトボール大会 (下妻市小見川球場)  
 10月 第44回建築士会全国大会「宮城大会」  
 テーマ: 出帆! 開かれた未来へ ～みちのく宮城に集う、時代の提言者～  
 11月 CPD登録の募集を開始  
 創立50周年記念式典



- 平成14年 3月 まちづくりワークショップ「きらり、土浦～水辺から市街地を考える～」 (土浦市サンレイク土浦)



---

## 平成 14 年 (2002年) 度 (会員数 : 2,856 名)

- 平成 14 年 5 月 平成 14 年度通常総会 (建設技術センター)  
第 8 代会長に柴和伸就任
- 6 月 関プロ青年協新潟大会 (2日間、新潟県月岡温泉「ホテル華鳳」)  
第 12 回チャリティゴルフ大会 (建築士の日行事、富士カントリー笠間クラブ、参加者 131 名、優勝 : 佐川 廣英)
- 7 月 全国女性建築士連絡協議会 (2日間、東京大会、参加者 8 名)
- 9 月 第 26 回青年部ソフトボール大会 (大洗町総合運動公園、参加者 120 名、優勝 : 水戸支部)
- 10 月 18 日第 45 回建築士会全国大会「三重大会」(50 周年) テーマ : 環境・人間・建築の三重奏～建築士たちの新たな挑戦～(本会参加者 71 名)
- 11 月 事業委員会見学会 (神奈川県横浜ラーメン博物館ほか、参加者 大人 44 名・子供 6 名)  
まちづくりワークショップ「みんなで語ろう! 鯨が丘の未来」(参加者 84 名)
- 平成 15 年 1 月 第 1 回新春賀詞交歓会 (水戸市三の丸ホテル、参加者 216 名)

---

## 平成 15 年 (2003年) 度 (会員数 : 2,804 名)

- 昭和 15 年 5 月 平成 15 年度通常総会 (江戸崎町 パレス歌舞伎)  
「みんなで演出…十萬原 住んでみたいなこんなマチ♪」(常北町、参加者 : 学生、一般の方含む 122 名)
- 6 月 関プロ青年協千葉大会 (2日間、千葉県京成ホテル・ミラマール)
- 7 月 第 13 回チャリティゴルフ大会 (建築士の日行事、富士カントリー笠間クラブ、参加者 119 名、優勝 : 小川 政善・団体優勝 : 北相馬支部)  
全国女性建築士連絡協議会 (2日間、神戸大会、参加者 8 名)
- 9 月 第 27 回青年部ソフトボール大会 (県立日立北高等学校グラウンド、優勝 : 水戸支部)
- 10 月 第 46 回建築士会全国大会「宮崎大会」  
テーマ : ひむかで誓う 建築と自然の共生～地域からの変革そして発信～(本会参加者 42 名)
- 11 月 会員委員会見学会 (神奈川県鎌倉ほか、参加者 大人 59 名・子供 9 名)
- 平成 16 年 1 月 模擬まちづくりワークショップ (下妻市、参加者 : 本部および下妻支部役員ならびにチーフ

ルリーダー 20 名)

第 2 回新春賀詞交歓会 (水戸市三の丸ホテル、出席者 210 名)

---

## 平成 16 年 (2004年) 度 (会員数 : 2781 名)

- 平成 16 年 5 月 平成 16 年度通常総会 (茨城県建設技術研修センター)
- 6 月 関プロ青年協東京大会 (2日間、晴海トリトンスクエア、参加者 72 名)
- 7 月 第 14 回チャリティゴルフ大会 (建築士の日行事、富士カントリー笠間クラブ、参加者 133 名、優勝 : 青山 立美、団体優勝 : 水戸支部 A)  
被災建築物応急危険度判定模擬訓練 (つくば市、参加者 168 名)  
全国女性建築士連絡協議会 (2日間、東京大会、参加者 12 名)
- 9 月 第 28 回青年部ソフトボール大会 (行方郡玉造町町営浜野球場、参加者 120 名、優勝 : 水戸支部)
- 10 月 第 47 回建築士会「和歌山大会」テーマ : きのくから拓く建築の未来～地域新時代の創造～(本会参加者 46 名)  
新潟県中越地震被災建築物応急危険度判定活動 (9 日間、参加建築士 58 名)
- 11 月 新潟県中越地震被災地住宅相談キャラバン隊 (10 日間、参加建築士 176 名)
- 平成 17 年 1 月 第 3 回新春賀詞交歓会 (水戸市三の丸ホテル、出席者 234 名)
- 2 月 第 3 回機構改革ワークショップ (開発公社ビル、参加者 46 名)
- 3 月 第 9 回会員美術展 (8 日間、川又書店県庁店、来場者 221 名)

---

## 平成 17 年 (2005年) 度 (会員数 : 2,803 名)

- 平成 17 年 5 月 平成 17 年度通常総会 (日立シビックセンター マーブルホール)
- 6 月 「木造住宅耐震診断士養成講習会委託事業」を受託開始  
第 48 回建築士会「愛知大会」テーマ : あいちで紡ぐ技と知恵～循環型社会における建築士の役割～(本県参加者 80 名)  
関プロ青年協群馬大会 (2日間、伊香保温泉ホテル木暮、参加者 76 名)
- 6 月 第 15 回チャリティゴルフ大会 (富士カントリー笠間クラブ、参加者 154 名、優勝 : 和知 紀良、団体優勝 : 土浦支部)

7月 被災建築物応急危険度判定模擬訓練(岩瀬町、参加者123名)

8月 まちづくりワークショップ「発見! まかべ探検隊」(真壁町総合福祉センター、参加者92名)

9月 第29回青年部ソフトボール大会(筑西市関城グリーンスポーツセンター運動場、参加者105名、優勝:JR水戸支部)

10月 「木造住宅耐震診断士派遣事業」を受託開始

12月 全国女性建築士連絡協議会(2日間、香川大会、参加者8名)

第10回会員美術展(6日間、茨城県立図書館、来場者747名)

平成18年 1月 第4回新春賀詞交歓会(水戸市三の丸ホテル、出席者235名)

3月 事務局を建築会館(水戸市笠原町978-30)に移転

## 平成18年(2006年)度(会員数:2,747名)

平成18年 5月 平成18年度通常総会(県民文化センター)

4月 新日立支部設立総会(日立・多賀支部合併)

6月 関プロ青年協山梨大会(2日間、富士レークホテル、参加者47名)

第16回チャリティゴルフ大会(富士カントリー笠間クラブ、参加者143名、優勝:成島 誠、団体優勝:北相馬支部)

7月 2全国女性建築士連絡協議会(2日間、東京大会、参加者17名)

8月 青年部30周年記念事業「段ボールハウス」避難生活を体験しよう(2日間、水戸市JJ CLUB、参加者29名)

第1回大納涼会(水戸市三の丸ホテル、参加者135名)

9月 第30回青年部ソフトボール大会(大洗町大洗総合運動公園、参加者107名/優勝:JR水戸支部)

第11回会員美術展(7日間、川又書店県庁店、来場者143名)

10月 第49回建築士会全国大会「栃木大会」テーマ:下野で語る建築士と地域との共創～建築士たちの“もの・まち・くらしづくり”の実践(本会参加者230名)

11月 県央支部設立臨時総会(水戸支部、大洗支部、西茨城支部合併)

被災建築物応急危険度判定模擬訓練(那珂市宮中里住宅、参加者94名)

青年部設立30周年記念式典(水戸市三の丸ホテル、参加者131名)

平成19年 1月 第5回新春賀詞交歓会(水戸市三の丸ホテル、出席者280名)

## 平成19年(2007年)度(会員数:2,724名)

平成19年 5月 平成19年度通常総会(県民文化センター)

6月 第17回チャリティゴルフ大会(富士カントリー笠間クラブ、参加者121名、優勝:成島 誠、団体優勝:北相馬支部)

7月 新潟県中越沖地震被災建築物応急危険度判定活動(5日間、参加建築士延25名)

8月 新潟県中越沖地震被災地住宅相談ボランティア(2日間、参加建築士延176名)

第2回大納涼会(水戸市三の丸ホテル、参加者133名)

9月 第31回青年部ソフトボール大会(ひたちなか市西原公園ひろば、参加者114名、優勝:県央支部)

第50回建築士会全国大会「北海道大会」テーマ:北の開拓地で誓う～建築士の使命～地域に根ざしたもの・まち・くらしづくり(本会参加者:46名)

11月 被災建築物応急危険度判定模擬訓練(茨城県町宮小鶴住宅、参加者107名)

12月 常陸国体感ツアー(石岡・桜川・つくば市、参加者52名)

平成20年 1月 第6回新春賀詞交歓会(水戸市三の丸ホテル、出席者259名)

3月 第12回会員美術展(5日間、イオン水戸内原SC、来場者359名)

## 平成20年(2008年)度(会員数:2,696名)

平成20年 5月 平成20年度通常総会(県民文化センター)

苗木配布事業開始

6月 第18回チャリティゴルフ大会(富士カントリー笠間クラブ、参加者118名、優勝:広瀬 健一、団体優勝:県央支部)

桜川支部「真壁の黒板塀による修景事業」が第26回まちづくり月間国土交通大臣表彰を受ける

8月 第3回大納涼会(ホテルテラスザガーデン水戸、参加者158名)

9月 第32回青年部ソフトボール大会(つくば市(株)岡村製作所つくばグラウンド、参加者118名、優勝:JR水戸支部)

- 10月 第51回建築士会全国大会「とくしま大会」  
テーマ：阿波の地で連 (REN) に学ぶ～市民と建築士が協働するもの・まち・くらしづくり
- 11月 定期講習会事業を受託開始 (普及センター)  
第17回日帰り見学会 (東京赤坂サカス・水上バス・浅草寺、参加者89名)  
「改正建築士法・政省令等の解説講習会」開催
- 12月 一級建築士の免許申請業務を受託開始 (国交省の指定登録機関となる)
- 平成21年 1月 第7回新春賀詞交歓会 (水戸市三の丸ホテル、出席者284名)
- 2月 第13回会員美術展and会員作品写真展 (5日間、イオン水戸内原SC、来場者236名)

## 平成21年(2009年)度(会員数：2,594名)

- 平成21年 5月 平成21年度通常総会 (県民文化センター)
- 6月 第19回チャリティゴルフ大会 (富士コントリリー笠間クラブ、参加者119名、優勝：雨谷一夫、団体優勝：北相馬支部)
- 7月 二級・木造建築士の免許申請業務を開始 (茨城県の指定登録機関となる)
- 8月 第4回大納涼会 (ホテルテラスザガーデン水戸、参加者188名)
- 9月 第33回青年部ソフトボール大会 (常総市豊田球場サブグラウンド、参加者108名、優勝：JR水戸支部)
- 10月 第52回建築士会全国大会「やまがた大会」  
テーマ：出羽の国から拓く建築士の新時代～市民とささえあう地域づくり～(本会参加者95名)
- 平成22年 1月 第8回新春賀詞交歓会 (水戸市三の丸ホテル、出席者286名)
- 第14回会員美術展and会員作品写真展 (5日間、文化デザイナー学院ギャラリー、来場者76名)

## 平成22年(2010年)度(会員数：2,517名)

- 平成22年 4月 建築視察研修 (4日間、茨城空港からソウルへ、茨城県建築士事務所協会との合同開催)
- 5月 平成22年度通常総会 (県民文化センター)
- 6月 第20回チャリティゴルフ大会 (富士コントリリー笠間クラブ、参加者116名、優勝：染谷省三、団体優勝：県央支部A)
- 関プロ青年協茨城大会開催 (水戸ブラザホ

テル、2日間)

- 8月 「木造住宅耐震診断士養成講習会」を開催 (9月までに全2回開催)
- 第5回大納涼会 (ホテルテラスザガーデン水戸、参加者185名)
- 9月 第34回青年部ソフトボール大会 (水戸市田野市民運動場、参加者108名、優勝：県央支部)
- 10月 第53回建築士会全国大会「佐賀大会」  
テーマ：多彩な自然と文化が育むさがの地に学ぶ～未来につながる人の絆と建築士の役割～(本会参加者46名)
- 平成23年 1月 第9回新春賀詞交歓会 (水戸市三の丸ホテル、出席者292名)
- 3月 東日本大震災被災建物応急危険度判定活動 (参加建築士延382名)、被災住宅相談 (参加建築士延654名)

## 平成23年(2011年)度(会員数：2,508名)

- 平成23年 3月 東日本大震災後の活動として以下を実施
- 4月～ 応急危険度判定士の派遣／被災住宅相談員の派遣／被災住宅の現地調査への派遣／住家の被害認定調査員の派遣／木造住宅耐震診断士の派遣／ローコスト住宅検討会の設置 (安心・安全な木造住宅プロジェクト)／五浦六角堂再建支援プロジェクト／義援金100万円を茨城県庁へ、176,645円を茨城新聞社へ／家族ふれあい縁台つくり (女性部)／疑似避難所生活体験「段ボウルハウスを作ろう」(青年部)／耐震改修補強工法検討会の設置・マニュアルの作成
- 震災建築物の被災度区分判定講習会 (受講者：255名)
- 5月 平成23年度通常総会・創立60周年記念式典 (水戸ブラザホテル)
- 緑化推進事業苗木配布事業として11月までに24地区で苗木3,653本を配布
- 6月 第21回チャリティゴルフ大会 (富士コントリリー笠間クラブ、参加者：90名、優勝：染野英夫、団体優勝：筑波支部)
- 7月 第5回大納涼会 (ホテルテラスザガーデン水戸、参加者188名)
- 8月 会報「けんちく茨城創立60周年記念号」発行
- 9月 第35回青年部ソフトボール大会 (ひたちなか市笠松運動公園、参加者109名、優勝：県央支部Aチーム)
- 平成24年 1月 第10回新春賀詞交歓会 (参加者270名)

# 沿革 [平成24年(2012年)度～令和3年(2021年)度]

## 平成 24 年(2012年)度(会員数:2,395名)

- 平成24年 5月15日 平成24年度通常総会(水戸プラザホテル)
- 6月19日 第22回チャリティゴルフ大会(富士カントリー笠間クラブ、参加者103名、優勝:須藤隆・団体優勝:土浦支部)
- 7月10日 「木造建築構造技術者養成講座」(全5回開催)
- 7月27日 大納涼会(事務所協会と合同開催、ホテルテラスザガーデン、参加者223名)
- 9月 2日 第36回青年部ソフトボール大会(霞ヶ浦運動公園、参加者107名、優勝:県西連合チーム)
- 10月 5日 「茨城県木造建築物協議会」発足
- 10月19日 第55回建築士会全国大会「いばらき大会」(60周年) テーマ:常陸国いばらきで語ろう「60年のあゆみ」と「未来への創造」(本会参加者541名)
- 11月 3日 第21回日帰り見学会(神奈川県鎌倉市、参加者72名)
- 11月19日 被災建築応急危険度判定模擬訓練(阿見町 町営上郷第一住宅、参加者69名)
- 平成25年 1月18日 第11回新春賀詞交歓会(水戸市三の丸ホテル、参加者290名)
- 3月28日 第16回会員美術展(5日間、茨城空港ロビー、来場者216名)



2012年9月8日ヘリテージ現場研修

### 平成24年のおもなできごと

- ・東京スカイツリー開業
- ・衆院選で自公政権奪還
- ・山中伸弥教授にノーベル医学生理学賞
- ・ロンドン五輪

## 平成 25 年(2013年)度(会員数:2,318名)

- 平成25年 4月23日 木材加工施設見学会(常陸大宮市宮の郷工業団地、参加者50名)
- 5月24日 平成25年度通常総会(県民文化センター)
- 6月18日 第23回チャリティゴルフ大会(富士カントリー笠間クラブ、参加者106名、「(社福)清香会あゆみ園」に子供用自転車10台を寄付)
- 7月26日 大納涼会(事務所協会と合同開催、ホテルテラスザガーデン、参加者223名)
- 9月 1日 第37回青年部ソフトボール大会(水戸市元石川ラウンド、参加者107名、優勝:県庁支部)
- 10月24日 第56回建築士会全国大会「しまね大会」テーマ:神集う國 しまねすべてを引き寄せ 縁結ぶー「ものづくり」の原点を見つめるー(本会参加者79名、茨城会40名)
- 10月27日 「建設フェスタ2013」(笠松運動公園、本部と賛助会4社が参加)
- 11月 3日 第22回日帰り見学会(福島県会津若松方面、参加者52名)
- 11月14日 木造校舎等施設見学会(中国材料(株)鹿島集成材工場～潮来市潮来小学校、参加者40名)
- 平成26年 1月17日 第12回新春賀詞交歓会(水戸プラザホテル、出席者305名)
- 1月28日 西山荘御殿復旧工事監理見学会(地域文化財専門技術者育成研修者向け、参加者40名)
- 2月18日 西山荘御殿復旧工事監理見学会(会員者向け、参加者45名)
- 3月25日 第17回会員美術展(5日間、県立図書館、来場者60名)



2013年7月5日 正・副委員長会議



2013年10月19日全国大会-島根大会

### 平成25年のおもなできごと

- ・アベノミクス始動
- ・日本、TPP交渉に参加
- ・富士山、世界遺産に登録決定
- ・中国国家主席に習近平氏、「PM2.5」の汚染深刻化

## 平成 26 年 (2014 年) 度 (会員数: 2,274 名)

- 平成 26 年 6 月 6 日 平成 26 年度通常総会 (県民文化センター)
- 6 月 14 日 「いばらき木造塾」(平成 27 年 3 月 14 日まで延べ 10 回開催、受講者 40 名)
- 6 月 24 日 第 24 回チャリティゴルフ大会 (富士カントリー笠間クラブ、参加者 107 名、(社福) 茨城県社会福祉事業団に車椅子 5 台を寄付)
- 6 月 28 日 いばらき地域文化財専門技術者育成研修 (ヘリテージマネージャー育成研修) (平成 27 年 3 月 28 日まで延べ 10 回開催、受講者 32 名)
- 7 月 24 日 大納涼会 (事務所協会と合同開催、ホテルテラスザガーデン、参加者 214 名)
- 9 月 6 日 第 38 回青年部ソフトボール大会 (水戸市 東野市民運動場、参加者 74 名、優勝: 県央支部 P チーム)
- 9 月 17 日 工事管理者セミナー (12 月 10 日まで延べ 4 回開催、茨城県建設技術研修センター、受講者 50 名)
- 10 月 24 日 第 57 回建築士会「ふくしま大会」テーマ: 建築士の決断「ならぬことはならぬものです」ふくしまで語ろう 建築・絆・再生 (本会参加者 126 名)
- 10 月 26 日 「グリーンフェスティバル 2014」(宮の郷工業団地、事務所協会との合同参加)
- 11 月 3 日 第 23 回日帰り見学会 (国会議事堂・東京駅等、参加者 90 名)
- 11 月 9 日 「建設フェスタ 2014」(笠松運動公園広場、本部と賛助会 3 社が参加)
- 11 月 14 日 西山荘御殿復旧工事完成見学会 (参加者 45 名)
- 平成 27 年 1 月 16 日 第 13 回新春賀詞交歓会 (水戸プラザホテル、出席者 316 名)
- 2 月 21 日 第 18 回会員美術展 (5 日間、水戸市立見和図書館、記帳者 40 名)



2014 年 8 月 10 日段ボールハウス

### 平成 26 年のおもなできごと

- ・消費税 8% に
- ・御嶽山が噴火
- ・富岡製糸場、世界遺産に登録決定
- ・ハヤブサ 2 打ち上げ成功
- ・韓国旅客船沈没事故

## 平成 27 年 (2015 年) 度 (会員数: 2,199 名)

- 平成 27 年 5 月 29 日 平成 27 年度通常総会 (県民文化センター)
- 6 月 20 日 「いばらき木造塾」(平成 28 年 3 月 19 日まで延べ 9 回開催、受講者 50 名)
- 6 月 25 日 第 25 回チャリティゴルフ大会 (富士カントリー笠間クラブ、参加者 107 名、児童養護施設「茨城育成園」に建替え資金・県立図書館にブックカードを寄付)
- 7 月 24 日 大納涼会 (事務所協会と合同開催、ホテルテラスザガーデン、参加者 230 名)
- 8 月 9 日 いばらき地域文化財専門技術者育成研修 (ヘリテージマネージャー育成研修) (受講者 84 名)
- 9 月 5 日 第 39 回青年部ソフトボール大会 (水戸市 東野市民運動場、参加者 74 名、優勝: 県央支部 L)
- 9 月 17 日 工事管理者セミナー (12 月 10 日まで延べ 4 回開催、茨城県建設技術研修センター、受講者 50 名)
- 10 月 30 日 第 58 回建築士会「石川大会」テーマ: 百万石の地で触れよう 未来につなぐ まちづくり (本会参加者 91 名)
- 11 月 3 日 第 24 回日帰り見学会 (群馬県富岡製糸場ほか、参加者 90 名)



2015 年 7 月 27 日試験監督

### 平成 27 年のおもなできごと

- ・選挙権 18 歳以上、参議院で可決
- ・記録的大雨で鬼怒川決壊
- ・米国とキューバ国交回復
- ・COP21 でパリ協定採択

- 11月 8日 「建設フェスタ2015」(笠松運動公園広場、本部と賛助会2社が参加)  
 平成28年 1月15日 第14回新春賀詞交歓会(水戸プラザホテル、出席者350名)  
 3月16日 第19回会員美術展(5日間、茨城県立図書館、記帳者40名)



2015年10月26日訓練のための傾かせ供試体作製

## 平成 28 年(2016年)度 (会員数:2,123名)

- 平成28年 5月27日 平成28年度通常総会(県民文化センター)  
 6月 4日 「いばらき木造塾」(平成29年3月4日まで延べ10回開催、受講者30名)  
 6月17日 関プロ青年協山梨大会(2日間、山梨県清里「清泉寮」、参加者57名)  
 6月24日 第26回チャリティゴルフ大会(富士カントリー笠間クラブ、参加者115名)  
 7月22日 全国女性建築士連絡協議会(2日間、奈良大会、参加者11名)  
 7月29日 第6回大納涼会(事務所協会と合同開催、ホテルテラスザガーデン、参加者241名)  
 8月20日 ヘリテージマネージャーいばらき協議会総会、基調講演(茨城県開発公社ビル、参加者66名)  
 9月 3日 第40回青年部ソフトボール大会(水戸市 東野市民運動場、参加8チーム、優勝:県央支部L)  
 9月17日 工事管理者セミナー(延べ3回開催、茨城県建設技術研修センター、受講者50名)  
 10月30日 第59回建築士会「大分大会」テーマ:おんせん県おおいたで湧き上がる多様な知恵(本会参加者31名)  
 10月30日 「グリーンフェスティバル2016」(宮の郷工業団地)  
 10月30日 「建設フェスタ2016」(笠松運動公園、本部と賛助会3社が参加)  
 11月 3日 第25回日帰り見学会(東京スカイツリーほか、参加者85名)  
 平成29年 1月13日 第15回新春賀詞交歓会(水戸プラザホテル、出席者374名)  
 2月 6日 第20回会員美術展(5日間、茨城県総合福祉会館、来場者184名、出展者24名・105作品)



2016年10月24日 全国大会-大分の表彰者

### 平成28年のおもなできごと

- ・マイナンバー制度スタート
- ・熊本地震(M7.3)発生
- ・オバマ大統領、歴史的な広島訪問
- ・英国がEU離脱決定
- ・リオ五輪

## 平成 29 年(2017年)度 (会員数:2,077名)

- 平成29年 5月26日 平成29年度通常総会(県民文化センター)  
 6月 3日 「いばらき木造塾」(平成30年3月3日まで延べ6回開催、受講者22名)  
 6月22日 第27回チャリティゴルフ大会(富士カントリー笠間クラブ、参加者106名、児童養護施設「内原和敬寮」に20万円寄付)  
 6月23日 関プロ青年協「かながわ箱根大会」(2日間、参加者53名)  
 7月15日 全国女性建築士連絡協議会(2日間、東京港区「建築会館」、参加者13名)  
 7月29日 第7回大納涼会(事務所協会合同開催、ホテルテラスザガーデン、参加



2017年8月28-ボウリング大会

- 者230名)
- 8月20日 ヘリテージマネージャーいばらき協議会 平成28年度総会、基調講演  
(茨城県開発公社ビル、参加者66名)
- 9月 1日 第41回青年部ソフトボール大会(水戸市 東野市民運動場、雨天中止)
- 10月30日 第60回建築士会「京都大会」テーマ：山とまちと木造建築(本会参加登録者87名、茨城会参加者32名)
- 10月29日 「建設フェスタ2017」(笠松運動公園広場、本部と賛助会3社が参加)
- 11月 3日 第26回日帰り見学会(東京柴又・上野界限、参加者72名)
- 平成30年 1月19日 第16回新春賀詞交歓会(水戸プラザホテル、出席者340名)
- 3月15日 第21回会員美術展(6日間、茨城県立図書館、記帳者364名)



2017年12月2日HUGワークショップ

#### 平成29年のおもなできごと

- ・上野動物園でパンダ(香香)誕生
- ・森友・加計学園問題
- ・米、トランプ大統領就任
- ・大谷翔平エンジェルス入団

## 平成30年(2018年)度(会員数:2,037名)

- 平成30年 5月25日 平成30年度通常総会(県民文化センター)
- 6月 2日 「いばらき木造塾」(平成31年3月2日まで延べ6回開催、受講者16名)
- 6月15日 関プロ青年協「栃木大会」(2日間、参加者49名)
- 6月21日 第28回チャリティゴルフ大会(富士カントリー笠間クラブ、参加者130名、児童養護施設「日照養徳園」に20万円を寄付)
- 7月28日 全国女性建築士連絡協議会(2日間、高知大会、参加者13名)
- 7月27日 第8回大納涼会(事務所協会合同開催、ホテルテラスザガーデン、参加者230名)
- 8月20日 ヘリテージマネージャーいばらき協議会平成30年度総会(参加者40名)
- 9月 1日 第42回青年部ソフトボール大会(水戸市 東野市民運動場、優勝:JR水戸支部)
- 9月 3日 応急危険度判定士養成講習会(受講者112名)
- 9月17日 工事管理者セミナー(12月10日まで延べ4回開催、茨城県建設技術研修センター、受講者50名)
- 10月26日 第61回建築士会「埼玉大会」テーマ：歴史に感謝！未来に約束 今 埼玉に集う彩り豊かな未来の創造(本会参加登録者126名、茨城会開催無し)
- 10月27日 「建設フェスタ2018」(笠松運動公園広場、本部と賛助会3社が参加)
- 11月 3日 第27回日帰り見学会(迎賓館・赤坂離宮ほか、参加者89名)
- 11月20日 水戸市新庁舎完成見学会(参加者95名)
- 平成31年 1月17日 水戸市東町体育館完成見学会(参加者50名)
- 1月18日 第17回新春賀詞交歓会(水戸プラザホテル、出席者94名)
- 2月 6日 第22回会員美術展(8日間、水戸市役所1階、出展者18名・57作品)



2018年2月14日知事指定講習



2018年2月27日建築士免許交付式

#### 平成30年のおもなできごと

- ・オウム松本元死刑囚らの刑執行
- ・西日本豪雨、北海道地震、災害相次ぐ
- ・米朝が史上初の首脳会談
- ・平昌冬季五輪開催

## 令和元年(2019年)度 (会員数:1,981名)

- 令和1年 5月24日 令和元年度通常総会(県民文化センター)
- 6月 2日 結城の未来を考えよう「人と歴史と町を結ぶワークショップ」(結城公民館、参加者40名)
- 6月15日 関プロ青年協「埼玉大会」(2日間、参加者50名)
- 6月21日 第29回チャリティゴルフ大会(富士カントリー笠間クラブ、参加者109名、児童養護施設「茨城県道心園」に20万円を寄付)
- 7月13日 全国女性建築士連絡協議会(2日間、東京大会、参加者15名)
- 7月26日 第9回大納涼会(事務所協会と合同開催、ホテルテラスザガーデン、参加者215名)
- 8月 3日 ヘリテージマネージャーいばらき協議会令和元年度総会(参加者38名)
- 9月 3日 応急危険度判定士養成講習会(受講者101名)
- 9月 7日 第43回青年部ソフトボール大会(水戸市 東野市民運動場、優勝:県央支部P)
- 9月17日 工事管理者セミナー(12月10日まで延べ4回開催、茨城県建設技術研修センター、受講者50名)
- 9月21日 第62回建築士会「北海道大会」テーマ:Re+ リクロス みらい 明日のまちに輝きを—(本会参加登録者90名、茨城会開催無し)
- 10月25日 住まいの復旧相談会(台風19号関連被災者支援活動)(4日間、飯富市民センターと水戸市役所本庁舎、相談員延べ24名、相談件数45件)
- 10月28日 住まいの復旧相談会(2日間、城里町役場、相談員延べ6名、相談件数10件)
- 11月 2日 「建設フェスタ2019」(笠松運動公園、本部と賛助会2社が参加)
- 11月 3日 第28回日帰り見学会(NHK放送博物館・日本青年会館ホテルランチ、参加者53名)
- 令和2年 1月17日 第18回新春賀詞交歓会(水戸プラザホテル、出席者350名)
- 3月 3日 ステップアップ講座(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)
- 3月23日 第23回会員美術展(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)



2019年5月24日通常総会



2020年1月17日賀詞交歓会

### 令和元年のおもなできごと

- ・天皇陛下ご即位、「令和」に改元
- ・消費税10%に引き上げ
- ・台風15号首都圏直撃
- ・ラグビーW杯日本大会開催、日本8強
- ・米中貿易摩擦が激化

## 令和2年(2020年)度 (会員数:1,913名)

- 令和2年 5月29日 令和2年度通常総会(水戸プラザホテル、参加者684名(委任状含))
- 6月20日 関プロ青年協「茨城大会」(中止・令和3年度に順延)
- 6月25日 第30回チャリティゴルフ大会(中止)
- 7月18日 全国女性建築士連絡協議会(福岡大会、中止・令和3年度に順延)
- 7月17日 大納涼会(事務所協会合同開催、ホテルテラスザガーデン、中止)
- 9月 5日 ヘリテージマネージャーいばらき協議会令和2年度総会(委任状と合わせて参加者68名)



2020年10月16日コロナ禍での既存住宅講習会



- 9月16日 応急危険度判定士養成講習会 (受講者67名)
- 9月19日 第44回青年部ソフトボール大会 (水戸市 東野市民運動場、優勝：県庁支部)
- 10月 5日 木造住宅耐震診断士養成講習会 (受講者74名)
- 10月31日 「建設フェスタ2020」(笠松運動公園、中止)
- 11月 3日 第29回日帰り見学会 (中止)
- 11月14日 第63回建築士会「広島大会」(中止・R3年に順延)
- 令和3年 1月15日 第19回新春賀詞交歓会 (水戸プラザホテル、中止)
- 3月 第23回会員美術展 (水戸市役所1階、中止)

- 令和2年のおもなできごと**
- ・新型コロナ猛威、初の緊急事態宣言
  - ・九州で豪雨、死者多数
  - ・新型コロナでパンデミック宣言
  - ・英国がEU離脱

## 令和3年(2021年)度 (会員数：1,842名)

- 令和3年 5月28日 令和3年度通常総会 (水戸プラザホテル、委任状含め参加者594名)
- 6月19日 関ブロ青年協「茨城大会」(初のリモート開催、参加者500名)
- 6月24日 第30回チャリティゴルフ大会 (富士カントリー笠間クラブ中止)
- 7月18日 全国女性建築士連絡協議会 (福岡県、複数名がリモート参加)
- 7月16日 大納涼会 (事務所協会合同、ホテルテラスザガーデン、中止)
- 10月31日 ヘリテージマネージャーいばらき協議会令和3年度総会 (委任状と合わせて参加者55名)
- 9月18日 第45回青年部ソフトボール大会 (水戸市 東野市民運動場、令和4年3月12日に延期したが中止)
- 10月31日 「建設フェスタ2020」(笠松運動公園、中止)
- 11月 3日 第29回日帰り見学会 (関東地方、中止)
- 11月19日 第63回建築士会「広島大会」テーマ：元気じゃけん！ ひろしま ～新しい時代へものがたりをつなごう～ (コロナウイルス拡大によりオンライン形式で大会開催)
- 12月 5日 木造住宅耐震診断士養成講習会 (令和4年1月15日まで、動画視聴方式、受講者75名)
- 令和4年 2月 2日 第19回新春賀詞交歓会 (水戸プラザホテル、中止)
- 2月 2日 創立70周年記念式典 (水戸プラザホテル、延期/令和5年2月10日に開催)
- 3月16日 第23回会員美術展 (茨城県立図書館、出展者20名・34作品)



2021年6月19日関ブロ茨城大会



2021年11月9日模擬訓練

**令和3年～4年のおもなできごと**

- ・東日本大震災から10年
- ・東京五輪・パラ開催
- ・新型コロナ長期化、進むワクチン接種
- ・岸田内閣発足
- ・米 バイデン大統領就任
- ・ロシアによるウクライナ侵攻

## 編集メンバー [情報・広報委員会]

川又 晴彦／梅原 郁夫／児玉 欽司／成田 孝成／軽部 守彦／大山 早嗣／武居 公江／浅野 祐一郎／  
石黒 幸喜／埴 万治／澤畑 一成／山田 一博／谷島 正憲／茂垣 直樹

## 編集後記

60周年の時は東日本大震災直後で、震災での活動の報告書のような記念誌となりましたが、今回は本来の周年記念誌となりました。この10年間に常総の水害や那珂川久慈川の水害等地球温暖化の影響で、自然災害が多発しています。今後とも建築士の職能を生かしながら活動し、その記録を残していきたいと思います。委員会の皆様ご苦労様でした。(軽部)

現在の心境としては、まず無事に記念誌を発行できたことでほっとしています。寄稿いただいた各支部、委員会ほか会員の皆様にはこの場を借りてお礼を申し上げます。この10年は、私にとっても大きな動きがあった時期でもあり、東日本大震災以降の様々なことが走馬灯のようによみがえります。次の10年は既にスタートを切っています。振り返った時に良き思い出となるような活動を続けたいと思います。(大山)

長引くCOVID-19で、余儀なく延期、延期となった70周年式典。その間、各委員会の委員長、各支部長にも異動があり、編集も足踏み状態に…。そんな中、前回の60周年記念誌編集の作業とはまた別に、今回は10年の歩みを映像化。式典では、目で見える10年の歩みに、ひと際感動を覚えたのは云うまでもない。(武居)

50周年時は広報委員会副委員長として、60周年時は情報広報委員長として記念誌発行に係らせていただきました。青年部活動を終え委員会配属になり約26年が経ち、そのうち20年間は広報活動に係わり、大変な事もありましたが、長い活動を認められ、平成22年に開催された全国大会「佐賀大会」では連合会会長表彰をいただく事も出来、良い思い出となっています。今後も士会事業の発展のために少しでもお役にたてればと思っております。(浅野)

今回は、巻頭ページ担当を副委員長から指名されました。記念号の核部分になる記事のため苦労しましたが、コロナ延期にも負けず何とかメンバーの力を借り、まとめる事が出来ました。10年前は60周年記念誌で実行委員長として関わりましたが、発行間近での震災による内容変更の苦労がよみがえりました(苦笑)。(石黒)

70周年記念誌を発刊するにあたり、原稿を寄せてくださった皆様に心より御礼申し上げます、素晴らしい内容の70周年記念誌が出来上がりました。情報広報委員として、60周年記念誌に関わり70周年記念誌にも関わられたことは、嬉しい限りです。できれば、80周年記念誌にも関わられたらありがたいです。(澤畑)

70周年！歴史を感じます。大山委員長をはじめとする情報広報委員の皆さん、そして何より全ての会員さん一人一人の仕事や活動、協力があって発刊できた70周年記念号だと思います。ふり返れば、10年前の60周年記念誌にも携わっていたことを思い出しました。あれから10年、当時は平成25年。今は令和5年。過去のことはどんどん忘れていってしまいます。この記念号を時々見て振り返りながら、これからの素晴らしいであろう未来のことに思いを馳せます。(山田)

「この10年の歩みを未来へとつなぐ。」10分間の動画編集を担当しました。多くの方が出席する式典の最後に上映。上手くいくかとても緊張しました。ライブナレーションも付けていただきありがとうございました。(谷島)

2022年から情報・広報委員会に入り、今回茨城県建築士会の節目となる「創立70周年記念誌」の編集に携わる事ができた事に、委員長をはじめメンバーの皆さまに感謝申し上げます。これまで先輩方が積み上げてきた歴史を大切にしつつ、これから80年・90年そして100年を迎えられるよう引き続き建築士会を盛り上げていきたいと思います。(茂垣)

会員の皆様のお陰を持ちまして、70周年という大きな節目を迎えることができました。誠にありがとうございました。100周年を迎えることが出来ますよう事務局としても精一杯のお手伝いをさせていただきます。まずは、Next Stageの80周年に向けて精進し、県央支部会員としてもより一層協力して参ります。(事務局 助川)

建築士会の創立70周年という節目の時に、この記念誌の編集に携われたことは、今後の私の財産になると思います。ご協力頂いた皆様、誠にありがとうございました。次の80周年を迎えることができますよう、事務局としてより一層精進してまいります。(事務局 黒澤)

一般社団法人茨城県建築士会

## 創立70周年記念誌



発行 令和5年3月31日  
発行所 一般社団法人 茨城県建築士会 会長 柴和伸  
〒310-0852 水戸市笠原町978-30 建築会館2F  
TEL.029-305-0329 FAX.029-305-0330  
Eメール kyy05413@nifty.com  
企画 情報・広報委員会  
編集 笠井編集室  
デザイン ヴァングラフィックス  
印刷 株式会社高野高速印刷

ご協力誠にありがとうございました。

---

(株)相澤建築設計事務所	(株)新日東
I.B.A. 建築事務所	清和工業(株)
アオキ(株)	センター印刷(株)
暁飯島工業(株)	(有)高槻建築設計事務所
(株)あけぼの印刷社	高橋商事(株)
(有)浅野建築設計事務所	(株)高正建設
(有)亜細亜警備保障	(株)タケイ・アーツ
(有)アップル建築設計事務所	武村建築設計事務所
(株)アルク	(株)長寿荘 ホテルテラスザガーデン水戸
(株)安心確認検査機構	千代田工営(株) 茨城事務所
(株)andHAND 建築設計事務所	(株)千代田興業
(株)EMI 確認検査機構	筑波研究学園専門学校
(株)伊勢基本社 水戸プラザホテル	(株)T&S 開発設計事務所
茨城県瓦工事業組合	TOTO(株) 東関東支社 市場開発課 水戸営業所駐在
茨城県建築士会 北茨城支部	(株)戸頃建築設計事務所
茨城県建築士会 土浦支部	(株)トビタ文具
茨城県建築士会 行方支部	(有)長塚建築設計事務所
(一財) 茨城県建築センター	(株)中山工務店
茨城県鉄筋業協同組合	(株)奈良屋
茨城県木材協同組合連合会	日本ベルックス(株)
(株)潮田建設	(株)根子左
(株)エイアイシー	(株)根本建築設計事務所
(株)大川鐵工所	(株)根本工務店
(株)大山都市建築設計	(株)ノーブルハウジング
岡田建築設計事務所	(株)ハース
(有)萩建築設計事務所	(株)塙商事
(株)小國工務店	(有)原建築事務所
(株)角藤 水戸支店	(有)汎連合設計
(株)鹿島テクノス	常陸大理石(株)
株木建設(株)茨城本店	(株)日立ビルシステム
(株)鎌田建築アトリエ	(株)広瀬設計
軽部建築設計事務所	藤和建設(株)
川又晴彦建築設計事務所	富士カントリー笠間倶楽部 「(株)笠間ゴルフクラブ」
(株)関東エンジニアリングサービス	(株)フジクリーン茨城
(株)菊地設備設計事務所	(株)フジタビジネスマシンス
(有)クボタ建築設計事務所	(株)フロンティア水戸 ホテル・ザ・ウエストヒルズ・水戸
(株)建設未来通信社	北海道パーケット工業(株)
(株)建築資料研究社 茨城支店	(株)増山栄建築設計事務所
(株)建友	(株)松本総建
(株)広報社	(株)三上建築事務所
コスモ総合建設(株)	三谷セキサン(株)茨城営業所
小西(株)	学校法人城東学園 水戸日建工科専門学校
(株)桜設計事務所	ミナト防災通信工業(株)
サコー建設(株)	森建築設計事務所
(有)三企地盤	柳澤工業(株)
三和シャッター工業(株)	(株)山忠
(株)柴建築設計事務所	(株)横須賀満夫建築設計事務所
(株)清水建設	(株)LIXIL
(有)清水忠建築設計事務所	YKK AP(株)
淳設計工房	(株)若柳建築事務所
昭和建設(株)	和知商事(株)



一般社団法人 茨城県建築士会

〒310-0852 水戸市笠原町978-30 建築会館2F  
TEL.029-305-0329 FAX.029-305-0330  
営業時間：9時～17時（昼休み12時～13時）  
<https://i-shikai.com/>



携帯用サイト